津市総合計画第２次基本計画
事務事業評価・施策評価
報告書

令和４年３月

目　　次

１　報告書の位置付け……1
２　評価の対象……3
３　評価方法……3
４　報告書の構成……8

【施策の評価シート・施策の内容評価シート・不可抗力理由書】

・施策　１　出会い・結婚・出産しやすい環境づくり……12
・施策　２　子育て支援の充実……22
・施策　３　幼児教育・保育の充実……34
・施策　４　学校教育の充実……44
・施策　５　健やかな育ちへの支援……62
・施策　６　地域包括ケアシステムの確立……74
・施策　７　地域福祉の充実……78
・施策　８　高齢者福祉の充実……82
・施策　９　障がい者（児）福祉の充実……92
・施策１０　低所得者福祉の充実……98
・施策１１　健康づくりの推進……104
・施策１２　地域医療・救急医療体制の充実……114
・施策１３　公的医療保険の安定運営……120
・施策１４　防災・減災施策の強化……126
・施策１５　災害に強いまちづくりの推進……136
・施策１６　消防力の強化……152
・施策１７　防犯対策と消費者保護の強化……162
・施策１８　交通安全対策の強化……172
・施策１９　環境を守り継承する社会の形成……178
・施策２０　循環型社会形成の推進……190
・施策２１　安全な水の安定供給……206
・施策２２　生活排水対策等の推進……214

・施策２３　生活道路の整備 222
・施策２４　居住環境の整備 228
・施策２５　港湾・海岸堤防の整備 240
・施策２６　良好な景観の形成 248
・施策２７　緑化の推進と公園緑地の整備 256
・施策２８　都市機能の整備 266
・施策２９　道路ネットワークの整備 276
・施策３０　公共交通の充実 282
・施策３１　生涯学習の推進 288
・施策３２　高等教育機関との連携・充実 296
・施策３３　スポーツの振興 302
・施策３４　文化の振興 326
・施策３５　市民活動の促進 350
・施策３６　地域コミュニティの活性化 356
・施策３７　国際・国内交流と多文化共生の推進 364
・施策３８　人権・平和施策の推進 374
・施策３９　ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 384
・施策４０　男女共同参画の推進 398
・施策４１　勤労者福祉の充実 408
・施策４２　雇用の創出・拡大 414
・施策４３　工業の振興 422
・施策４４　商業の振興 430
・施策４５　農業の振興 448
・施策４６　林業の振興 464
・施策４７　水産業の振興 474
・施策４８　観光の振興 486
・施策４９　シティプロモーションの推進 500

１　報告書の位置付け

本報告書は、平成３０年度から令和９年度までの１０年間を計画期間とする津市総合計画第２次基本計画に位置付ける政策の実現に向け、それに係る事務事業と施策の進捗状況を各所管課が把握・意識し、より効果的な事務の執行による施策の確実な進捗につなげる PDCA を行うものとして、所管課自らが施策に基づき計画した事業の実施結果やそれに係る施策の進捗状況をまとめたものです。

【総合計画とは】

津市総合計画は、めざすべき津市の都市像や、その実現に向けた取組の方向性を市民と行政が共有し、共にまちづくりを進めるための津市の最上位の計画です。めざすべき都市像や市民の暮らしなど、まちづくりの基本的な理念を示す「基本構想」と、これら理念の実現に向けたまちづくりを着実に進めるための施策や取組の方向性などを示す「基本計画」とで構成されています。

「基本計画」では、将来像を「笑顔があふれ幸せに暮らせる県都　津市～夢や希望、明るい未来が広がるまちへ～」とし、大きな方向性として６つの「目標」、目標を達成するための１７の「基本政策」、基本政策に基づく４９の「施策」、施策を構成する１５５の「施策の内容」を定めており、この施策の内容に基づき各所管が事業を展開しています。

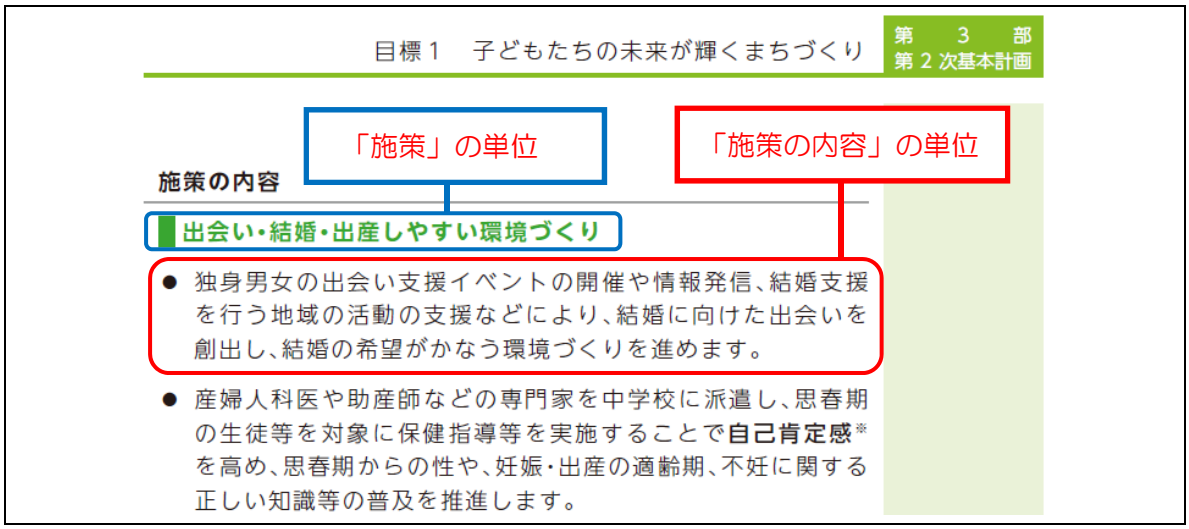
【総合計画の施策体系】

目標	基本政策	施策	施策の内容の数	主な事業の数
１　子どもたちの未来が輝くまちづくり	１　安心して子どもを生み育てられる環境の充実	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	４	７
		子育て支援の充実	４	23
	２　子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	幼児教育・保育の充実	４	22
		学校教育の充実	８	24
		健やかな育ちへの支援	５	12
２　安心して健やかに暮らせるまちづくり	１　社会の変化に対応した福祉の充実	地域包括ケアシステムの確立	１	10
		地域福祉の充実	１	２
		高齢者福祉の充実	３	13
		障がい者（児）福祉の充実	２	９
		低所得者福祉の充実	２	５
	２　健康づくりの推進と医療体制の充実	健康づくりの推進	２	13
		地域医療・救急医療体制の充実	２	７
		公的医療保険の安定運営	２	４
３　いのちと暮らしを	１　いざという時の備えの強化	防災・減災施策の強化	３	17
		災害に強いまちづくりの推進	６	40

守るまちづくり		消防力の強化	4	14
	2　防犯・交通安全対策の強化	防犯対策と消費者保護の強化	3	11
		交通安全対策の強化	2	9
4　心やすらぐ住みよいまちづくり	1　環境にやさしい社会の形成	環境を守り継承する社会の形成	3	9
		循環型社会形成の推進	5	18
	2　持続可能な都市基盤の整備	安全な水の安定供給	3	6
		生活排水対策等の推進	3	16
		生活道路の整備	2	10
		居住環境の整備	5	11
		港湾・海岸堤防の整備	3	5
	3　快適に暮らせる都市空間の形成	良好な景観の形成	3	4
		緑化の推進と公園緑地の整備	4	13
		都市機能の整備	4	9
		道路ネットワークの整備	2	9
		公共交通の充実	2	4
5　自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	1　生涯を通じた学びの推進	生涯学習の推進	3	4
		高等教育機関との連携・充実	2	2
	2　スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	スポーツの振興	4	17
		文化の振興	4	20
	3　つながり広がるコミュニティの醸成	市民活動の促進	2	4
		地域コミュニティの活性化	3	9
		国際・国内交流と多文化共生の推進	3	4
	4　誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	人権・平和施策の推進	3	5
		ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	3	6
		男女共同参画の推進	3	4
6　魅力と活力を生み出すまちづくり	1　働ける・働きたくなる環境の整備	勤労者福祉の充実	2	3
		雇用の創出・拡大	2	3
	2　地域に根付く商工業の振興	工業の振興	3	7
		商業の振興	3	10
	3　食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	農業の振興	6	28
		林業の振興	4	21
		水産業の振興	3	7
	4　交流人口の拡大	観光の振興	3	11
		シティプロモーションの推進	2	5
合　　計			155	526

※主な事業数は、総合計画に定める施策の内容に基づき平成３０年度から令和２年度までに各所管が実施した主な事業の数で、重複するものを含みます。

【施策の内容の単位】　※津市総合計画第２次基本計画（Ｐ４４）より抜粋



２　評価の対象

総合計画に位置付ける４９の「施策」と各「施策」を構成する１５５の「施策の内容」、各「施策の内容」に係る「主な事業」（事務事業）を評価の対象としています。

３　評価方法

評価は、「主な事業」、「施策の内容」、「施策」の３段階で実施しました。

また、所管が行った事務事業に係る評価を行政経営課が、施策の評価を政策課がそれぞれ横断的な視点でチェックし、幹部職員で構成する津市総合計画推進検討委員会で最終確認を行っています。

⑴　「主な事業」に係る評価（事務事業評価）

「施策の内容」に係る「主な事業」単位で各事業の所管課による評価を実施しました。

ア　「施策の内容評価シート」の「２「施策内容」に係る主な事業評価」の表記項目

２　「施策の内容」に係る主な事業の評価

①番号	②担当課 / ③事業名	④事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的 ⑤事業の実施により直接的に表れる効果 / ⑥誰のための事業か / ⑦何のための事業か		年度	⑧決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）⑨	事業評価（効果があったか）⑩	⑪今後の方向性
001-1	子育て推進課 / 出会い応援事業	独身男女の出会いを支援するイベント及び出会いに係る相談会等の実施 ◆年1回以上のイベント・相談会等の実施	婚活イベント、相談会及びセミナーを開催する		H30	49	○	○	現状維持
			誰	結婚を希望する独身男女が	R1	65	○	○	拡充・充実
			何	婚活イベント等に参加し、希望をかなえるきっかけとなる	R2	406	○	○	拡充・充実

イ　「主な事業」の表記（評価）内容

項目	内容
①番号	主な事業の整理番号
②担当課	事業担当課（評価を実施した所管課）
③事業名	事業の名称
④事業の内容	事業の概要を説明したもの
◆当初の事業実施計画	当初の事業実施計画を示したもの（○件補助を行う等、市が行う内容を数値等で示したもの）
⑤事業の実施により直接的に表れる効果	事業を実施することによって、事業の対象者にどのようなことが起きるのか、あるいは事業の対象者がどのような行動を起こすのか等、事業の実施により直接的に起こる状況を具体的に記載したもの
⑥誰のための事業か	誰のために行う事業なのかを具体的に記載したもの
⑦何のための事業か	事業を行うことによって、その事業の対象者の行動が事業を行わなかった時と比べてどのように変わることを期待しているのかを記載したもの
⑧決算額（千円）	各年度における事業の決算額を記載したもの
⑨実施評価（計画通り実施したか）	• 「事業の内容」欄の「◆当初の事業実施計画」に対して、計画通り実施できたかを評価したもの • 評価は、「◎：計画以上の実績」、「○：計画通り」、「△：計画をやや達成」、「×：計画を大きく下回る」の４段階で実施
⑩事業評価（効果があったか）	• 「何のための事業か」欄に記入した事業の実施により、期待した効果（成果）が得られたのかを評価したもの • 評価は、「◎：大いに成果が認められる」、「○：ある程度の成果が認められる」、「△：あまり成果がなかった」、「×：成果を測定できない」の４段階で実施
⑪今後の方向性	• 実施評価（計画通り実施したか）、事業評価（効果があったか）を踏まえ、事業の今後の方向性を明らかにしたもの • 評価は、「拡充・充実」、「現状維持」、「見直し」、「廃止」の４段階で実施

⑵　「施策の内容」に係る評価

「施策の内容」に係る個々の「主な事業」の評価（事務事業評価）を集約し、「施策の内容」の総合評価及び今後の方向性をまとめました。

ア　総合評価

事務事業評価で行われた個々の「実施評価（計画通り実施したか）」と「事業評価（効果があったか）」を以下のとおり点数化し、合計を１００点満点に換算して８０点以上は「A」、６０点以上８０点未満は「B」、４０点以上６０点未満は「C」、２０点以上４０点未満を「D」、２０点未満を「E」としました。

【点数】

- 実施評価
  - ◎（計画以上の実績）　：４点
  - ○（計画どおり）　：３点
  - △（計画をやや達成）　：２点
  - ×（計画を大きく下回る）　：０点
- 事業評価
  - ◎（大いに成果が認められる）　：４点
  - ○（ある程度の成果が認められる）：３点
  - △（あまり成果がなかった）　：２点
  - ×（成果を測定できない）　：０点

※令和２年度における各「主な事業」の評価において積み上げる総評価点数を１００点満点に換算します。

１００点　×　事務事業評価点数／事務事業の満点評価点数

＝　「主な事業」の評価点数の１００点満点換算

（総合評価の例）

事業の評価				
年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
H30	500	○	◎	現状維持
R1	500	○	◎	現状維持
R2	300	△	△	現状維持
H30	200	○	◎	現状維持
R1	0	×	×	現状維持
R2	200	○	○	現状維持

事業の評価				
年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
H30	500	３点	４点	現状維持
R1	500	３点	４点	現状維持
R2	300	２点	２点	現状維持
H30	200	３点	４点	現状維持
R1	0	０点	０点	現状維持
R2	200	３点	３点	現状維持

３　「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

１００点　×　１０点　／　１６点

＝　６２.５点

４点満点　×　４項目

イ　今後の方向性

事務事業評価で行われた個々の「今後の方向性」（拡充・充実、現状維持、見直し、廃止）の全体における「拡充・充実」及び「現状維持」の割合により判定しました。ただし、「廃止」のうち事業の完了によって「廃止」としたものについては、「拡充・充実」及び「現状維持」と同等の取り扱いとしています。

【判定】
- １００％　　：①効果的な事業構成であるため、方向性を維持
- ７５％以上１００％未満：②概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある
- ５０％以上７５％未満　：③あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい
- ５０％未満　　：④事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

（総合評価の例）

事業の評価				
年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
H30	1,000	○	◎	現状維持
R1	700	○	◎	現状維持
R2	500	○	◎	拡充・充実
H30	300	○	◎	現状維持
R1	200	×	×	現状維持
R2	300	△	○	現状維持

「拡充・充実」及び「現状維持」の数　／　全体の数

２　／　２　＝　１００％

４　今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

⑶　「施策」に係る評価

「施策」を構成する「施策の内容」の総合評価を集約し、「施策」の総合評価を行いました。

【施策の内容の点数】
- Ａ　：　４点
- Ｂ　：　３点
- Ｃ　：　２点
- Ｄ　：　１点
- Ｅ　：　０点

※「施策の内容」の総合評価において積み上げる総評価点数を１００点満点に換算します。

１００点　×　「施策の内容」の総評価点数／「施策の内容」の満点評価点数
＝　「施策」の評価点数の１００点満点換算

（総合評価の例）

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。	B	①	子育て推進課
002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。	A	①	教育研究支援課
003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。	A	①	保険医療助成課
004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。	B	①	健康づくり課

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。	３点	①	子育て推進課
002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。	４点	①	教育研究支援課
003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。	４点	①	保険医療助成課
004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。	３点	①	健康づくり課

４点満点　×　４項目

１００点　×　１４点　／　１６点　＝　８７．５点

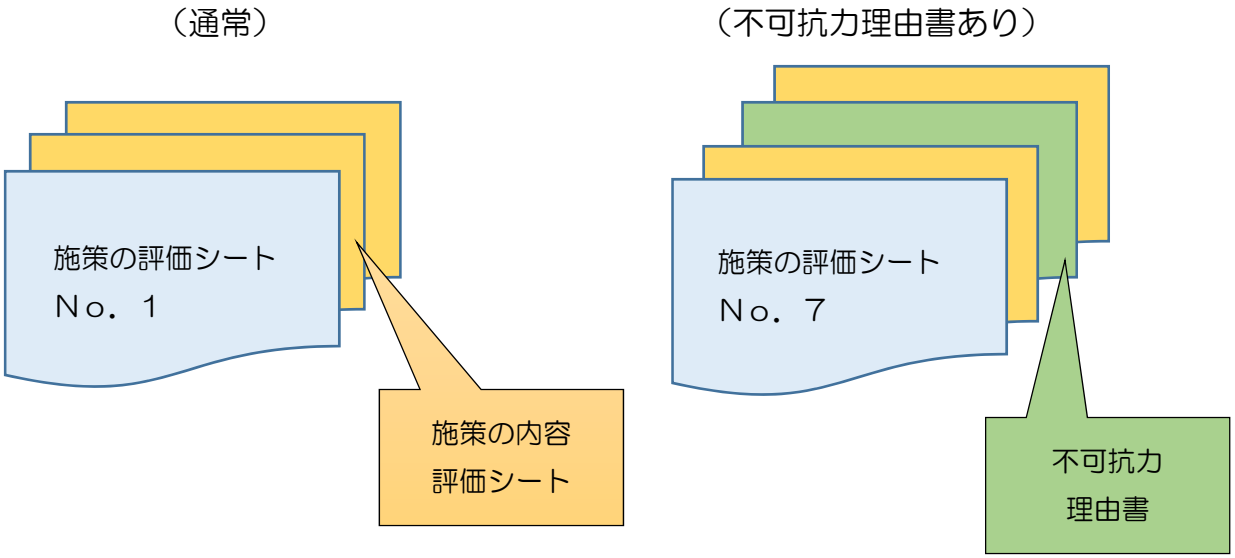
3　「施策」の総合評価

「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	出会い応援事業を実施し、独身男女の出会いを支援するイベントや相談会等を実施とともに、出会いの場を提供する事業等を開催する民間団体への補助を実施しています。また、不妊治療・不育症治療に対する医療費助成を行うほか、公費負担により14回の妊婦健康診査を実施するなど、出会い・結婚・出産しやすい環境づくりに努めています。

４　報告書の構成

施策体系順に、「施策の評価シート→施策の内容評価シート」、次の「施策の評価シート→施策の内容評価シート」・・・として構成しています。

なお、新型コロナウイルス感染症等の影響により、当初の事業実施計画通りに実施できなかった事業については、その理由が分かるよう「実施評価」欄を黄色に着色した上で「不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書」を添付しています。



【施策の評価シート】

【施策の内容評価シート】

【不可抗力理由書】

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画、津市第3次健康づくり計画、津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局				健康福祉部、教育委員会		
施策の内容（番号）				001 ～ 004		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。	B	①	子育て推進課
002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。	A	①	教育研究支援課
003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。	A	①	保険医療助成課
004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。	B	①	健康づくり課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	出会い応援事業として独身男女の出会いを支援するイベントや相談会等を実施するとともに、出会いの場を提供する事業等を開催する民間団体への補助を実施しています。また、不妊治療・不育症治療に対する医療費助成を行うほか、公費負担により14回の妊婦健康診査を実施するなど、出会い・結婚・出産しやすい環境づくりに努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101001
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			001	独身男女の出会い支援イベントの開催や情報発信、結婚支援を行う地域の活動の支援などにより、結婚に向けた出会いを創出し、結婚の希望がかなう環境づくりを進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
001-1	子育て推進課 / 出会い応援事業	独身男女の出会いを支援するイベント及び出会いに係る相談会等の実施 ◆年1回以上のイベント・相談会等の実施	婚活イベント、相談会及びセミナーを開催する		H30	49	○	○	現状維持
			誰	結婚を希望する独身男女が	R1	65	○	○	拡充・充実
			何	婚活イベント等に参加し、希望をかなえるきっかけとなる	R2	406	○	○	拡充・充実
001-2	子育て推進課 / 少子化対策地域支援活動事業	結婚・妊娠・出産・育児の一貫した「切れ目ない支援」を目的とした少子化対策事業の実施 ◆民間団体への適切な支援	市内に活動拠点を有する民間非営利団体が、補助金を活用し、出会いの場を提供する事業等を開催する		H30	0	○	○	現状維持
			誰	結婚を希望する独身男女が	R1	131	○	○	現状維持
			何	婚活イベント等に参加し、希望をかなえるきっかけとなる	R2	43	○	○	現状維持
001-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
001-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
001-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
001-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
001-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

001-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
001-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
001-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
001-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
001-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
001-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
001-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101002
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			002	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、思春期の生徒等を対象に保健指導等を実施することで自己肯定感を高め、思春期からの性や、妊娠・出産の適齢期、不妊に関する正しい知識等の普及を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
002-1	教育研究支援課 / 思春期ライフプラン教育事業	産婦人科医や助産師などの専門家を中学校に派遣し、生徒等を対象に保健指導の実施 ◆すべての中・義務教育学校で実施	保健指導の実施により、生徒の自己肯定感を高める思春期からの性や妊娠出産等についての知識の普及		H30	340	○	◎	現状維持
			誰	市内の中学生（義務教育学校後期課程生含む）	R1	320	○	◎	現状維持
			何	生徒が自身の身体や性について知り、将来や生き方について主体的に考えることができる	R2	350	○	◎	現状維持
002-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
002-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
002-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
002-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
002-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
002-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

002-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
002-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
002-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
002-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
002-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
002-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
002-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の方向性	①　効果的な事業構成であるため、現状維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101003
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画					
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			003	不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減を図ります。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
003-1	保険医療助成課 / 医療費助成事業	不妊治療、不育症治療に対する医療費の助成 ◆適切な助成の実施	子どもを望む夫婦が治療を受ける機会が増える		H30	39,505	◎	◎	現状維持
			誰	不妊症及び不育症と判断された夫婦の	R1	42,565	◎	◎	現状維持
			何	経済的な負担を軽減する	R2	39,703	◎	◎	現状維持
003-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
003-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
003-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
003-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
003-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
003-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

003-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
003-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
003-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
003-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
003-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
003-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
003-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010101004
		施策	01	出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	本冊ページ	44
	関連個別計画		津市第3次健康づくり計画（平成29年度～令和4年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			004	母子健康手帳の交付時に保健指導や相談を行い、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう関係機関と連携して取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
004-1	健康づくり課 / 妊婦一般健康診査事業	母体や胎児の健康確保、経済的負担の軽減を図り、安心して産み育てる環境づくりを推進するため、妊婦健康診査（公費負担14回）を実施 ◆適切な健診の実施	健康診査を受診する妊婦の経済的負担が軽減される		H30	195,513	○	○	現状維持
			誰	妊婦が	R1	189,396	○	○	現状維持
			何	経済的負担の軽減が図れ、安心して出産することができる	R2	187,039	○	○	拡充・充実
004-2	健康づくり課 / 養育医療事業	身体の発育が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児の養育上必要な医療の給付 ◆適切な給付の実施	入院を必要とする乳児が医療の給付を受ける		H30	25,886	○	○	現状維持
			誰	身体の発育が未熟なままで生まれ入院療育が必要な児とその保護者が	R1	26,290	○	○	現状維持
			何	生後速やかに適切な医療を受けることができる	R2	16,440	○	○	現状維持
004-3	健康づくり課 / 産後ケア事業	産後の育児不安が強い方で、家族等からの支援が得られない場合に、宿泊・通所・訪問で母子の心身のケアや育児サポートを実施 ◆適切な支援の実施	産後ケア事業を受ける		H30	1,370	○	○	拡充・充実
			誰	支援者がおらず育児不安のある産後間もない産婦が	R1	2,418	○	○	拡充・充実
			何	産後ケアにより心身のケア、育児指導を受けることができる	R2	2,544	○	○	拡充・充実
004-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
004-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
004-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
004-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

004-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
004-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
004-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
004-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
004-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
004-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
004-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード　010102
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ　44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画		
担当部局			健康福祉部、教育委員会		
施策の内容（番号）			005 ～ 008		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
005	質の高い幼児教育と保育の融合・充実を図り、子どもたちや保護者にとって望ましい環境を提供することができる認定こども園の設置などを通して、待機児童ゼロを維持します。	A	①	子育て推進課
006	私立保育所等の施設整備や認定こども園への移行に対する支援を行うことで、子育て世帯の多様なニーズに対する選択肢を拡充します。	A	①	子育て推進課
007	保育所、認定こども園等、就学前施設の質と量の両面から拡充を図り、子育て支援サービスの充実に取り組むとともに、これら施策に関わる職員の資質向上と、家庭・地域との積極的な連携を図ります。	A	①	子育て推進課/こども支援課
008	安心して子育てができるよう関係機関とのネットワークを充実し、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目なく総合的に支援します。	A	①	こども支援課/保険医療助成課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	公立認定こども園の整備、公立保育所・認定こども園の管理・運営、民間保育所・認定こども園の施設整備に対する補助及び運営経費の負担、子育て支援センター事業や民間病後児保育施設の整備に対する補助、妊産婦・子ども・一人親家庭等に対する医療費の助成などの事業を実施し、子育て支援の充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010102005
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）			
担当部局			健康福祉部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			005	質の高い幼児教育と保育の融合・充実を図り、子どもたちや保護者にとって望ましい環境を提供することができる認定こども園の設置などを通して、待機児童ゼロを維持します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
005-1	子育て推進課 / 旧新町保育園及び雲出保育園園舎解体事業	公立認定こども園の開園や保育園舎の移転に伴い不要となる旧新町保育園及び雲出保育園の園舎の解体 ◆旧雲出保育園解体工事	津地域の公立保育園と幼稚園の一体化及び保育園の移転により園舎を解体する		H30	0			
			誰	津みどりの森こども園及び雲出保育園を利用する児童が	R1	3,839	○	◎	現状維持
			何	良好な保育環境で教育・保育の提供を受ける	R2	25,144	○	◎	現状維持
005-2	子育て推進課 / 雲出保育園園舎移転事業	旧雲出幼稚園を雲出保育園として活用するための改修及び設備等の整備 ◆雲出幼稚園舎の改修完了	老築化した旧雲出保育園舎から移転し、保育環境を改善する		H30	3,543	○	◎	現状維持
			誰	雲出保育園を利用する児童が	R1	66,727	○	◎	現状維持
			何	良好な保育環境で保育の提供を受ける	R2	87,066	○	◎	廃止
005-3	子育て推進課 / 芸濃こども園整備事業	芸濃こども園整備 ◆園庭及び駐車場整備、芸濃保育園及び椋本幼稚園舎解体	芸濃保育園及び椋本幼稚園の機能を集約し、芸濃こども園を整備する		H30	30,914	○	◎	現状維持
			誰	就学前児童のいる世帯が	R1	730,754	○	◎	現状維持
			何	一体的な教育・保育の提供により、ニーズに応じた選択ができる	R2	143,343	○	◎	廃止
005-4	子育て推進課 / 一志こども園整備事業	一志こども園整備 ◆一志こども園整備に伴う高野保育園及び高岡幼稚園改修工事	高野保育園及び高岡幼稚園の機能を集約し、一志こども園を整備する		H30	255,219	○	◎	廃止
			誰	就学前児童のいる世帯が	R1	0			
			何	一体的な教育・保育の提供により、ニーズに応じた選択ができる	R2	0			
005-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
005-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
005-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

005-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
005-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
005-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
005-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
005-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
005-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
005-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010102006
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）			
担当部局			健康福祉部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			006	私立保育所等の施設整備や認定こども園への移行に対する支援を行うことで、子育て世帯の多様なニーズに対する選択肢を拡充します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
006-1	子育て推進課 / 認定こども園施設整備事業	民間認定こども園施設整備に対する補助 ◆民間事業者による施設整備への適切な支援の実施	事業者が補助金を活用し、民間認定こども園の施設整備を行う		H30	215,258	○	◎	現状維持
			誰	就学前児童のいる世帯が	R1	0			現状維持
			何	一体的な教育・保育の提供により、ニーズに応じた選択ができる	R2	0			現状維持
006-2	子育て推進課 / 民間保育所施設整備事業	民間保育所施設整備に対する補助 ◆民間事業者による施設整備への適切な支援の実施	事業者が補助金を活用し、民間保育所の施設整備を行う		H30	0			現状維持
			誰	就学前児童のいる世帯が	R1	0			現状維持
			何	保育提供量の拡充により、保育の提供を受けられる	R2	166,574	○	◎	現状維持
006-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
006-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
006-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
006-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
006-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

006-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
006-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
006-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
006-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
006-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
006-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
006-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	―	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010102007
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）			
担当部局			健康福祉部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			007	保育所、認定こども園等、就学前施設の質と量の両面から拡充を図り、子育て支援サービスの充実に取り組むとともに、これら施策に関わる職員の資質向上と、家庭・地域との積極的な連携を図ります。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
007-1	こども支援課 / げいのうわんぱーく管理運営事業	芸濃総合支所敷地内に整備した「げいのうわんぱーく」の管理・運営 ◆年間利用者3万人	気軽に立ち寄り、心身をリフレッシュし遊びながら仲間づくりができる環境づくり		H30	10,601	○	○	現状維持
			誰	市内外の子育て中の親子・家族	R1	11,193	○	○	現状維持
			何	親子が安心して過ごせる居場所ができる	R2	10,401	○	○	現状維持
007-2	こども支援課 / たるみ子育て交流館管理運営事業	子育て支援拠点施設として整備した「たるみ子育て交流館」の管理・運営 ◆R1年度以降　年間利用者8,100人、行事開催2回	幅広い世代が集い、地域全体で子育てする環境づくり		H30	26,698	○	○	現状維持
			誰	市内外の子育て中の親子・家族、地域で子育て支援に関わる人	R1	10,328	○	○	現状維持
			何	子育てへの関わりを当事者だけでなく地域全体に広げることができる	R2	9,727	△	△	現状維持
007-3	子育て推進課 / 地域子育て支援拠点事業補助金	大門いこにこ広場及びイオン久居での子育て支援センター事業の実施に対する補助 ◆民間事業者への適切な支援の実施	地域子育て支援拠点事業を実施する		H30	9,599	○	◎	現状維持
			誰	乳幼児及びその保護者が	R1	10,760	○	◎	現状維持
			何	交流の場を通じて、子育て等に関する相談や情報提供を受けることにより、親の孤独感や不安感を緩和する	R2	11,761	○	◎	現状維持
007-4	子育て推進課 / 地域子育て支援拠点事業補助金	民間保育所での子育て支援センター事業の実施に対する補助 ◆民間事業者への適切な支援の実施	民間保育所が補助金を活用し、地域子育て支援拠点事業を実施する		H30	17,551	○	◎	現状維持
			誰	乳幼児及びその保護者が	R1	17,984	○	◎	現状維持
			何	交流の場を通じて、子育て等に関する相談や情報提供を受けることにより、親の孤独感や不安感を緩和する	R2	18,340	○	◎	現状維持
007-5	子育て推進課 / 地域子育て支援拠点事業補助金	民間認定こども園での子育て支援センター事業の実施に対する補助 ◆民間事業者への適切な支援の実施	民間認定こども園が補助金を活用し、地域子育て支援拠点事業を実施する		H30	10,012	○	◎	現状維持
			誰	乳幼児及びその保護者が	R1	9,056	○	◎	現状維持
			何	交流の場を通じて、子育て等に関する相談や情報提供を受けることにより、親の孤独感や不安感を緩和する	R2	8,270	○	◎	現状維持
007-6	子育て推進課 / 公立保育所管理運営事業	公立保育所の管理・運営 ◆適切な管理運営の実施	公立保育所の適切な管理運営を行う		H30	959,964	○	◎	現状維持
			誰	公立保育所を利用する児童が	R1	865,196	○	◎	現状維持
			何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	R2	904,284	○	◎	現状維持
007-7	こども支援課 / 児童発達支援センター「つうぽっぽ」管理運営事業	児童発達支援センター「つうぽっぽ」の管理・運営 ◆早期支援のための療育の充実	発達に心配のある子どもへの早期支援		H30	41,292	○	○	現状維持
			誰	発達に心配のある未就学児	R1	36,640	○	○	現状維持
			何	個に応じた発達支援を行う	R2	41,478	○	○	現状維持

施策の内容評価シート（令和２年度分）

007-8	子育て推進課	民間病後児保育施設整備に対する補助 ◆民間事業者による施設整備への適切な支援の実施	事業者が補助金を活用し、病後児保育施設の整備を行う		H30	0			
	病後児保育施設整備事業		誰	病気や病気回復期にある子どもの保育が困難な保護者が	R1	0			
			何	保護者の子育てと就労の両立ができる	R2	46,326	◎	◎	現状維持
007-9	子育て推進課	民間保育所等運営経費の負担 ◆補助市内24施設 市外9施設	事業者が運営費への負担金を活用し、民間保育所等の運営を行う		H30	1,167,768	○	◎	現状維持
	民間保育所等運営事業		誰	民間保育所を利用する児童が	R1	1,706,891	○	◎	現状維持
			何	安心して保育の提供を受けられる	R2	1,941,639	○	◎	現状維持
007-10	子育て推進課	公立認定こども園（津みどりの森こども園・香良洲浜っ子幼児園・芸濃こども園・一志こども園・白山こども園）の管理・運営 ◆適切な管理運営の実施	公立認定こども園の適切な管理運営を行う		H30	203,263	○	◎	現状維持
	公立認定こども園管理運営事業		誰	公立認定こども園を利用する児童が	R1	257,183	○	◎	現状維持
			何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	R2	404,544	○	◎	現状維持
007-11	子育て推進課	民間認定こども園運営経費の負担金 ◆補助市内15施設 市外4施設	事業者が運営費への負担金を活用し、民間認定こども園の運営を行う		H30	2,778,297	○	◎	現状維持
	民間認定こども園運営事業		誰	民間認定こども園を利用する児童が	R1	2,569,419	○	◎	現状維持
			何	安心して教育・保育の提供を受けられる	R2	2,536,133	○	◎	現状維持
007-12	子育て推進課	保護者が仕事などの事情で、病気や病気回復期にある子どもの保育が困難な場合、一時的に預かる事業の実施 ◆必要に応じた支援の実施	保護者が仕事等の事情により、病気や病気回復期にある子どもの保育が家庭で困難な場合に、一時的に預かる		H30	17,695	○	◎	現状維持
	病児保育事業		誰	病気や病気回復期にある子どもの保育が困難な保護者が	R1	20,430	○	◎	現状維持
			何	保護者の子育てと就労の両立ができる	R2	20,269	○	◎	現状維持
007-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
007-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	007-2
担当課名	こども支援課
事業名	たるみ子育て交流館管理運営事業
事業の内容	子育て支援拠点施設として整備した「たるみ子育て交流館」の管理・運営
当初の事業実施計画	同上
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、地域住民の協力を得て開催するイベント事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	01	安心して子どもを生み育てられる環境の充実	管理コード	010102008
		施策	02	子育て支援の充実	本冊ページ	44
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			008	安心して子育てができるよう関係機関とのネットワークを充実し、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目なく総合的に支援します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
008-1	こども支援課 / 子育ち支援事業	子育ち支援事業、子育て広場支援、子どもの預かり事業、児童虐待防止の実施 ◆安心して子育てのできる体制の整備	安心して子育てができるように総合的な支援を実施する		H30	25,489	○	○	現状維持
			誰	児童及びその保護者	R1	29,318	○	○	現状維持
			何	関係機関と連携し、切れ目のない子育て支援を実施する	R2	26,987	○	○	現状維持
008-2	こども支援課 / 発達支援事業	専門職等による窓口・巡回相談、療育事業の実施、成長過程に応じた発達障がい児、保護者に対する途切れのない支援の実施 ◆相談窓口の充実や体制の整備	発達に関する途切れない支援の実施		H30	6,290	○	○	現状維持
			誰	発達に課題のある子どもとその保護者	R1	5,810	○	○	現状維持
			何	集団生活や家庭における困り感の軽減と保護者の不安の軽減	R2	6,389	○	○	現状維持
008-3	保険医療助成課 / 医療費助成事業	妊産婦、子ども、一人親家庭等に対する医療費の助成 ◆適切な助成の実施	保健の向上と福祉の増進につながる		H30	960,011	◎	◎	現状維持
			誰	妊産婦、子どもの保護者、一人親家庭等の	R1	995,313	◎	◎	現状維持
			何	経済的な負担を軽減する	R2	855,321	◎	◎	現状維持
008-4	こども支援課 / 児童手当給付事業	国内に住所を有する中学校修了までの児童養育者への手当の給付 ◆子育て世帯に対する経済的支援の実施	児童手当を支給する		H30	4,017,680	○	○	現状維持
			誰	中学校修了までの児童養育者へ	R1	3,940,485	○	○	現状維持
			何	子育て世帯に対し、経済的支援を行う	R2	3,844,390	○	○	現状維持
008-5	こども支援課 / 児童扶養手当給付事業	ひとり親家庭の児童養育者への手当の給付 ◆ひとり親家庭に対する経済的支援の実施	児童扶養手当を支給する		H30	929,970	○	○	現状維持
			誰	父母の離婚などにより父又は母と生計を同じくしていない児童を養育している家庭へ	R1	1,160,522	○	○	現状維持
			何	ひとり親の子育て世帯に対し、経済的支援を行う	R2	912,012	○	○	現状維持
008-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
008-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

008-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
008-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
008-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
008-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
008-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
008-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
008-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010203
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ	48
	関連個別計画			第2期津市子ども・子育て支援事業計画、津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局				健康福祉部、教育委員会		
施策の内容（番号）				009 ～ 012		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
009	保育の量的拡大・確保や幼児教育・保育の質的な改善などにより質の高い幼児教育・保育の総合的な提供環境を実現するため、これまで本市が幼保一体化のコンセプトのもとに3箇所の施設で取り組んできた幼児教育・保育の合同提供等による成果を踏まえ、それら3箇所を含めて平成31年（2019年）度までに5箇所の幼保連携型認定こども園を整備することとし、平成32年（2020年）度以降は、それら認定こども園の整備、運営や保護者のニーズ、地域の実情などを踏まえつつ、私立施設とも連携しながら子どもとその保護者を支援する環境整備を推進します。	A	①	子育て推進課
010	認定こども園の整備を進めながら、地域の子育て環境を支える幼稚園や保育所は、これまでの伝統を活かし、立地状況や地域の特性・実情に応じながら、保護者のニーズを踏まえ、その役割を継続していきます。	A	①	子育て推進課/学校教育課
011	幼稚園・保育所・認定こども園等が相互に情報共有し、連携して就学前教育の質の向上を図るとともに、職員の資質向上にも取り組みます。	A	①	子育て推進課/学校教育課
012	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることから、小学校以降の教育との接続を踏まえ0歳からの子どもの発達を見通して、家庭・地域との積極的な連携を図りながら、豊かな人間性や感性、人権感覚、興味・関心の芽を育めるような幼児教育・保育を推進します。	A	①	子育て推進課/学校教育課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	公立認定こども園の整備、幼稚園・公立保育所・認定こども園の管理・運営、私立幼稚園・民間保育所・民間認定こども園の運営経費の負担、子育て支援センター事業の実施に対する補助、幼保相互派遣研修などの事業を実施し、幼児教育・保育の充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010203009
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ	48
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）			
担当部局			健康福祉部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			009	保育の量的拡大・確保や幼児教育・保育の質的な改善などにより質の高い幼児教育・保育の総合的な提供環境を実現するため、これまで本市が幼保一体化のコンセプトのもとに3箇所の施設で取り組んできた幼児教育・保育の合同提供等による成果を踏まえ、それら3箇所を含めて平成31年（2019年）度までに5箇所の幼保連携型認定こども園を整備することとし、平成32年（2020年）度以降は、それら認定こども園の整備、運営や保護者のニーズ、地域の実情などを踏まえつつ、私立施設とも連携しながら子どもとその保護者を支援する環境整備を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
009-1	子育て推進課 / 芸濃こども園整備事業	芸濃こども園整備 ◆園庭及び駐車場整備、芸濃保育園及び椋本幼稚園舎解体	芸濃保育園及び椋本幼稚園の機能を集約し、芸濃こども園を整備する		H30	30,914	○	◎	現状維持
			誰	就学前児童のいる世帯が	R1	730,754	○	◎	現状維持
			何	一体的な教育・保育の提供により、ニーズに応じた選択ができる	R2	143,343	○	◎	現状維持
009-2	子育て推進課 / 一志こども園整備事業	一志こども園整備 ◆一志こども園整備に伴う高野保育園及び高岡幼稚園改修工事	高野保育園及び高岡幼稚園の機能を集約し、一志こども園を整備する		H30	255,219	○	◎	廃止
			誰	就学前児童のいる世帯が	R1	0			
			何	一体的な教育・保育の提供により、ニーズに応じた選択ができる	R2	0			
009-3	子育て推進課 / 公立認定こども園管理運営事業	公立認定こども園（津みどりの森こども園・香良洲浜っ子幼児園・芸濃こども園・一志こども園・白山こども園）の管理・運営 ◆適切な管理運営の実施	公立認定こども園の適切な管理運営を行う		H30	203,263	○	◎	現状維持
			誰	公立認定こども園を利用する児童が	R1	257,183	○	◎	現状維持
			何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	R2	404,544	○	◎	現状維持
009-4	子育て推進課 / 地域子育て支援拠点事業補助金	民間認定こども園での子育て支援センター事業の実施に対する補助 ◆民間事業者への適切な支援の実施	民間認定こども園が補助金を活用し、地域子育て支援拠点事業を実施する		H30	10,012	○	◎	現状維持
			誰	乳幼児及びその保護者が	R1	9,056	○	◎	現状維持
			何	交流の場を通じて、子育て等に関する相談や情報提供を受けることにより、親の孤独感や不安感を緩和する	R2	8,270	○	◎	現状維持
009-5	子育て推進課 / 民間認定こども園運営事業	民間認定こども園運営経費の負担金 ◆補助市内15施設 市外4施設	事業者が運営費への負担金を活用し、民間認定こども園の運営を行う		H30	2,778,297	○	◎	現状維持
			誰	民間認定こども園を利用する児童が	R1	2,569,419	○	◎	現状維持
			何	安心して教育・保育の提供を受けられる	R2	2,536,133	○	◎	現状維持
009-6	子育て推進課 / 民間認定こども園施設整備事業	民間認定こども園施設整備に対する補助 ◆民間事業者による施設整備への適切な支援の実施	事業者が補助金を活用し、民間認定こども園の施設整備を行う		H30	215,258	○	◎	現状維持
			誰	就学前児童のいる世帯が	R1	0			
			何	一体的な教育・保育の提供により、ニーズに応じた選択ができる	R2	0			
009-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

009-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
009-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
009-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
009-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
009-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
009-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
009-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010203010
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ	48
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）、津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			健康福祉部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			010	認定こども園の整備を進めながら、地域の子育て環境を支える幼稚園や保育所は、これまでの伝統を活かし、立地状況や地域の特性・実情に応じながら、保護者のニーズを踏まえ、その役割を継続していきます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
010-1	子育て推進課 / 公立保育所管理運営事業	公立保育所の管理・運営 ◆適切な管理運営の実施	公立保育所の適切な管理運営を行う		H30	959,964	○	◎	現状維持
			誰	公立保育所を利用する児童が	R1	865,196	○	◎	現状維持
			何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	R2	904,284	○	◎	現状維持
010-2	子育て推進課 / 民間保育所等運営事業	民間保育所等運営経費の負担 ◆補助市内24施設 市外9施設	事業者が運営費への負担金を活用し、民間保育所等の運営を行う		H30	1,167,768	○	◎	現状維持
			誰	民間保育所を利用する児童が	R1	1,706,891	○	◎	現状維持
			何	安心して保育の提供を受けられる	R2	1,941,639	○	◎	現状維持
010-3	学校教育課 / 幼稚園管理運営事業	幼稚園の管理・運営 ◆23施設	幼児教育環境の充実		H30	1,304,483	○	○	現状維持
			誰	幼稚園児及びその保護者	R1	898,677	○	○	現状維持
			何	幼稚園の教育環境の充実	R2	767,775	○	○	現状維持
010-4	学校教育課 / 私立幼稚園援助事業	私立幼稚園運営経費の負担 ◆私立幼稚園6園、国立幼稚園1園	私立幼稚園の運営経費の補助等を行うことにより、私立幼稚園の教育環境の充実及び保護者の負担軽減を図る		H30	297,776	○	○	現状維持
			誰	私立幼稚園に通園する幼稚園児及びその保護者	R1	365,718	○	○	現状維持
			何	教育環境の充実、保護者の負担軽減	R2	462,932	○	○	現状維持
010-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
010-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
010-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

010-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
010-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
010-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
010-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
010-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
010-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
010-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010203011
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ	48
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）、津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			健康福祉部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			011	幼稚園・保育所・認定こども園等が相互に情報共有し、連携して就学前教育の質の向上を図るとともに、職員の資質向上にも取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
011-1	子育て推進課 / 公立保育所管理運営事業	公立保育所の管理・運営 ◆適切な管理運営の実施	公立保育所の適切な管理運営を行う		H30	959,964	○	◎	現状維持
			誰	公立保育所を利用する児童が	R1	865,196	○	◎	現状維持
			何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	R2	904,284	○	◎	現状維持
011-2	子育て推進課 / 民間保育所等運営事業	民間保育所等運営経費の負担 ◆補助市内24施設 市外9施設	事業者が運営費への負担金を活用し、民間保育所等の運営を行う		H30	1,167,768	○	◎	現状維持
			誰	民間保育所を利用する児童が	R1	1,706,891	○	◎	現状維持
			何	安心して保育の提供を受けられる	R2	1,941,639	○	◎	現状維持
011-3	子育て推進課 / 公立認定こども園管理運営事業	公立認定こども園（津みどりの森こども園・香良洲浜っ子幼児園・芸濃こども園・一志こども園・白山こども園）の管理・運営 ◆適切な管理運営の実施	公立認定こども園の適切な管理運営を行う		H30	203,263	○	◎	現状維持
			誰	公立認定こども園を利用する児童が	R1	257,183	○	◎	現状維持
			何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	R2	404,544	○	◎	現状維持
011-4	子育て推進課 / 民間認定こども園運営事業	民間認定こども園運営経費の負担金 ◆補助市内15施設 市外4施設	事業者が運営費への負担金を活用し、民間認定こども園の運営を行う		H30	2,778,297	○	◎	現状維持
			誰	民間認定こども園を利用する児童が	R1	2,569,419	○	◎	現状維持
			何	安心して教育・保育の提供を受けられる	R2	2,536,133	○	◎	現状維持
011-5	学校教育課 / 幼稚園教育推進研究事業	教員の資質向上のため、園内研修や幼保相互派遣研修の実施、研修会や公開保育実践研究会への参加 ◆公開保育実践研究会への参加	研修を充実させることにより、職員の資質向上を図り、幼児教育の質の向上につなげる		H30	1,317	○	○	拡充・充実
			誰	幼児園児及びその保護者	R1	1,087	○	○	拡充・充実
			何	幼児教育の質の向上、幼児教育の推進	R2	529	○	○	拡充・充実
011-6	学校教育課 / 私立幼稚園援助事業	私立幼稚園運営経費の負担 ◆私立幼稚園6園、国立幼稚園1園	私立幼稚園運営経費の負担することで、私立幼稚園の幼児教育の質の向上、職員の資質向上を図る		H30	297,776	○	○	拡充・充実
			誰	私立幼稚園、私立幼稚園に通園する幼稚園児及びその保護者	R1	365,718	○	○	拡充・充実
			何	私立幼稚園の幼児教育の充実、職員の資質向上	R2	462,932	○	○	拡充・充実
011-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

011-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
011-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
011-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
011-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
011-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
011-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
011-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010203012
		施策	03	幼児教育・保育の充実	本冊ページ	48
	関連個別計画		第2期津市子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）、津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			健康福祉部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			012	幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることから、小学校以降の教育との接続を踏まえ0歳からの子どもの発達を見通して、家庭・地域との積極的な連携を図りながら、豊かな人間性や感性、人権感覚、興味・関心の芽を育めるような幼児教育・保育を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
012-1	子育て推進課 / 公立保育所管理運営事業	公立保育所の管理・運営 ◆適切な管理運営の実施	公立保育所の適切な管理運営を行う		H30	959,964	○	◎	現状維持
			誰	公立保育所を利用する児童が	R1	865,196	○	◎	現状維持
			何	安心して保育の提供を受けられるよう保育環境の向上を図る	R2	904,284	○	◎	現状維持
012-2	子育て推進課 / 民間保育所等運営事業	民間保育所等運営経費の負担 ◆補助市内24施設、市外9施設	事業者が運営費への負担金を活用し、民間保育所等の運営を行う		H30	1,167,768	○	◎	現状維持
			誰	民間保育所を利用する児童が	R1	1,706,891	○	◎	現状維持
			何	安心して保育の提供を受けられる	R2	1,941,639	○	◎	現状維持
012-3	子育て推進課 / 公立認定こども園管理運営事業	公立認定こども園（津みどりの森こども園・香良洲浜っ子幼児園・芸濃こども園・一志こども園・白山こども園）の管理・運営 ◆適切な管理運営の実施	公立認定こども園の適切な管理運営を行う		H30	203,263	○	◎	現状維持
			誰	公立認定こども園を利用する児童が	R1	257,183	○	◎	現状維持
			何	安心して教育・保育を受けられるよう教育・保育環境の向上を図る	R2	404,544	○	◎	現状維持
012-4	子育て推進課 / 民間認定こども園運営事業	民間認定こども園運営経費の負担金 ◆補助市内15施設、市外4施設	事業者が運営費への負担金を活用し、民間認定こども園の運営を行う		H30	2,778,297	○	◎	現状維持
			誰	民間認定こども園を利用する児童が	R1	2,569,419	○	◎	現状維持
			何	安心して教育・保育の提供を受けられる	R2	2,536,133	○	◎	現状維持
012-5	学校教育課 / 幼稚園教育推進研究事業	小学校教育への円滑な接続を行うため、園児・児童の交流活動や合同研修会の実施、接続期カリキュラムの検討 ◆接続期カリキュラムの検討	交流活動や研修を通じて、小学校教育への円滑な接続を行う		H30	100	○	○	拡充・充実
			誰	幼稚園児及びその保護者	R1	110	○	○	拡充・充実
			何	小学校への円滑な接続	R2	0	○	○	拡充・充実
012-6	学校教育課 / 幼稚園教育推進研究事業	幼児期の豊かな心を育むため、劇・音楽等の鑑賞や地域の方や外部講師を招いた取組み、絵本の読み聞かせ等を実施 ◆親子芸術鑑賞の実施	将来にわたる豊かな人間性等を育む幼児教育を行う		H30	1,752	○	○	拡充・充実
			誰	幼稚園児及びその保護者	R1	1,560	○	○	拡充・充実
			何	豊かな心を育む教育の推進	R2	1,229	○	○	拡充・充実
012-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

012-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
012-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
012-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
012-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
012-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
012-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
012-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010204
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ	49
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（番号）			013	～	020	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
013	基本的な知識や生活習慣の定着を礎としながら、夢や希望を持ち続け、自ら未来を切り拓くことを可能にする「生きる力」を身に付けるとともに、他者を思いやり、多様性を受け止める豊かな心を育むことで、これからの人生をたくましく歩んでいくことができるよう、教員をはじめ子どもたちに関わるすべての関係者が子どもたちに向き合い、寄り添いながら、子どもたちの持っている能力を引き出し、伸ばす教育を推進します。	A	①	教育総務課/学校教育課/教育研究支援課
014	家庭はすべての教育の出発点であることから、子どもたちが家族とのふれあいを通して育ち、学べるよう学校教育と連携した家庭教育の充実に取り組みます。	A	①	教育研究支援課
015	授業改善に取り組むとともに、保護者との連携により家庭学習を充実させて、子どもたちの学習意欲を高め、学力の向上に向けた取組を強化します。	A	①	教育研究支援課
016	安全でより快適な学校環境を整えるため、校舎の大規模改造工事等を順次進めるとともに、平成32年（2020年）度までにすべての小中学校の普通教室へエアコンを設置します。	A	①	教育総務課
017	子どもたちの健全な心身の発達を支える給食をより安全に提供するため、給食センターや給食施設は計画的・効率的な改修を進めます。	B	①	教育総務課
018	特にいじめや不登校、外国につながる子どもに関する課題等に対しては、望ましい学級規模によりきめ細かな支援・指導を行うとともに、専門家等との連携を図りながら組織的な解決につなげます。	A	①	教育研究支援課/人権教育課
019	人権意識を培うため、発達段階に即した人権教育を推進します。	A	①	人権教育課
020	地域と連携して、それぞれの事情に応じた特色ある学校づくりを進めるとともに、通学区域の見直しや学校規模の適正化などの教育課題について、保護者や地域の声を活かした学校運営を図るなど、信頼される学校づくりを推進します。	A	①	教育研究支援課/生涯学習課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	統合型校務支援システムの活用により校務の効率化を図るとともに、必要に応じて臨時講師・教員支援員・英語教育推進指導員・スクールカウンセラー・学級支援サポーター・通訳等巡回担当員の配置や外国語指導助手の派遣、特色ある学校プロジェクトの推進等の事業を行っています。また、小中学校の長寿命化改修を進めるなど、学校教育の充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010204013
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ　49
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局			教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			013	基本的な知識や生活習慣の定着を礎としながら、夢や希望を持ち続け、自ら未来を切り拓くことを可能にする「生きる力」を身に付けるとともに、他者を思いやり、多様性を受け止める豊かな心を育むことで、これからの人生をたくましく歩んでいくことができるよう、教員をはじめ子どもたちに関わるすべての関係者が子どもたちに向き合い、寄り添いながら、子どもたちの持っている能力を引き出し、伸ばす教育を推進します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的 事業の実施により直接的に表れる効果 誰のための事業か 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
013-1	学校教育課 / 統合型校務支援システム事業	子どもたちと向き合う時間の確保や校務の効率化に向け、統合型校務支援システムを活用 ◆子どもと向き合う時間の確保	統合型校務支援システムを活用することにより、教職員の校務を効率化し、子どもたちと向き合う時間を確保する		H30	23,860	◎	◎	拡充・充実
			誰	市内小・中・義務教育学校の児童生徒、教職員	R1	23,938	◎	◎	拡充・充実
			何	教職員の校務を効率化し、子どもたちと向き合う時間を確保する	R2	24,016	◎	◎	拡充・充実
013-2	教育研究支援課 / 臨時講師活用事業	「生きる力」を育む指導方法等の工夫改善への支援を行うため臨時講師を配置 ◆38校に36人配置	児童生徒の総合的な学力の育成を図る		H30	53,390	◎	◎	現状維持
			誰	各小・中・義務教育学校の児童生徒	R1	53,531	◎	◎	現状維持
			何	教育課題に対応し、学力推進に向けた指導を充実させる	R2	53,435	◎	◎	現状維持
013-3	教育総務課 / 教員支援員配置事業	教員の負担軽減を図り、教育指導に専念し、子どもと向き合う時間を確保するために教員支援員を配置 ◆16校に8人を配置	教員が子どもと向き合う時間を確保できる		H30	10,777	○	○	拡充・充実
			誰	教員が	R1	18,940	○	○	拡充・充実
			何	教育指導に専念できる	R2	21,574	○	○	拡充・充実
013-4	教育研究支援課 / 小中一貫教育ネクスト事業	これまでの小中一貫教育の取組を基盤とし、英語教育や道徳教育等の授業改善を図ることにより、子どもたちに求められる資質・能力を育成 ◆すべての中学校区及び義務教育学校区で実施	学力の向上・学校生活の充実、豊かな人間性や社会性を育成する		H30	3,060	○	◎	拡充・充実
			誰	各中学校区及び義務教育学校の子どものために	R1	2,782	○	◎	拡充・充実
			何	小学校から中学校への系統的・連動的な教育を実施する	R2	2,598	○	◎	拡充・充実
013-5	教育研究支援課 / 英語教育推進指導員活用事業	小学校教員、外国語指導助手の英語授業力の育成を図るため英語教育推進指導員を配置 ◆2校に1人配置	小学校における外国語教科化に向け、教員及びALTの英語授業力育成を図る		H30	3,686	◎	◎	現状維持
			誰	各小学校・義務教育学校の教員、ALT	R1	3,682	◎	◎	現状維持
			何	外国語科及び外国語活動における担当者の英語授業力育成を図る	R2	3,661	○	○	廃止
013-6	教育研究支援課 / 外国語指導助手（ALT）活用事業	教育分野における英語教育及び国際理解教育の推進のため外国語指導助手を派遣 ◆69校に20人派遣	英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、外国の文化への興味関心を高め、豊かな国際感覚を養う		H30	81,241	◎	◎	現状維持
			誰	各小・中・義務教育学校の子ども	R1	82,009	◎	◎	現状維持
			何	外国人の生の英語及び文化に触れる機会を提供する	R2	78,464	○	◎	現状維持
013-7	教育研究支援課 / 学校図書館いきいき推進事業	児童・生徒の読書活動を推進し、学校図書館を活性化させるため図書館司書を配置、学校図書館情報システムを有効に活用 ◆すべての中学校区を対象に19人配置	読書を通じて感性を豊かにし、視野を広げるとともに、言語能力の素地を養う		H30	35,093	○	○	拡充・充実
			誰	各小・中・義務教育学校の子ども	R1	39,443	○	○	拡充・充実
			何	図書館の整備、子どもの読書状況の統計資料等の提供等	R2	43,690	○	○	拡充・充実

施策の内容評価シート（令和２年度分）

013-8	教育研究支援課	地域の事業所との連携により、各種施設・企業への職場体験学習の実施 ◆すべての中・義務教育学校で実施	中学生が地域の事業所で職場体験学習を実施したり、職業人の話を聴いたりすることで、将来の職業や進路について考える		H30	1,043	○	◎	現状維持
	中学生職場体験推進事業		誰	中・義務教育学校の生徒	R1	1,049	○	◎	現状維持
			何	自分自身の将来の職業や進路に対する関心と理解を深めるとともに、働く人の思いや願いを知る	R2	447	○	○	現状維持
013-9	教育研究支援課	教員の部活動指導に係る負担軽減を図るため、専門的な知識や技能を生かした指導を部活動の顧問として行うことができる部活動指導員を配置 ◆9校に12人配置	学校現場の教育体制の充実と教職員の過重労働の軽減を図る		H30	715	○	○	拡充・充実
	部活動指導員配置事業		誰	教職員が	R1	3,390	○	○	拡充・充実
			何	子どもと向き合う時間が捻出できるなど、部活動以外の教育活動に従事することができる	R2	4,040	○	○	拡充・充実
013-10					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
013-11					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
013-12					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
013-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
013-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の方向性	①　効果的な事業構成であるため、現状維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010204014
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ	49
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			014	家庭はすべての教育の出発点であることから、子どもたちが家族とのふれあいを通して育ち、学べるよう学校教育と連携した家庭教育の充実に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
014-1	教育研究支援課 / 特色ある学校プロジェクト推進事業	「特色ある学校プロジェクト」を推進し、学校・家庭・地域が一体となった総合的な教育力の育成 ◆すべての小・中・義務教育学校で実施	家庭及び地域と連携し学校の独自性を生かした特色ある学校づくりを進める		H30	8,450	◎	◎	現状維持
			誰	小・中・義務教育学校の児童生徒	R1	8,450	◎	◎	現状維持
			何	学校の独自性や地域のよさを生かして、子どもたちが安心して学べる環境づくりや学力向上を図る	R2	8,422	◎	◎	現状維持
014-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
014-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
014-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
014-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
014-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
014-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

014-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
014-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
014-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
014-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
014-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
014-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
014-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の方向性	①　効果的な事業構成であるため、現状維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010204015
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ	49
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			015	授業改善に取り組むとともに、保護者との連携により家庭学習を充実させて、子どもたちの学習意欲を高め、学力の向上に向けた取組を強化します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
015-1	教育研究支援課 / 小中一貫教育ネクスト事業	これまでの小中一貫教育の取組を基盤とし、英語教育や道徳教育等の授業改善を図ることにより、子どもたちに求められる資質・能力を育成 ◆すべての中学校区及び義務教育学校区で実施	学力の向上・学校生活の充実、豊かな人間性や社会性を育成する		H30	3,060	○	◎	拡充・充実
			誰	各中学校区及び義務教育学校の子ども	R1	2,782	○	◎	拡充・充実
			何	小学校から中学校への系統的・連動的な教育を実施する	R2	2,598	○	◎	拡充・充実
015-2	教育研究支援課 / 特色ある学校プロジェクト推進事業	「特色ある学校プロジェクト」を推進し、学校・家庭・地域が一体となった総合的な教育力の育成 ◆すべての小・中・義務教育学校で実施	家庭及び地域と連携し学校の独自性を生かした特色ある学校づくりを進める		H30	8,450	◎	◎	現状維持
			誰	小・中・義務教育学校の児童生徒	R1	8,450	◎	◎	現状維持
			何	学校の独自性や地域のよさを生かして、子どもたちが安心して学べる環境づくりや学力向上を図る	R2	8,422	◎	◎	現状維持
015-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
015-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
015-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
015-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
015-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

015-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
015-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
015-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
015-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
015-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
015-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
015-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の方向性	①　効果的な事業構成であるため、現状維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010204016
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ	49
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			016	安全でより快適な学校環境を整えるため、校舎の大規模改造工事等を順次進めるとともに、平成32年（2020年）度までにすべての小中学校の普通教室へエアコンを設置します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
016-1	教育総務課	小学校施設長寿命化改修、設備改修等	小学校施設の計画的な改修整備を進め、子どもたちの学習環境の改善に努める		H30	2,071,689	○	◎	現状維持
	小学校施設整備事業（小学校施設維持補修事業）	◆大規模改造3校 ◆普通教室・特別教室空調整備45校 ◆トイレ洋式化31校	誰	子どもたちが	R1	3,100,915	○	◎	現状維持
			何	安全安心な学習環境の下で学ぶことができる	R2	800,396	○	◎	現状維持
016-2	教育総務課	中学校施設長寿命化改修	中学校施設の計画的な改修整備を進め、子どもたちの学習環境の改善に努める		H30	800,941	○	◎	現状維持
	中学校施設整備事業（中学校施設維持補修事業）	◆大規模改造2校 ◆特別教室空調整備17校 ◆トイレ洋式化13校	誰	子どもたちが	R1	1,257,502	○	◎	現状維持
			何	安全安心な学習環境の下で学ぶことができる	R2	623,447	○	◎	現状維持
016-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
016-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
016-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
016-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
016-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

016-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
016-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
016-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
016-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
016-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
016-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
016-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010204017
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ	49
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			017	子どもたちの健全な心身の発達を支える給食をより安全に提供するため、給食センターや給食施設は計画的・効率的な改修を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
017-1	教育総務課	学校給食の安全と質の向上を期するため、保存食に要する経費相当額の負担を行った ◆給食調理校 小学校39校　中学校4校　義務教育学校1校　給食センター3施設対象	学校が、安全安心な給食を提供する		H30	7,323	◎	◎	現状維持
	健康教育推進事業		誰	学校が	R1	6,535	○	○	現状維持
			何	給食を提供する	R2	18,688	○	○	現状維持
017-2	教育総務課	給食センターの維持管理、学校給食調理員の報酬、調理・配送業務委託等 ◆適切な管理・運営の実施 配送校 小学校3校　中学校14校	設置者が、児童・生徒に対し安全な学校給食を提供する		H30	266,654	◎	◎	現状維持
	給食センター管理運営事業		誰	児童生徒が	R1	276,027	○	○	現状維持
			何	給食を喫食する	R2	255,157	○	○	現状維持
017-3	教育総務課	給食室の維持管理、学校給食調理員の報酬等 ◆適切な管理・運営の実施 給食実施校　小学校48校　中学校19校　義務教育学校1校	設置者が、児童・生徒に対し安全な学校給食を提供する		H30	105,604	◎	◎	現状維持
	学校給食事業		誰	児童生徒が	R1	143,805	○	○	現状維持
			何	給食を喫食する	R2	109,040	○	○	現状維持
017-4	教育総務課	幼稚園の給食提供にかかる経費 ◆給食実施12園	設置者が、給食を実施している幼稚園の園児に対し安全な学校給食を提供する		H30	570	◎	◎	現状維持
	幼稚園給食事業		誰	幼稚園児が	R1	434	○	○	現状維持
			何	給食を喫食する	R2	313	○	○	現状維持
017-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
017-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
017-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

017-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
017-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
017-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
017-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
017-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
017-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
017-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010204018
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ	49
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			018	特にいじめや不登校、外国につながる子どもに関する課題等に対しては、望ましい学級規模によりきめ細かな支援・指導を行うとともに、専門家等との連携を図りながら組織的な解決につなげます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
018-1	教育研究支援課 / 三重弁護士会とのスクールサポート連携協定事業	三重県弁護士会との連携による、学校だけでは解決が困難な事案の早期解決、未然防止の取組及び相談体制の構築 ◆適切な運用の実施	弁護士による、教職員への研修や児童生徒への授業を実施したり、解決困難な事例について弁護士に相談したりする		H30				
			誰	学校が	R1	252	○	◎	現状維持
			何	専門的な指導助言等を受けることができる	R2	261	○	◎	現状維持
018-2	教育研究支援課 / スクールカウンセラー・学級支援サポーター活用事業	相談活動の充実を図るため、スクールカウンセラー・学級支援サポーターを配置 ◆スクールカウンセラー・学級支援サポーターの適切な配置	児童の問題行動等の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者や教職員に対しても助言・援助等を行う		H30	17,650	○	○	現状維持
			誰	児童・保護者・教職員が	R1	17,882	○	○	現状維持
			何	カウンセリングや助言等の支援を受け、不安や悩みなどと適切に向き合い行動することができる	R2	17,957	○	◎	現状維持
018-3	人権教育課 / 外国人児童生徒支援事業	外国人児童生徒を支援するため、初期日本語指導教室「きずな」で日本語指導を行うほか、通訳等巡回担当員を配置 ◆巡回担当員8人の配置	外国につながる児童生徒教育の充実を図る		H30	28,162	○	○	拡充・充実
			誰	外国につながる子ども	R1	28,464	◎	○	拡充・充実
			何	日本語で学ぶ力の育成を図る	R2	29,499	◎	◎	拡充・充実
018-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
018-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
018-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
018-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

018-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
018-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
018-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
018-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
018-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
018-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
018-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の方向性	①　効果的な事業構成であるため、現状維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010204019
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ　49
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局			教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			019	人権意識を培うため、発達段階に即した人権教育を推進します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
019-1	人権教育課 / 人権教育推進プロジェクト事業	中学校区及び義務教育学校を単位として子ども人権フォーラムの開催や人権教育カリキュラムに基づいた公開授業等の実施 ◆すべての中学校において、子ども人権フォーラムを実施	9年間を見通した人権教育の推進を図る		H30	1,400	◎	◎	拡充・充実
			誰	小・中・義務教育学校の児童生徒及び教職員	R1	1,400	○	◎	拡充・充実
			何	すべての学校において、系統的な人権教育を推進する	R2	1,400	○	◎	拡充・充実
019-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
019-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
019-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
019-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
019-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
019-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

019-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
019-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
019-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
019-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
019-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
019-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
019-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010204020
		施策	04	学校教育の充実	本冊ページ	49
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			020	地域と連携して、それぞれの事情に応じた特色ある学校づくりを進めるとともに、通学区域の見直しや学校規模の適正化などの教育課題について、保護者や地域の声を活かした学校運営を図るなど、信頼される学校づくりを推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
020-1	教育研究支援課 / 特色ある学校プロジェクト推進事業	「特色ある学校プロジェクト」を推進し、学校・家庭・地域が一体となった総合的な教育力の育成 ◆すべての小・中・義務教育学校で実施	家庭及び地域と連携し学校の独自性を生かした特色ある学校づくりを進める		H30	8,450	◎	◎	現状維持
			誰	小・中・義務教育学校の児童生徒	R1	8,450	◎	◎	現状維持
			何	学校の独自性や地域のよさを生かして、子どもたちが安心して学べる環境づくりや学力向上を図る	R2	8,422	◎	◎	現状維持
020-2	生涯学習課 / PTA連合会補助事業	幼児・児童生徒の健全育成と地域づくりに資する団体活動に対する補助 ◆津市PTA連合会への補助1件	津市PTA連合会が補助金を活用し、市内の幼稚園、小中学校等を単位とするPTAと連携しPTA活動を行う		H30	3,238	○	◎	現状維持
			誰	市内PTAが	R1	3,238	○	◎	現状維持
			何	幼児、小中学校等の児童生徒の健全育成及び教育環境整備等を図る活動がしやすくなる	R2	3,238	○	◎	現状維持
020-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
020-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
020-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
020-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
020-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

020-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
020-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
020-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
020-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
020-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
020-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
020-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の方向性	①　効果的な事業構成であるため、現状維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010205
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ　50
	関連個別計画		津市教育ビジョン前期基本計画		
担当部局			健康福祉部、教育委員会		
施策の内容（番号）			021 ～ 025		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
021	すべての子どもが健やかに育つ環境整備のための支援ネットワークを形成し、一元的な相談窓口機能や支援体制を強化するとともに、民間団体の活動を支援します。	A	①	教育研究支援課/生涯学習課
022	関係機関、団体等の連携により、児童虐待の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者の育児疲れや不安を軽減し、孤立を深刻化させないよう支援を行い、未然の防止に努めます。	A	①	教育研究支援課
023	発達に心配のある子どもへの支援に携わるさまざまな専門職のスキルアップと連携を図るとともに、発達に関する総合的な専門相談窓口の充実や体制の整備、早期支援のための療育の充実を図り、学校においては、関係機関との連携を強化するとともに、教職員の特別支援教育に係る専門性の向上に取り組みます。	A	①	教育研究支援課
024	総合的・計画的な青少年の健全育成対策に向けて、青少年育成団体の活動を支援することに加え、青少年や保護者が気楽に相談できる相談業務を充実するなど、青少年の健全育成を推進します。	B	①	生涯学習課
025	放課後における子どもたちの安全で安心な居場所を確保するため、放課後児童クラブの未設置校区への整備や、狭あい化・老朽化した施設の改修、支援員等の確保や指導力の向上、運営支援などに取り組むとともに、民間事業者による放課後児童クラブの設置を適切に支援することに加え、地域の状況やニーズに合わせて放課後子供教室を設置します。	A	①	生涯学習課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	スクールカウンセラーや学級支援サポーター、介助等が必要な幼児・児童・生徒の支援を行う支援員を配置するほか、青少年野外活動センターの管理運営や放課後児童クラブの運営及び施設整備に対する補助、PTA連合会や津市子ども会育成者連合会の活動に対する補助、放課後子供教室の開催を行うなど、健やかな育ちへの支援を実施しています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010205021
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ	50
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			021	すべての子どもが健やかに育つ環境整備のための支援ネットワークを形成し、一元的な相談窓口機能や支援体制を強化するとともに、民間団体の活動を支援します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
021-1	教育研究支援課 / スクールカウンセラー・学級支援サポーター活用事業	相談活動の充実を図るため、スクールカウンセラー・学級支援サポーターを配置 ◆スクールカウンセラー・学級支援サポーターの適切な配置	児童の問題行動等の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者や教職員に対しても助言・援助等を行う		H30	17,650	○	○	現状維持
			誰	児童・保護者・教職員が	R1	17,882	○	○	現状維持
			何	カウンセリングや助言等の支援を受け、不安や悩みなどと適切に向き合い行動することができる	R2	17,957	○	◎	現状維持
021-2	生涯学習課 / 子ども会育成者連合会補助事業	洋上教室事業、リーダー育成研修事業、各地区の活動に対する補助 ◆連合会への補助1件	津市子ども会育成者連合会が補助金を活用し、研修会やイベントを開催する		H30	7,200	○	○	拡充・充実
			誰	市内の子ども会会員が	R1	7,200	○	○	拡充・充実
			何	活動を通じて、成長する	R2	4,916	○	○	拡充・充実
021-3	生涯学習課 / 社会教育振興会補助事業	青少年の心身の健全な育成を図り社会教育の振興に寄与する青少年野外活動センターの管理運営に対する補助 ◆センターへの補助1件	津市青少年野外活動センターが補助金を活用し、市民や青少年に野外活動や体験活動の場を提供する		H30	30,652	○	○	現状維持
			誰	市民や青少年が	R1	30,464	○	○	現状維持
			何	野外活動や体験活動など様々な学習の場として活用できる	R2	30,369	○	○	現状維持
021-4	生涯学習課 / PTA連合会補助事業	幼児・児童生徒の健全育成と地域づくりに資する団体活動に対する補助 ◆連合会への補助1件	津市PTA連合会が補助金を活用し、市内の幼稚園、小中学校等を単位とするPTAと連携しPTA活動を行う		H30	3,238	○	◎	現状維持
			誰	市内PTAが	R1	3,238	○	◎	現状維持
			何	幼児、小中学校等の児童生徒の健全育成及び教育環境整備等を図る活動がしやすくなる	R2	3,238	○	◎	現状維持
021-5	生涯学習課 / 青少年育成市民会議活動補助事業	青少年健全育成のために実施する研修会、啓発事業、各地区青少年育成組織の活動等に対する補助 ◆補助23件	津市青少年育成市民会議による研修会や会議、青少年向けのイベント開催や啓発活動及び各地区での街頭指導等の実施		H30	8,921	○	○	拡充・充実
			誰	市内の青少年及び関係者	R1	8,858	○	○	拡充・充実
			何	青少年が心身ともに健やかに育つため、また、市民総ぐるみによる青少年育成運動を展開する	R2	7,365	○	○	拡充・充実
021-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
021-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

021-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
021-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
021-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
021-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
021-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
021-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
021-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の方向性	①　効果的な事業構成であるため、現状維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010205022
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ　50
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			022	関係機関、団体等の連携により、児童虐待の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者の育児疲れや不安を軽減し、孤立を深刻化させないよう支援を行い、未然の防止に努めます。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
022-1	教育研究支援課 / スクールカウンセラー・学級支援サポーター活用事業	相談活動の充実を図るため、スクールカウンセラー・学級支援サポーターを配置 ◆スクールカウンセラー・学級支援サポーターの適切な配置	児童の問題行動等の早期発見・早期対応を図るとともに、保護者や教職員に対しても助言・援助等を行う		H30	17,650	○	○	現状維持
			誰	児童・保護者・教職員が	R1	17,882	○	○	現状維持
			何	カウンセリングや助言等の支援を受け、不安や悩みなどと適切に向き合い行動することができる	R2	17,957	○	◎	現状維持
022-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
022-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
022-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
022-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
022-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
022-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

022-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
022-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
022-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
022-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
022-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
022-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
022-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の方向性	①　効果的な事業構成であるため、現状維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010205023
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ　50
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局			健康福祉部、教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			023	発達に心配のある子どもへの支援に携わるさまざまな専門職のスキルアップと連携を図るとともに、発達に関する総合的な専門相談窓口の充実や体制の整備、早期支援のための療育の充実を図り、学校においては、関係機関との連携を強化するとともに、教職員の特別支援教育に係る専門性の向上に取り組みます。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
023-1	教育研究支援課 / 特別支援学級等支援事業	特別支援学級、幼稚園に在籍する生活の介助等が必要な幼児、児童、生徒の支援を行う支援員を配置 ◆支援員の適切な配置	支援を必要とする幼児、児童、生徒が、安心安全な園・学校生活を送ることに近づく		H30	218,588	○	○	拡充・充実
			誰	支援を必要とする幼児、児童、生徒が	R1	220,408	○	○	拡充・充実
			何	支援を必要とする幼児、児童、生徒が、適切な支援を受け、安心安全な園・学校生活を送れるようにする	R2	237,337	○	◎	拡充・充実
023-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
023-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
023-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
023-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
023-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
023-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

023-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
023-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
023-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
023-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
023-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
023-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
023-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の方向性	①　効果的な事業構成であるため、現状維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり	
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード　010205024
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ　50
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局			教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			024	総合的・計画的な青少年の健全育成対策に向けて、青少年育成団体の活動を支援することに加え、青少年や保護者が気楽に相談できる相談業務を充実するなど、青少年の健全育成を推進します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的	事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か	年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
024-1	生涯学習課 / 社会教育振興会補助事業	青少年の心身の健全な育成を図り社会教育の振興に寄与する青少年野外活動センターの管理運営に対する補助 ◆センターへの補助1件		津市青少年野外活動センターが補助金を活用し、市民や青少年に野外活動や体験活動の場を提供する	H30	30,652	○	○	現状維持
			誰	市民や青少年が	R1	30,464	○	○	現状維持
			何	野外活動や体験活動など様々な学習の場として活用できる	R2	30,369	○	○	現状維持
024-2	生涯学習課 / 青少年育成市民会議活動補助事業	青少年健全育成のために実施する研修会、啓発事業、各地区青少年育成組織の活動等に対する補助 ◆補助23件		津市青少年育成市民会議による研修会や会議、青少年向けのイベント開催や啓発活動及び各地区での街頭指導等の実施	H30	8,921	○	○	拡充・充実
			誰	市内の青少年及び関係者	R1	8,858	○	○	拡充・充実
			何	青少年が心身ともに健やかに育つため、また、市民総ぐるみによる青少年育成運動を展開する	R2	7,365	○	○	拡充・充実
024-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
024-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
024-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
024-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
024-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

024-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
024-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
024-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
024-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
024-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
024-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
024-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	01	子どもたちの未来が輝くまちづくり		
		基本政策	02	子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実	管理コード	010205025
		施策	05	健やかな育ちへの支援	本冊ページ	50
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			025	放課後における子どもたちの安全で安心な居場所を確保するため、放課後児童クラブの未設置校区への整備や、狭あい化・老朽化した施設の改修、支援員等の確保や指導力の向上、運営支援などに取り組むとともに、民間事業者による放課後児童クラブの設置を適切に支援することに加え、地域の状況やニーズに合わせて放課後子供教室を設置します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
025-1	生涯学習課 / 放課後児童クラブ運営補助事業	放課後児童クラブの運営に対する補助 ◆補助72件	放課後児童クラブが、補助金を活用し、安定した運営を行う		H30	510,597	○	◎	拡充・充実
			誰	放課後児童クラブ	R1	616,018	○	◎	拡充・充実
			何	円滑な運営を図ることができる	R2	657,874	○	◎	拡充・充実
025-2	生涯学習課 / 放課後児童クラブ整備事業	放課後児童クラブ施設の整備、整備に対する補助 ◆新築工事（芸濃）、実施設計等業務委託（成美・栗葉）、整備に対する補助（豊が丘）	市あるいは民営の放課後児童クラブが、補助金を活用し、放課後児童クラブ施設の整備を行う		H30	106,674	○	◎	拡充・充実
			誰	市あるいは民営の放課後児童クラブが	R1	45,691	○	◎	拡充・充実
			何	放課後児童クラブ施設の整備を行う	R2	70,049	○	◎	拡充・充実
025-3	生涯学習課 / 放課後子供教室支援事業	放課後子供教室の実施 ◆明・辰水・草生・美杉	地域の方々の参画を得て、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、放課後子供教室を開催する		H30	1,720	○	◎	現状維持
			誰	小学校の全ての児童が	R1	3,239	○	◎	現状維持
			何	心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する	R2	3,010	○	◎	現状維持
025-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
025-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
025-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
025-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

025-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
025-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
025-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
025-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
025-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
025-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
025-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020306
		施策	06	地域包括ケアシステムの確立	本冊ページ	53
	関連個別計画		第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（番号）			026	～	026	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
026	高齢者やその家族が必要な時に速やかに対応する医療体制が整い、必要な医療・介護サービスを適切に享受できる「在宅医療・介護連携」、多職種協働による個別ケースの解決、潜在ニーズの顕著化、需要に見合ったサービスの基盤整備等の協議を行う「地域ケア会議」、家族の不安や負担に寄り添い認知症の方へのケアを行う「認知症対策」、地域のつながりを強め、介護予防や地域の見守り体制など、支えあい活動の充実を図る「生活支援・介護予防」の4つの事業が有機的に結び付き、高齢者が尊厳を保ちながら、本人が望む限り住み慣れた地域で人生の最期まで暮らせるシステムを確立します。	A	①	高齢福祉課/地域包括ケア推進室/介護保険課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	地域包括支援センターの運営及び在宅介護支援センター事業を業務委託により実施するほか、生活支援コーディネーター・認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員を配置するとともに、地域ケア会議を年150回開催しています。また、高齢者外出支援事業やふれあい・いきいきサロン事業を実施するなど、地域包括ケアシステムの確立に向けた取組を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020306026
		施策	06	地域包括ケアシステムの確立	本冊ページ　53
	関連個別計画		第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			026	高齢者やその家族が必要な時に速やかに対応する医療体制が整い、必要な医療・介護サービスを適切に享受できる「在宅医療・介護連携」、多職種協働による個別ケースの解決、潜在ニーズの顕著化、需要に見合ったサービスの基盤整備等の協議を行う「地域ケア会議」、家族の不安や負担に寄り添い認知症の方へのケアを行う「認知症対策」、地域のつながりを強め、介護予防や地域の見守り体制など、支えあい活動の充実を図る「生活支援・介護予防」の4つの事業が有機的に結び付き、高齢者が尊厳を保ちながら、本人が望む限り住み慣れた地域で人生の最期まで暮らせるシステムを確立します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
026-1	地域包括ケア推進室 / 地域包括支援センター運営事業	地域で暮らす高齢者を総合的に支援する地域包括支援センターの運営業務委託 ◆総合相談件数8400件	地域で暮らす高齢者が、介護・医療・保健・福祉サービス等を利用しやすくなり、介護予防が進む		H30	252,180	○	○	拡充・充実
			誰	地域で暮らす高齢者とその家族が	R1	258,200	○	○	拡充・充実
			何	相談支援を通じて、介護・医療・保健・福祉サービス等を利用して、安心して地域で生活することを支援する	R2	303,600	○	◎	現状維持
026-2	高齢福祉課 / 高齢者地域ケア体制推進事業	地域での相談窓口として機能する在宅介護支援センター事業の委託 ◆11か所の設置	地域で暮らす高齢者とその家族が適切な福祉サービスが受けられる		H30	16,680	○	○	現状維持
			誰	地域で暮らす高齢者とその家族が	R1	16,275	○	○	現状維持
			何	介護・福祉に関する相談・支援を行う地域の身近な窓口で、相談受付、福祉サービスの情報提供を行う	R2	15,290	○	○	現状維持
026-3	地域包括ケア推進室 / 地域ケア会議推進事業	高齢者が住み慣れた住まいで生活できるよう地域全体で支援していくことを目的とした地域ケア会議の運営・推進 ◆年150回の開催	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための、課題の抽出、解決策の検討が進む		H30	900	○	○	拡充・充実
			誰	地域で暮らす高齢者が	R1	900	○	○	拡充・充実
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、高齢者自身の支援と地域課題の解決を同時に進める	R2	1,000	○	○	拡充・充実
026-4	高齢福祉課 / 高齢者外出支援事業	既設の路線バス及びコミュニティバス等の交通網を活用し、高齢者の介護予防及び免許返納の観点から高齢者外出支援の実施 ◆年延べ36,501人の利用	外出機会の拡大と高齢者の生きがいづくり等		H30	10,808	◎	◎	拡充・充実
			誰	地域で暮らす高齢者が	R1	11,543	◎	◎	拡充・充実
			何	地域で暮らす高齢者の外出機会が拡大する	R2	9,036	◎	◎	拡充・充実
026-5	地域包括ケア推進室 / 在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療と介護サービスの一体的な提供に向けて、情報の共有支援、研修、普及啓発等の実施 ◆医療・介護関係者の研修会の参加者数年640人	在宅療養が必要な高齢者が、必要な医療・介護サービス等を利用しやすくなる		H30	27,331	○	○	拡充・充実
			誰	在宅療養が必要な高齢者が	R1	25,639	○	○	拡充・充実
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、在宅医療・在宅介護の連携体制を充実させる	R2	31,082	○	○	拡充・充実
026-6	地域包括ケア推進室 / 生活支援体制整備事業	高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制を整備していくために、生活支援コーディネーターを配置 ◆地域支援回数年2160回	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための、地域のつながりや支えあい活動などの体制整備が進む		H30	47,800	○	○	拡充・充実
			誰	地域で暮らす高齢者が	R1	55,420	○	○	拡充・充実
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、地域のつながりや支えあい活動などの体制整備を進める	R2	55,215	○	○	拡充・充実
026-7	地域包括ケア推進室 / 認知症総合支援事業	認知症初期集中支援チーム及び認知症地域支援推進員の配置 ◆初期集中支援チーム支援件数年100件	認知症の早期発見・早期治療、認知症になっても地域で暮らし続けられる地域の支援体制が構築される		H30	11,923	○	○	拡充・充実
			誰	地域で暮らす高齢者が	R1	11,905	○	○	拡充・充実
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、認知症の早期発見・早期治療、地域の認知症への理解を進める	R2	11,524	○	○	拡充・充実

施策の内容評価シート（令和２年度分）

026-8	介護保険課	事業対象者、要支援1、2の高齢者に対する介護予防訪問型サービス事業等の実施 ◆適切な支援を適宜実施	サービス事業者等が、事業対象者・要支援認定者に対し、介護予防訪問型サービス等を提供する		H30	510,664	○	◎	拡充・充実
	第1号訪問・通所・生活支援事業		誰	事業対象者、要支援1、2の高齢者が	R1	533,149	○	◎	拡充・充実
			何	日常生活における多様な生活支援の利用ができる	R2	514,715	○	◎	拡充・充実
026-9	介護保険課	事業対象者、要支援1、2の高齢者に対する介護予防ケアマネジメント事業の実施 ◆適切な支援を適宜実施	地域包括支援センター等が、事業対象者・要支援認定者に対し、介護予防ケアマネジメントを実施する		H30	62,202	○	◎	拡充・充実
	介護予防ケアマネジメント事業		誰	事業対象者、要支援1、2の高齢者が	R1	64,553	○	◎	拡充・充実
			何	適切な総合事業の利用ができる	R2	61,339	○	◎	拡充・充実
026-10	地域包括ケア推進室	住民運営の通いの場の充実、高齢者を取り巻く地域づくりを推進し、介護予防の機能強化 ◆ふれあい・いきいきサロン事業参加総数年76000人	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための介護予防活動の普及・啓発が進む		H30	56,667	○	○	現状維持
	一般介護予防事業		誰	地域で暮らす高齢者が	R1	57,204	○	○	現状維持
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、身近な地域で、必要な介護予防活動の普及・啓発を進める	R2	44,818	○	○	現状維持
026-11					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
026-12					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
026-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
026-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020307
		施策	07	地域福祉の充実	本冊ページ　53
	関連個別計画				
担当部局		健康福祉部			
施策の内容（番号）		027	～	027	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
027	支えが必要な人が適切なサービスを受けられるよう相談支援体制を整え、必要な情報・サービスの提供に加えて、地域活動やボランティア活動への市民の参加を促すとともに、民生委員・児童委員活動をはじめとする各種活動への支援を行い、津市社会福祉協議会や福祉関係団体などと連携しながら地域特性に応じた福祉活動を充実します。	A	①	福祉政策課／市民福祉課（河芸）

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	社会福祉協議会の法人運営及び地域福祉活動に対する補助を行うほか、津市河芸ほほえみセンターの管理運営を行うなど、関係団体と連携しながら地域福祉の充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020307027
		施策	07	地域福祉の充実	本冊ページ	53
	関連個別計画					
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			027	支えが必要な人が適切なサービスを受けられるよう相談支援体制を整え、必要な情報・サービスの提供に加えて、地域活動やボランティア活動への市民の参加を促すとともに、民生委員・児童委員活動をはじめとする各種活動への支援を行い、津市社会福祉協議会や福祉関係団体などと連携しながら地域特性に応じた福祉活動を充実します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
027-1	福祉政策課 / 社会福祉協議会運営補助事業	社会福祉協議会の法人運営事業費及び地域福祉活動事業費に対する補助 ◆補助1件	事業の実施により直接的に表れる効果	津市社会福祉協議会が運営事業費補助を受ける	H30	378,978	○	◎	拡充・充実
			誰のための事業か	津市社会福祉協議会が	R1	357,572	○	◎	拡充・充実
			何のための事業か	補助金を受け活動しやすくなる	R2	357,572	○	◎	拡充・充実
027-2	市民福祉課（河芸） / 社会福祉施設等管理運営事業	津市河芸ほほえみセンターの管理運営事業 ◆利用者数　14,000人／年	事業の実施により直接的に表れる効果	津市河芸ほほえみセンターの適正な維持管理を図ることにより、各福祉団体等が当センターを拠点として活動することができる	H30	15,529	○	◎	現状維持
			誰のための事業か	河芸地区民児協、河芸老連、身障福祉会河芸支部、母子等福祉会河芸支部などの各福祉団体や津市社協河芸支部が	R1	15,571	○	◎	現状維持
			何のための事業か	施設を利用して、地域に根差した福祉活動を行うことができる	R2	19,481	△	◎	現状維持
027-3					H30				
			誰のための事業か		R1				
			何のための事業か		R2				
027-4					H30				
			誰のための事業か		R1				
			何のための事業か		R2				
027-5					H30				
			誰のための事業か		R1				
			何のための事業か		R2				
027-6					H30				
			誰のための事業か		R1				
			何のための事業か		R2				
027-7					H30				
			誰のための事業か		R1				
			何のための事業か		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

027-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
027-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
027-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
027-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
027-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
027-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
027-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020308
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ	53
	関連個別計画		津市環境基本計画、第８次高齢者福祉計画・第７期介護保険事業計画			
担当部局						
施策の内容（番号）			028	～	030	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
028	施設入所へのニーズに対応するため、計画的に介護老人福祉施設を整備していきます。	A	①	高齢福祉課
029	生きがいづくりや仲間づくりの場として、気軽に参加でき、多世代交流ができるような事業の充実に取り組みます。	B	①	高齢福祉課
030	高齢者の健康づくり・介護予防を推進し、介護保険サービスの充実に努めるとともに、介護給付の適正化に取り組み、介護保険事業の健全な運営を行います。	A	①	環境政策課/地域包括ケア推進室/介護保険課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	介護サービス等の給付事業を実施するほか、介護老人福祉施設等の整備やシルバー人材センターの運営に対する補助、老人クラブの活動に対する助成、ふれあい・いきいきサロンなどの事業を実施し、高齢者福祉の充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020308028
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ	53
	関連個別計画		第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			028	施設入所へのニーズに対応するため、計画的に介護老人福祉施設を整備していきます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
028-1	高齢福祉課 / 介護老人福祉施設整備補助金	整備計画に基づく介護老人福祉施設等の整備に係る補助 ◆1施設の整備完了	入所待機者の解消に向け施設整備を推進		H30	0	○	×	拡充・充実
			誰	介護施設サービスを必要とする人	R1	0	×	×	拡充・充実
			何	適切に利用できる	R2	13,500	◎	◎	拡充・充実
028-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
028-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
028-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
028-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
028-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
028-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

028-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
028-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
028-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
028-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
028-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
028-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
028-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	D	E	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020308029
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ	53
	関連個別計画		第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			029	生きがいづくりや仲間づくりの場として、気軽に参加でき、多世代交流ができるような事業の充実に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
029-1	高齢福祉課 / 敬老事業	各地区社会福祉協議会の実施する敬老事業に対する助成 ◆各地区への適切な助成	敬老事業を活性化する一助となる		H30	58,973	◎	◎	拡充・充実
			誰	津市社会福祉協議会が	R1	56,300	◎	◎	拡充・充実
			何	交付金を受けイベント等事業をしやすくなる	R2	0	×	×	拡充・充実
029-2	高齢福祉課 / 老人クラブ助成事業	老人クラブの活動に対する助成 ◆各クラブへの適切な助成	老人クラブの活動が活性化する		H30	19,107	◎	◎	拡充・充実
			誰	老人クラブが	R1	17,811	◎	◎	拡充・充実
			何	補助金を受け活動をしやすくなる	R2	15,814	◎	◎	拡充・充実
029-3	高齢福祉課 / シルバー人材センター運営補助事業	シルバー人材センターの運営事業費に対する補助 ◆シルバー人材センターへの補助年1件	高齢者の就業機会が開拓される		H30	16,236	◎	◎	拡充・充実
			誰	シルバー人材センターが	R1	15,836	◎	◎	拡充・充実
			何	補助金を受け就業先の斡旋等活動をしやすくなる	R2	16,329	◎	◎	拡充・充実
029-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
029-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
029-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
029-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

029-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
029-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
029-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
029-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
029-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
029-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
029-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	029-1
担当課名	高齢福祉課
事業名	敬老事業
事業の内容	各地区社会福祉協議会の実施する敬老事業に対する助成
当初の事業実施計画	各地区社会福祉協議会の実施する敬老事業に対する助成
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、敬老事業についてはご参加いただく方、ご準備いただく方の健康・安全を第一に考え中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020308030
		施策	08	高齢者福祉の充実	本冊ページ	53
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）、第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			030	高齢者の健康づくり・介護予防を推進し、介護保険サービスの充実に努めるとともに、介護給付の適正化に取り組み、介護保険事業の健全な運営を行います。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
030-1	環境政策課 / 大型家具等ごみ出し支援事業	大型家具等をごみ一時集積所まで排出することが困難な要介護者又は障がい者で構成される世帯に対する戸別収集の実施 ◆年間約260世帯補助	家財道具等の大型ごみをごみ一時集積所等まで排出することが困難な高齢者等の自宅から、大型ごみを排出し、処分する		H30	－	△	◎	拡充・充実
			誰	『要支援認定者』（H30.9追加）、『要介護認定者』、『障がい者』、『75歳以上の者』（R1.7追加）のみで構成される世帯が	R1	－	◎	◎	拡充・充実
			何	ごみ出しに係る負担の軽減になる	R2	－	◎	◎	現状維持
030-2	介護保険課 / 居宅介護サービス等給付事業	要介護認定者に対する訪問介護等居宅介護サービス費の給付 ◆適切な支援を適宜実施	介護サービス事業者が、要介護認定者に対し、訪問介護等の居宅介護サービスを提供する		H30	11,094,491	○	◎	拡充・充実
			誰	在宅の要介護認定者が	R1	11,434,957	○	◎	拡充・充実
			何	居宅、事業所等において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	R2	11,674,733	○	◎	拡充・充実
030-3	介護保険課 / 地域密着型介護サービス給付事業	要介護認定者に対する認知症対応型共同生活介護等地域密着型サービス費の給付 ◆適切な支援を適宜実施	介護サービス事業者が、要介護認定者に対し、認知症対応型共同生活介護等の地域密着型介護サービスを提供する		H30	3,054,108	○	◎	拡充・充実
			誰	在宅又は施設に入所する要介護認定者が	R1	3,140,400	○	◎	拡充・充実
			何	居宅、事業所、介護保険施設等において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	R2	3,199,557	○	◎	拡充・充実
030-4	介護保険課 / 施設介護サービス等給付事業	要介護認定者に対する介護老人福祉施設等施設介護サービス費の給付 ◆適切な支援を適宜実施	介護サービス事業者が、要介護認定者に対し、介護福祉施設サービス等の施設介護サービスを提供する		H30	8,554,688	○	◎	拡充・充実
			誰	施設に入所する要介護認定者が	R1	8,701,288	○	◎	拡充・充実
			何	介護保険施設において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	R2	8,853,333	○	◎	拡充・充実
030-5	介護保険課 / サービス計画給付事業	要介護認定者に対する居宅介護サービス計画費の給付 ◆適切な支援を適宜実施	居宅介護支援事業者が、要介護認定者に対し、ケアマネジメントを実施する		H30	1,351,965	○	◎	拡充・充実
			誰	在宅の要介護認定者が	R1	1,404,730	○	◎	拡充・充実
			何	適切な介護サービスの利用が受けられる	R2	1,417,954	○	◎	拡充・充実
030-6	介護保険課 / 介護予防サービス等給付事業	要支援認定者に対する介護予防訪問入浴介護等介護予防サービス費の給付 ◆適切な支援を適宜実施	介護サービス事業者が、要支援認定者に対し、介護予防訪問入浴介護等の介護予防サービスを提供する		H30	492,324	○	◎	拡充・充実
			誰	在宅の要支援認定者が	R1	489,536	○	◎	拡充・充実
			何	居宅又はサービス事業所において、日常生活を送るために必要な支援が受けられる	R2	490,351	○	◎	拡充・充実
030-7	地域包括ケア推進室 / 一般介護予防事業	住民運営の通いの場の充実、高齢者を取り巻く地域づくりを推進し、介護予防の機能強化 ◆ふれあい・いきいきサロン事業参加総数年76000人	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための介護予防活動の普及・啓発が進む		H30	56,667	○	○	現状維持
			誰	地域で暮らす高齢者が	R1	57,204	○	○	現状維持
			何	住み慣れた地域で生活を続けられるよう、身近な地域で、必要な介護予防活動の普及・啓発を進める	R2	44,818	○	○	現状維持

施策の内容評価シート（令和２年度分）

030-8	介護保険課	事業対象者、要支援1、2の高齢者に対する介護予防訪問型サービス事業等の実施 ◆適切な支援を適宜実施	サービス事業者等が、事業対象者・要支援認定者に対し、介護予防訪問型サービス等を提供する		H30	510,664	○	◎	拡充・充実
	第1号訪問・通所・生活支援事業		誰	事業対象者、要支援1、2の高齢者が	R1	533,149	○	◎	拡充・充実
			何	日常生活における多様な生活支援の利用ができる	R2	514,715	○	◎	拡充・充実
030-9	介護保険課	事業対象者、要支援1、2の高齢者に対する介護予防ケアマネジメント事業の実施 ◆適切な支援を適宜実施	地域包括支援センター等が、事業対象者・要支援認定者に対し、介護予防ケアマネジメントを実施する		H30	62,202	○	◎	拡充・充実
	介護予防ケアマネジメント事業		誰	事業対象者、要支援1、2の高齢者が	R1	64,553	○	◎	拡充・充実
			何	適切な総合事業の利用ができる	R2	61,339	○	◎	拡充・充実
030-10					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
030-11					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
030-12					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
030-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
030-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020309
		施策	09	障がい者（児）福祉の充実	本冊ページ	54
	関連個別計画		津市環境基本計画、津市障がい福祉総合プラン			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（番号）			031	～	032	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
031	障がい者の生活基盤となる施設整備や福祉サービスの利用を促進するとともに、関係機関と連携して福祉就労から一般就労に結び付けるなどの就労支援を行い、障がい者の自立と社会参加に向けた取組を進めます。	A	①	環境政策課/障がい福祉課/保険医療助成課
032	重度障がい者及び強度行動障がい者への支援については、三重県と共にサービス提供事業所及び人材の確保に取り組みます。	B	①	障がい福祉課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	各種手当等の給付のほか、児童発達支援や放課後等デイサービス等に係る給付、障がい者等の自立訓練や就労継続支援等に係る給付、障がい者・精神障がい者に対する医療費助成、障がい者で構成される世帯への大型家具等の個別収集などを実施し、障がい者（児）福祉の充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020309031
		施策	09	障がい者（児）福祉の充実	本冊ページ	54
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市障がい福祉総合プラン（平成30年度～令和2年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			031	障がい者の生活基盤となる施設整備や福祉サービスの利用を促進するとともに、関係機関と連携して福祉就労から一般就労に結び付けるなどの就労支援を行い、障がい者の自立と社会参加に向けた取組を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
031-1	環境政策課 / 大型家具等ごみ出し支援事業	大型家具等をごみ一時集積所まで排出することが困難な要介護者又は障がい者で構成される世帯に対する戸別収集の実施 ◆年間約260世帯補助	家財道具等の大型ごみをごみ一時集積所等まで排出することが困難な高齢者等の自宅から、大型ごみを排出し、処分する		H30	－	△	◎	拡充・充実
			誰	『要支援認定者』（H30.9追加）、『要介護認定者』、『障がい者』、『75歳以上の者』（R1.7追加）のみで構成される世帯の	R1	－	◎	◎	拡充・充実
			何	ごみ出しに係る負担の軽減になる	R2	－	◎	◎	現状維持
031-2	障がい福祉課 / 特別障害者手当等給付事業	特別障害者手当、福祉手当、障害児福祉手当、心身障害児童福祉年金、重度心身障害者等介護手当の給付 ◆適切な支援を適宜実施	障がい（児）者等に対し、必要な手当等の支給を行う		H30	147,441	○	◎	現状維持
			誰	障がい（児）者等が	R1	150,630	○	◎	現状維持
			何	経済的負担の軽減に繋がる	R2	155,115	○	◎	現状維持
031-3	障がい福祉課 / 障害児通所支援事業	児童発達支援、放課後等デイサービス等に係る給付 ◆適切な支援を適宜実施	障がいのある児童や発達に心配がある児童に対し集団生活への適応、生活能力の向上のための支援を行う		H30	993,149	○	◎	現状維持
			誰	障がい児が	R1	1,147,648	○	◎	現状維持
			何	集団生活への適応、生活能力を身につける	R2	1,306,684	○	◎	現状維持
031-4	障がい福祉課 / 介護給付事業	居宅介護、重度訪問介護、生活介護、施設入所支援等に係る給付 ◆適切な支援を適宜実施	居宅や通所・入所事業所において、障がい者等に必要な支援（介護給付）を行う		H30	3,269,545	○	◎	現状維持
			誰	障がい（児）者等が	R1	3,377,510	○	◎	現状維持
			何	障がい特性等に応じた生活が続けられる	R2	3,528,542	○	◎	現状維持
031-5	障がい福祉課 / 訓練等給付事業	自立訓練、就労継続支援等に係る給付 ◆適切な支援を適宜実施	障がい者等が自立した社会生活を送れるよう、必要な生活能力を身につける支援（訓練等給付）を行う		H30	1,692,177	○	◎	現状維持
			誰	障がい者等が	R1	1,832,080	○	◎	現状維持
			何	自立した日常生活に繋がる	R2	2,008,048	○	◎	現状維持
031-6	障がい福祉課 / 地域生活支援事業	日中一時支援、移動支援、日常生活用具等の給付、訪問入浴サービス等の実施 ◆適切な支援を適宜実施	障がい（児）者等が日常生活を送るうえで、必要となる日常生活用具の給付や、移動にかかる支援等を行う		H30	367,569	○	◎	現状維持
			誰	障がい者等が	R1	382,281	○	◎	現状維持
			何	日常生活の充実等に繋がる	R2	376,491	○	◎	現状維持
031-7	障がい福祉課 / 育成医療事業	身体に障がいのある児童に対し、生活の能力を得るために、その身体障がいを改善する手術等に要する医療費の助成 ◆適切な支援を適宜実施	治療を行わないと将来において、障がいを残すと認められる疾患がある児童に対し、必要な治療を行う		H30	12,563	○	◎	現状維持
			誰	障がい児等が	R1	8,667	○	◎	現状維持
			何	障がいの改善に繋がる	R2	7,844	○	◎	現状維持

施策の内容評価シート（令和２年度分）

031-8	保険医療助成課 医療費助成事業	障がい者、精神障がい者に対する医療費の助成 ◆適切な助成の実施	保健の向上と福祉の増進につながる		H30	739,763	◎	◎	現状維持
			誰	障がい者の	R1	752,380	◎	◎	現状維持
			何	経済的な負担を軽減する	R2	733,252	◎	◎	現状維持
031-9					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
031-10					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
031-11					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
031-12					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
031-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
031-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020309032
		施策	09	障がい者（児）福祉の充実	本冊ページ	54
	関連個別計画		津市障がい福祉総合プラン（平成30年度～令和2年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			032	重度障がい者及び強度行動障がい者への支援については、三重県と共にサービス提供事業所及び人材の確保に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
032-1	障がい福祉課 / 強度行動障がい者等特別支援事業	強度行動障がい者及び重症心身障がい者の在宅支援のため障がい福祉サービス提供事業者に特別加算費を支給 ◆適切な支援を適宜実施	通所支援事業所における強度行動障害者等の支援を行う		H30	3,009	○	○	現状維持
			誰	強度行動障がい者等の支援を行うサービス提供事業者及びサービス利用者が	R1	4,416	○	○	現状維持
			何	支援体制の確保並びにサービス利用者に対する受入れが進む	R2	3,991	○	○	現状維持
032-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
032-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
032-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
032-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
032-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
032-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

032-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
032-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
032-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
032-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
032-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
032-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
032-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード　020310
		施策	10	低所得者福祉の充実	本冊ページ　54
	関連個別計画			第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画	
担当部局				健康福祉部	
施策の内容（番号）				033 ～ 034	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
033	関係機関と連携し、情報共有を図りながら、生活困窮者の早期発見を行うとともに、さまざまな支援制度や支援団体などの地域における社会資源も有効に活用し、相談者に寄り添いながら、一人ひとりの課題に応じた包括的な支援を行い、生活困窮者の自立を促進します。	A	②	援護課/介護保険課
034	社会的、経済的な自立をめざし、働く能力を有する人に対しては就労を支援するとともに、高齢者世帯に対しては介護サービスの利用により、在宅生活が継続できるよう支援するなど、関係機関と連携しながら個々の世帯に応じた適正保護に取り組みます。	A	①	援護課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	生活困窮者に対しては、生活保護に至る前の段階から早期の包括的な相談支援を通じた個別的・継続的支援を実施するとともに、生活困窮者及び生活保護受給者に対して経済的自立に向けた就労支援を実施するなど、低所得者福祉の充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020310033
		施策	10	低所得者福祉の充実	本冊ページ	54
	関連個別計画		第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画（平成30年度～令和2年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			033	関係機関と連携し、情報共有を図りながら、生活困窮者の早期発見を行うとともに、さまざまな支援制度や支援団体などの地域における社会資源も有効に活用し、相談者に寄り添いながら、一人ひとりの課題に応じた包括的な支援を行い、生活困窮者の自立を促進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
033-1	援護課 / 生活困窮者自立支援法関係事業	生活困窮者に対し、生活保護に至る前の段階から、早期の包括的な相談支援を通じた個別的・継続的支援の実施 ◆適切な支援を適宜実施	相談者の抱える課題に対して包括的な支援を行い、自立に繋げる		H30	36,747	◎	◎	拡充・充実
			誰	生活困窮者の	R1	35,844	◎	◎	拡充・充実
			何	生活困窮状態からの早期自立を支援する	R2	46,232	◎	◎	拡充・充実
033-2	援護課 / 生活保護費支給事業	生活保護受給者に対する扶助 ◆適切な支援を適宜実施	健康で文化的な生活を保障し、自立を助長する		H30	4,915,967	◎	◎	現状維持
			誰	生活困窮者の	R1	4,936,410	◎	◎	現状維持
			何	最低限度の生活を保障する	R2	4,761,817	◎	◎	現状維持
033-3	援護課 / 生活困窮者就労支援事業	生活困窮者の経済的自立に向けた就労支援の実施 ◆適切な支援を適宜実施	経済的な自立を目指す		H30	6,734	◎	◎	拡充・充実
			誰	就労支援が必要と認める生活困窮者の	R1	6,538	◎	◎	拡充・充実
			何	生活習慣、社会的能力、就労に向けた技法及び知識の習得等を支援する	R2	5,211	◎	◎	拡充・充実
033-4	介護保険課 / 特定入所者介護サービス等給付事業	低所得者に対する施設サービス・短期入所サービスに係る食費・居住費の補足給付 ◆適切な支援を適宜実施	介護保険施設に入所又は短期入所する低所得の利用者が、食費・居住費に係る補助を受ける		H30	973,035	○	◎	現状維持
			誰	施設に入所又は短期入所する低所得の利用者が	R1	979,738	○	◎	現状維持
			何	経済的な負担の減少がされることで、安心して生活できる	R2	972,492	○	◎	見直し
033-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
033-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
033-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

033-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
033-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
033-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
033-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
033-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
033-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
033-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	②							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	03	社会の変化に対応した福祉の充実	管理コード	020310034
		施策	10	低所得者福祉の充実	本冊ページ	54
	関連個別計画					
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			034	社会的、経済的な自立をめざし、働く能力を有する人に対しては就労を支援するとともに、高齢者世帯に対しては介護サービスの利用により、在宅生活が継続できるよう支援するなど、関係機関と連携しながら個々の世帯に応じた適正保護に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
034-1	援護課	生活保護受給者の経済的自立に向けた就労支援の実施 ◆適切な支援を適宜実施	就労による増収及び生活保護からの自立		H30	2,512	◎	◎	拡充・充実
	自立支援（就労）プログラム事業		誰	就労可能と判断する被保護者で就労が見込まれる者	R1	2,417	◎	◎	拡充・充実
			何	日常生活習慣、基礎技能等を修得することができる	R2	2,044	◎	◎	拡充・充実
034-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
034-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
034-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
034-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
034-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
034-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

034-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
034-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
034-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
034-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
034-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
034-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
034-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020411
		施策	11	健康づくりの推進	本冊ページ　57
	関連個別計画		津市第3次健康づくり計画、津市自殺対策計画		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（番号）			035	～	036

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
035	ヘルスボランティアなどの地域団体等と連携し、健康増進に向けて市民の主体的な活動を引き出し、信頼やネットワークを構築しながら効果的・継続的に地域特性に応じた取組を推進します。	B	①	健康づくり課
036	生活習慣病の予防や心の健康を保つため、各種健康診査を推進し、きめ細かな相談支援を行うとともに、市民が関心を持ち行動に移してもらえるような健康情報の提供を行います。	B	①	健康づくり課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	各種検診や予防接種、健康教育・健康相談を実施するほか、食生活改善推進員及び健康づくり推進員を養成して啓発活動等を実施し、健康づくりの推進に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を実施することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード	020411035
		施策	11	健康づくりの推進	本冊ページ	57
	関連個別計画		津市第3次健康づくり計画（平成29年度～令和4年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			035	ヘルスボランティアなどの地域団体等と連携し、健康増進に向けて市民の主体的な活動を引き出し、信頼やネットワークを構築しながら効果的・継続的に地域特性に応じた取組を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
035-1	健康づくり課	健康づくり推進懇話会 市民の健康づくりにかかる施策に関して、広く意見を聴取し、その推進に資する活動を協働で実施する ◆開催回数　年6回	地域にある組織や人材によるソーシャル・キャピタルの醸成		H30	658	○	○	拡充・充実
	健康づくり事業		誰	市民	R1	814	○	○	拡充・充実
			何	健康維持増進のサポート	R2	540	△	○	拡充・充実
035-2	健康づくり課	食生活改善推進員、健康づくり推進員の活動支援と市民や地域に健康づくりを広げるボランティア活動を担う人材の育成 ◆養成講座開催回数 年各1回、支援研修会開催回数11回	健康意識を高め維持増進を図り、地域で活躍できる人材育成		H30	1,098	○	○	拡充・充実
	健康づくり事業		誰	市民	R1	1,211	○	○	拡充・充実
			何	ヘルスボランティアとして活躍できる人材の確保	R2	531	×	○	拡充・充実
035-3	健康づくり課	健康づくり推進事業に係る業務　健康づくりに関する普及啓発活動 ◆地区啓発推進活動　40回　研修会20回	健康意識の向上と仲間同士での健康維持増進の地域活動		H30	731	○	○	拡充・充実
	健康づくり事業		誰	市民	R1	730	○	○	拡充・充実
			何	健康づくりを支える地域づくり	R2	730	○	○	現状維持
035-4	健康づくり課	食生活改善推進事業に係る業務委託　健康づくりに関する普及啓発活動 ◆食生活改善事業業務55回 以上高齢者食生活改善事業業務110回以上	健康意識の向上と仲間同士での健康維持増進の地域活動		H30	1,334	○	○	拡充・充実
	健康づくり事業		誰	市民	R1	1,334	○	○	拡充・充実
			何	食を通じた健康づくりを支える地域づくり	R2	1,334	○	○	現状維持
035-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
035-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
035-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

035-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
035-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
035-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
035-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
035-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
035-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
035-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	035-1
担当課名	健康づくり課
事業名	健康づくり事業
事業の内容	健康づくり推進懇話会 市民の健康づくりにかかる施策に関して、広く意見を聴取し、その推進に資する活動を協働で実施する。
当初の事業実施計画	開催回数　年6回
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、年間6回開催のところを1回中止、書面協議1回、以外3回はオンライン会議との併用としたため、当初の計画と変更して実施した。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	035-2
担当課名	健康づくり課
事業名	健康づくり事業
事業の内容	食生活改善推進員養成講座、健康づくり推進員養成講座 健康に関する知識を学び、市民や地域に健康づくりを広げるボランティア活動を担う人材の育成。
当初の事業実施計画	開催講座数　年各1回
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、公募による教室開催はリスクが高いと判断し、中止とした。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード	020411036
		施策	11	健康づくりの推進	本冊ページ	57
	関連個別計画		津市第3次健康づくり計画（平成29年度～令和4年度）・津市自殺対策計画（平成31年度～令和5年度）			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			036	生活習慣病の予防や心の健康を保つため、各種健康診査を推進し、きめ細かな相談支援を行うとともに、市民が関心を持ち行動に移してもらえるような健康情報の提供を行います。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
036-1	健康づくり課 / 予防接種事業	乳幼児・児童の予防接種、高齢者のインフルエンザ及び肺炎球菌ワクチン接種、妊娠を予定または希望している女性・妊婦の夫などの風しん予防接種の実施 ◆適切な予防接種の実施	感染のおそれのある疾病の発生及びまん延の予防		H30	715,670	○	○	現状維持
			誰	市民	R1	678,006	○	○	現状維持
			何	疾病の発症予防及び重症化予防	R2	820,906	○	○	現状維持
036-2	健康づくり課 / 健康診査、がん検診等事業	疾病の早期発見、健康管理の啓発のため、39歳以下及び健康増進法による健康診査、各種がん検診等の実施 ◆適切な健診等の実施	対象者が、39歳以下及び健康増進法健康診査、各種がん検診等を受診する		H30	708,355	○	○	拡充・充実
			誰	受診者が	R1	588,796	○	○	拡充・充実
			何	自己の健康管理及び、がんを早期発見することができる	R2	552,393	○	○	拡充・充実
036-3	健康づくり課 / 歯周病検診事業	40歳・50歳・60歳・70歳を対象とする歯周病検診の実施 ◆適切な検診の実施	40歳・50歳・60歳・70歳の人が、歯周病検診を受診する		H30	7,563	○	○	現状維持
			誰	受診者が	R1	7,289	○	○	現状維持
			何	歯周病の早期発見・治療をすることができる	R2	7,160	○	○	現状維持
036-4	健康づくり課 / 胃がん検診二重読影事業	国の指針に基づく胃がん検診二重読影の実施 ◆適切な検診の実施	胃がん検診受診者の撮影画像を二重読影する		H30				
			誰	受診者が	R1	18,522	○	○	拡充・充実
			何	二重読影により、がんの早期発見ができる	R2	16,181	○	○	拡充・充実
036-5	健康づくり課 / 30歳歯周病検診事業	30歳を対象とする歯周病検診の実施 ◆適切な検診の実施	30歳の人が、歯周病検診を受診する		H30				
			誰	受診者が	R1				
			何	歯周病の早期発見・治療をすることができる	R2	825	○	○	拡充・充実
036-6	健康づくり課 / ロタウイルスワクチン定期接種事業	令和2年10月から令和2年8月生まれ以降の乳児を対象としたロタウイルスワクチンの定期予防接種の実施 ◆適切な予防接種の実施	ロタウイルス感染症の発生及び重症化予防		H30				
			誰	乳児	R1				
			何	ロタウイルス感染症の発生及び重症化予防	R2	24,655	○	○	拡充・充実
036-7	健康づくり課 / 成人の風しんに関する追加的対策事業	令和元年度から令和3年度まで、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象にした風しんの抗体検査及び予防接種の実施 ◆適切な対策等の実施	風しんの発生予防及びまん延防止並びに先天性風しん症候群の発生予防		H30				
			誰	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性	R1	28,114	○	○	拡充・充実
			何	風しんの発生予防及びまん延防止並びに先天性風しん症候群の発生予防	R2	23,727	○	○	拡充・充実

施策の内容評価シート（令和２年度分）

036-8	健康づくり課 健康づくり事業	健康教育と健康相談の実施 ◆170回　3000人 150回　500人	心身の健康の維持増進と生活習慣病の予防		H30	6,288	○	○	拡充・充実
			誰	市民	R1	6,307	○	○	拡充・充実
			何	健康状態の改善や向上	R2	4,970	△	△	現状維持
036-9	健康づくり課 健康づくり事業	地域自殺対策の実施 街頭啓発と啓発活動 ◆9・3月街頭啓発　年2回 イベント啓発　年4回	生きることへの包括的支援による自殺の予防		H30	1,244	○	○	拡充・充実
			誰	市民	R1	1,357	△	△	拡充・充実
			何	生きることへの包括的支援	R2	1,291	△	△	拡充・充実
036-10					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
036-11					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
036-12					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
036-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
036-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	036-8
担当課名	健康づくり課
事業名	健康づくり事業
事業の内容	健康教育と健康相談の実施
当初の事業実施計画	健康教育170回　3000人　　健康相談 150回　500人
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、健康教育による啓発事業については、会場によっては3密を回避しづらい状況もあり、新型コロナウイルス感染症罹患への不安から地域からの出前講座などの依頼も減り、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	036-9
担当課名	健康づくり課
事業名	健康づくり事業
事業の内容	地域自殺対策の実施 街頭啓発と啓発活動
当初の事業実施計画	9・3月街頭啓発　年2回 、イベント啓発　年4回
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、街頭啓発、イベント開催時の啓発事業については、集団や不特定多数の市民に向けた対面アプローチを感染対策を講じて行うことが難しく、開催中止となり、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020412
		施策	12	地域医療・救急医療体制の充実	本冊ページ　57
	関連個別計画				
担当部局		健康福祉部			
施策の内容（番号）		037	～	038	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
037	高齢化が急速に進むなかで、誰もが安心して医療、看護、介護を受け、暮らすことができるように、関係機関と連携し、へき地での家庭医療専門医の診療を推進するなど医療機会の確保を図り、無医地区を解消するとともに、介護と一体となった訪問診療や訪問看護が提供できる体制を整えます。	B	①	地域包括ケア推進室/保険医療助成課/地域医療推進室
038	二次救急病院群輪番体制の安定した継続に努めながら、初期・二次・三次救急医療体制がそれぞれ円滑に機能するよう、関係機関と連携・協力の上、より充実した救急医療体制の構築に向け取り組みます。	A	①	地域医療推進室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	白山・美杉地域においては医療・介護・福祉連携事業を実施するとともに、特に美杉地域においては津市家庭医療クリニック及び竹原診療所を設置し、医療機会の確保を図っています。また、休日・夜間の応急診療所の管理運営や津地区医師会との連携による輪番病院への医師派遣のほか、画像による遠隔医療システムの運用により輪番病院がリアルタイムで三重大学病院から指導を受けられる体制を整えるなどし、地域医療・救急医療体制の充実を図っています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード	020412037
		施策	12	地域医療・救急医療体制の充実	本冊ページ	57
	関連個別計画					
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			037	高齢化が急速に進むなかで、誰もが安心して医療、看護、介護を受け、暮らすことができるように、関係機関と連携し、へき地での家庭医療専門医の診療を推進するなど医療機会の確保を図り、無医地区を解消するとともに、介護と一体となった訪問診療や訪問看護が提供できる体制を整えます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
037-1	地域医療推進室 地域包括ケア推進室 / 白山・美杉地域の医療・介護・福祉連携事業	白山・美杉地域における医療・介護・福祉サービスが一体的に提供できる救急医療及び在宅医療をはじめとする地域医療体制の確保 ◆適切な地域医療体制の確保	白山・美杉地域において、医療・介護・福祉サービスを一体的に提供するとともに、軽症救急患者の救急搬送の受入れを確保する		H30	25,038	○	◎	現状維持
			誰	白山・美杉地域の住民が	R1	25,038	○	◎	現状維持
			何	医療・介護・福祉の一体的なサービスや救急診療を住み慣れた地域内で受けることが出来る	R2	25,038	○	◎	現状維持
037-2	保険医療助成課 / 診療業務委託事業（直診勘定）	家庭医療クリニック及び竹原診療所における診療業務の委託 ◆美杉地域における診療の確保	過疎地域における専門医等の医師を確保する		H30	24,745	○	◎	現状維持
			誰	美杉地域等の住民が	R1	27,587	○	◎	現状維持
			何	地域内で診療を受けることができる	R2	28,144	○	◎	現状維持
037-3	保険医療助成課 / 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	健康寿命を延ばす取組を推進するため、地域ぐるみの一体的な高齢者の低栄養・フレイル予防の実施 ◆地域と連携した低栄養・フレイル予防の実施	フレイル予防を知り行動できる高齢者が増える		H30				
			誰	高齢者が	R1	1,830	△	○	拡充・充実
			何	住み慣れた家、地域で暮らし続けることができる	R2	11,132	△	○	拡充・充実
037-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
037-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
037-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
037-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

037-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
037-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
037-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
037-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
037-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
037-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
037-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020412038
		施策	12	地域医療・救急医療体制の充実	本冊ページ　57
	関連個別計画				
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			038	二次救急病院群輪番体制の安定した継続に努めながら、初期・二次・三次救急医療体制がそれぞれ円滑に機能するよう、関係機関と連携・協力の上、より充実した救急医療体制の構築に向け取り組みます。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
038-1	地域医療推進室 / 二次救急医療体制事業	入院治療を必要とする中等症・重症患者の救急医療体制の確保及び救急患者の受入体制の強化のための医師派遣 ◆適切な二次救急医療体制の確保	祝・休日等の昼間及び毎夜間における二次救急輪番病院群の受入体制の安定した継続及び強化が図られる		H30	192,471	◎	◎	現状維持
			誰	津市民が	R1	205,945	◎	◎	現状維持
			何	祝・休日等の昼間及び毎夜間において、入院医療、手術、専門的な治療を受けることができる	R2	205,836	◎	◎	現状維持
038-2	地域医療推進室 / 画像による遠隔医療システム事業	輪番病院と三重大医学部附属病院で疾病画像を共有し、リアルタイムで医師の指導が得られるシステムの運用 ◆迅速かつ的確な処置を行うシステムの適切な運用	三次救急医療機関の診療画像の読影診断による二次救急輪番病院等における救急搬送患者への診療体制の充実が図られる		H30	9,916	◎	◎	現状維持
			誰	救急搬送患者が	R1	9,964	◎	◎	現状維持
			何	診療画像の読影診断による必要な処置を受けることができる	R2	9,913	◎	◎	現状維持
038-3	地域医療推進室 / こども応急クリニック、久居休日応急診療所及び応急クリニック運営事業	休日・夜間の応急診療所の管理運営 ◆適切な初期救急医療体制の確保	休日・夜間において初期救急医療が必要な患者の診療体制を確保する		H30	134,716	◎	◎	現状維持
			誰	休日・夜間に初期救急医療が必要となった市民が	R1	134,184	◎	◎	現状維持
			何	3つの応急診療所で診察を受けることができる	R2	122,717	◎	◎	現状維持
038-4	地域医療推進室 / 救急・健康相談ダイヤル事業	専門の医師等が24時間・年中無休のフリーダイヤルで健康・医療に関するあらゆる相談に応じる「救急・健康相談ダイヤル24」の運営 ◆効果的な電話相談体制の実施	日常における市民からの医療や健康に対する相談を、医師・看護師等が電話で対応することで、不安解消や救急搬送における軽症者混在の改善や適正な救急車利用、受診行動につなげる		H30	7,814	◎	◎	現状維持
			誰	医療や健康に不安を持つ市民が	R1	8,775	◎	◎	現状維持
			何	24時間体制で電話相談を行うことができる	R2	8,082	◎	◎	現状維持
038-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
038-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
038-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

038-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
038-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
038-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
038-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
038-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
038-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
038-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード	020413
		施策	13	公的医療保険の安定運営	本冊ページ	57
	関連個別計画		津市第3期国民健康保険特定健康診査等実施計画			
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（番号）			039	～	040	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
039	国民健康保険においては、平成30年（2018年）度から三重県が財政運営の責任主体として、市町ごとの標準保険料率の算定や財政安定化基金の設置・運営などを行い、安定した財政運営を推進するなか、本市では、三重県の算定した標準保険料率等を参考に適正な保険料率を決定し、収納対策の強化を行うとともに、特定健康診査等の保健事業を行い被保険者の健康状態の改善に努め、ジェネリック医薬品の推奨など医療費の適正化を推進することで、安心して医療を受けられるよう健全な事業運営を行います。	B	①	保険医療助成課
040	三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、健康診査の推進や収納対策の強化などを行い、後期高齢者医療制度の安定した運営を推進します。	B	①	保険医療助成課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	公的医療保険の安定運営のため、未納者への電話催告やコンビニエンスストアでの保険料の収納代理業務、特定健康診査等を実施するとともに、各種給付の適正給付に努めています。また、後期高齢者医療制度については相応分の負担により、安定的な運営につなげています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード　020413039
		施策	13	公的医療保険の安定運営	本冊ページ　57
	関連個別計画		津市第3期国民健康保険特定健康診査等実施計画（平成30年度～令和5年度）		
担当部局			健康福祉部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			039	国民健康保険においては、平成30年（2018年）度から三重県が財政運営の責任主体として、市町ごとの標準保険料率の算定や財政安定化基金の設置・運営などを行い、安定した財政運営を推進するなか、本市では、三重県の算定した標準保険料率等を参考に適正な保険料率を決定し、収納対策の強化を行うとともに、特定健康診査等の保健事業を行い被保険者の健康状態の改善に努め、ジェネリック医薬品の推奨など医療費の適正化を推進することで、安心して医療を受けられるよう健全な事業運営を行います。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		事業の評価：年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
039-1	保険医療助成課 / 徴収委託事業	保険料未納者に対する電話催告業務及び納付者の利便性向上のためのコンビニエンスストアでの収納代理業務の委託 ◆保険料納付環境の確保	納付義務者が未納を認識し、保険料支払いの場所や時間の制限が軽減される		H30	9,155	○	○	現状維持
			誰	保険料納付義務者が	R1	9,959	○	○	現状維持
			何	納付方法の選択枝が増えることで納付しやすくなる	R2	10,126	○	○	現状維持
039-2	保険医療助成課 / 保険給付事業	療養給付費、高額療養費、出産育児一時金等の給付 ◆適切な給付の実施	病気やケガをした場合等の経済的負担が軽減される		H30	19,272,598	○	○	現状維持
			誰	国民健康保険被保険者等が	R1	18,797,635	○	○	現状維持
			何	必要な保険給付を受けることができる	R2	17,935,825	○	○	現状維持
039-3	保険医療助成課 / 特定健診・特定保健指導事業	40歳から74歳の被保険者に対する特定健康診査及び一定の基準のもと抽出された対象者に対する保健指導の実施 ◆令和2年度特定健康診査受診率50%、令和2年度特定保健指導実施率30%	生活習慣病の発症や重症化予防のために行動することができる		H30	212,516	○	○	現状維持
			誰	40歳以上の国民健康保険被保険者が	R1	213,124	○	○	現状維持
			何	健診を受診することで自らの体の変化を知り、生活習慣病予防のための取組を実践するきっかけとなる	R2	199,989	○	○	現状維持
039-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
039-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
039-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
039-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

039-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
039-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
039-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
039-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
039-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
039-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
039-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	02	安心して健やかに暮らせるまちづくり		
		基本政策	04	健康づくりの推進と医療体制の充実	管理コード	020413040
		施策	13	公的医療保険の安定運営	本冊ページ	57
	関連個別計画					
担当部局			健康福祉部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			040	三重県後期高齢者医療広域連合と連携し、健康診査の推進や収納対策の強化などを行い、後期高齢者医療制度の安定した運営を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
040-1	保険医療助成課 / 後期高齢者医療事業	県後期高齢者医療広域連合を保険者とする医療制度の運営に要する負担金等 ◆相応分の負担の実施	後期高齢者医療制度の安定的な運営につながる		H30	6,313,871	○	○	現状維持
			誰	後期高齢者医療被保険者が	R1	6,593,043	○	○	現状維持
			何	後期高齢者医療制度の安定したサービスを受けることができる	R2	6,872,054	○	○	現状維持
040-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
040-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
040-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
040-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
040-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
040-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

040-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
040-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
040-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
040-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
040-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
040-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
040-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030514
		施策	14	防災・減災施策の強化	本冊ページ	61
	関連個別計画		津市地域防災計画、津市国民保護計画、津市耐震改修促進計画			
担当部局			危機管理部、都市計画部、教育委員会			
施策の内容（番号）			041	～	043	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
041	防災力の強化に向け、地域ぐるみで行われる防災訓練への支援や小中学校における防災教育などに積極的に取り組み、自助・共助・公助が相互に連携し、地域の実情に応じた終わりなき災害対応力の強化を推進します。	D	①	危機管理課/防災室
042	避難体制の強化に向け、迅速・的確な避難行動につながる情報伝達体制づくりを推進するとともに、自主防災組織が主体となった避難計画の作成や避難所の運営体制づくりなどを支援します。	A	①	危機管理課/防災室
043	木造住宅などの耐震化に向け、耐震診断や耐震補強の支援制度の利用促進・拡充に向けて取り組みます。	C	②	防災室/建築指導課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C	自主防災組織への補助、業務委託による水防対策支援サービスの実施や土砂災害ハザードマップの作成、家具等の固定に対する補助を実施するほか、昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅については無料で耐震診断を実施するとともに、耐震補強工事に係る計画作成費用・工事費用（又は除却費用）に対する補助を行うなど、防災・減災施策の強化に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030514041
		施策	14	防災・減災施策の強化	本冊ページ	61
	関連個別計画		津市地域防災計画、津市国民保護計画			
担当部局			危機管理部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			041	防災力の強化に向け、地域ぐるみで行われる防災訓練への支援や小中学校における防災教育などに積極的に取り組み、自助・共助・公助が相互に連携し、地域の実情に応じた終わりなき災害対応力の強化を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
041-1	防災室	自主防災活動を活性化し、地域防災力を向上させるため、防災資機材整備、研修会及び訓練に対する補助 ◆自主防災組織への適切な補助（約280団体）	自主防災組織が、補助金を活用しつつ、防災資機材の整備等を行う		H30	15,287	○	○	現状維持
	地域防災力強化推進事業		誰	自主防災組織が	R1	16,829	○	○	現状維持
			何	効果的な防災活動を行うことができ、もって地域の被害軽減に繋げる	R2	15,161	○	○	現状維持
041-2	危機管理課	緊急対処事態発生時の措置の確認、対応能力の向上、関係機関との連携強化、国民保護計画の検証を行うため、県と共同で図上訓練を実施 ◆県の実施計画に合わせて図上訓練を実施	県と共同で緊急対処事態発生時の対応等を確認する		H30				
	国民保護共同図上訓練事業		誰	市民の人々が	R1				
			何	安全・安心に暮らすため	R2	553	×	×	現状維持
041-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
041-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
041-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
041-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
041-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

041-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
041-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
041-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
041-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
041-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
041-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
041-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	D

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	041-2
担当課名	危機管理課
事業名	国民保護共同図上訓練事業
事業の内容	緊急対処事態発生時の措置の確認、対応能力の向上、関係機関との連携強化、国民保護計画の検証を行うため、県と共同で図上訓練を実施
当初の事業実施計画	県の実施計画に合わせて図上訓練を実施
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、国民保護共同図上訓練が中止となったことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030514042
		施策	14	防災・減災施策の強化	本冊ページ	61
	関連個別計画		津市地域防災計画			
担当部局			危機管理部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			042	避難体制の強化に向け、迅速・的確な避難行動につながる情報伝達体制づくりを推進するとともに、自主防災組織が主体となった避難計画の作成や避難所の運営体制づくりなどを支援します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
042-1	防災室 / 土砂災害ハザードマップ作成事業	土砂災害警戒区域の啓発としての土砂災害ハザードマップの作成 ◆県の基礎調査に合わせて適宜実施	市内外の人々が津市内の土砂災害警戒区域を把握できる		H30	1,380	◎	◎	拡充・充実
			誰	市内外の人々が	R1	2,717	◎	◎	拡充・充実
			何	災害時に適切な避難をすることができる	R2	4,037	◎	◎	現状維持
042-2	防災室 / 洪水ハザードマップ作成事業	新たな浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップの作成 ◆県の被害予測調査に合わせて適宜実施	市内外の人々が河川の浸水想定区域を把握できる		H30	8,170	◎	◎	拡充・充実
			誰	市内外の人々が	R1	1,958	◎	◎	現状維持
			何	災害時に適切な避難をすることができる	R2				
042-3	危機管理課 / 総合災害情報管理システム構築事業	総合災害情報管理システム構築事業 ◆R元年度中の構築	災害時に様々な情報を管理できる		H30				
			誰	市災害対策本部職員が	R1	6,559	◎	○	現状維持
			何	情報等を基にした適切な体制確保、災害対策を実施することができる	R2				
042-4	防災室 / 水防対策支援サービス委託事業	出水期に風水害の情報を民間気象事業者から提供を受けて、適切なタイミングで避難勧告等が発令できる等、災害時の対応力の向上を目的とした業務委託 ◆適切な避難勧告等の発令	解析雨量や台風情報等の気象情報を事前に把握することができる		H30				
			誰	市災害対策本部職員が	R1				
			何	解析情報等を基にした適切な体制確保、災害対策を実施することができる	R2	1,320	◎	◎	現状維持
042-5	防災室 / 地域防災力強化推進事業	自主防災活動を活性化し、地域防災力を向上させるため、防災資機材整備、研修会及び訓練に対する補助 ◆自主防災組織への適切な補助（約280団体）	自主防災組織が、補助金を活用しつつ、防災資機材の整備等を行う		H30	15,287	○	○	現状維持
			誰	自主防災組織が	R1	16,829	○	○	現状維持
			何	効果的な防災活動を行うことができ、もって地域の被害軽減に繋げる	R2	15,161	○	○	現状維持
042-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
042-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

042-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
042-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
042-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
042-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
042-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
042-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
042-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030514043
		施策	14	防災・減災施策の強化	本冊ページ	61
	関連個別計画		津市地域防災計画、津市耐震改修促進計画（令和3年度～令和7年度）			
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			043	木造住宅などの耐震化に向け、耐震診断や耐震補強の支援制度の利用促進・拡充に向けて取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
043-1	防災室 / 家具等転倒防止対策事業	家具等の固定に対する補助及び啓発事業 ◆必要とする方への補助等の実施	市民の方々が補助金等を活用し、家具等の固定を行う		H30	74,000	○	○	現状維持
			誰	市民の方々が	R1	12,000	○	○	現状維持
			何	地震による家具等の転倒及び移動に起因する圧死、負傷等の被害を未然に防ぐ	R2	48,000	○	○	現状維持
043-2	防災室 / 耐震シェルター等設置補助事業	耐震シェルター等の設置に対する補助 ◆補助1件 ※令和元年度をもって廃止	市民の方々が補助金を活用し、耐震シェルターの設置を行う		H30	0	×	△	見直し
			誰	市民の方々が	R1	0	×	△	廃止
			何	地震による家屋の倒壊に起因する被害をを未然に防ぐ	R2				
043-3	建築指導課 / 木造住宅無料耐震診断住宅訪問事業	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅を対象とし、戸別訪問により耐震診断に関する啓発及び知識の普及を図る事業 ◆啓発件数4,000件	木造住宅の耐震化を促進するために、啓発及び情報提供を行う		H30	4,370	○	◎	現状維持
			誰	木造住宅を所有する市内の人々が	R1	4,488	○	◎	現状維持
			何	啓発及び情報提供を行い、耐震化に取り組むきっかけになる	R2	1,760	○	◎	現状維持
043-4	建築指導課 / 木造住宅耐震診断等事業	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅の耐震診断等業務委託 ◆診断件数400件	木造住宅の耐震化を促進するために、無料耐震診断を行う		H30	27,144	○	◎	現状維持
			誰	木造住宅を所有する市内外の人々が	R1	22,822	○	◎	現状維持
			何	市民の生命、財産を守る	R2	15,576	○	◎	現状維持
043-5	建築指導課 / 木造住宅耐震補強計画作成補助事業	耐震診断結果に基づく耐震補強工事を行うための計画作成費用に対する補助 ◆補助件数15件	補助金を活用し、木造住宅の耐震補強計画を行う		H30	800	△	○	現状維持
			誰	木造住宅を所有する市内の人々が	R1	960	△	○	現状維持
			何	市民の生命、財産を守る	R2	160	×	△	現状維持
043-6	建築指導課 / 木造住宅耐震補強補助事業	耐震診断結果に基づく耐震補強工事に対する補助 ◆補助件数15件	補助金を活用し、木造住宅の耐震補強工事を行う		H30	16,968	△	○	現状維持
			誰	木造住宅を所有する市内の人々が	R1	11,700	△	○	現状維持
			何	市民の生命、財産を守る	R2	7,800	×	△	現状維持
043-7	建築指導課 / 木造住宅除却補助事業	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅のうち、耐震診断の結果、評点が0.7未満の木造住宅等の除却工事に対する補助 ◆補助件数120件	補助金を活用し、木造住宅の除却を行う		H30	31,709	◎	◎	拡充・充実
			誰	木造住宅を所有する市内外の人々が	R1	35,785	◎	◎	拡充・充実
			何	市民の生命、財産を守る	R2	34,617	◎	◎	拡充・充実

施策の内容評価シート（令和２年度分）

043-8	建築指導課	第一次緊急輸送道路沿道に建つ旧耐震建築物の耐震診断費用に対する補助 ◆補助2件	補助金を活用し、避難路沿道建築物の耐震診断を行う		H30	6,009	○	◎	現状維持
	避難路沿道建築物耐震診断補助事業		誰	耐震診断義務化建築物を所有する市内外の人々が	R1	2,089	△	○	見直し
			何	市民の安全及び避難経路の確保をする	R2	0	×	×	見直し
043-9	建築指導課	第一次緊急輸送道路沿道に建つ旧耐震建築物の耐震補強計画作成費用に対する補助 ◆補助0件	補助金を活用し、避難路沿道建築物の耐震補強計画を行う		H30	0	×	×	見直し
	避難路沿道建築物耐震補強計画作成補助事業		誰	耐震診断義務化建築物を所有する市内外の人々が	R1	1,306	△	△	見直し
			何	市民の安全及び避難経路の確保をする	R2	0	×	×	見直し
043-10	建築指導課	道路に面するブロック塀等の撤去・改修費用に対する補助 ◆補助60件	補助金を活用し、ブロック塀等の撤去改修を行う		H30	488	○	◎	拡充・充実
	ブロック塀等撤去改修補助事業		誰	ブロック塀等を所有する市内外の人々が	R1	7,783	○	◎	拡充・充実
			何	市民の安全及び避難経路の確保をする	R2	7,948	○	◎	拡充・充実
043-11					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
043-12					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
043-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
043-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C							
今後の方向性	②	③	②							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030515
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ	61
	関連個別計画		津市立地適正化計画、津市耐震改修促進計画、第2次津市水道事業基本計画、津市下水道事業基本計画、津市雨水管理総合計画、下水道総合地震対策計画			
担当部局			危機管理部、農林水産部、都市計画部、建設部、上下水道事業局、上下水道管理局			
施策の内容（番号）			044	～	049	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
044	国が管理する雲出川については、雲出川水系全体の整備状況を勘案し、事業進捗に遅れが出ることなく、地域間のバランスの取れた治水安全度の向上が図られるよう国に強く働きかけます。	B	①	事業調整室
045	県管理河川については、計画的な整備・改修を進めることに加え、しゅんせつ等の適切な維持管理を行うよう三重県に対し強く働きかけるとともに、本市が管理する準用河川や調整池などについても、修繕等の適切な維持管理、下流河川の排水能力や地域特性に応じた取組を行うことで、治水対策を推進します。	B	①	事業調整室/河川排水推進室/南北工事事務所
046	海岸堤防については、発生が予想される南海トラフ地震や台風時の高潮から市民のいのちと財産を守るため、栗真町屋工区や阿漕浦・御殿場工区の早期の整備完了を促進し、また、津北部地域における海岸堤防については、漁港堤防と一体的に整備を促進するよう国・県の関係機関に対して強く働きかけます。	B	①	事業調整室
047	土砂流出や急傾斜地の崩壊による災害から市民のいのちと財産を守るため、砂防・急傾斜地崩壊対策の促進を図るとともに、土砂災害警戒区域に指定された区域内での災害情報の伝達や素早い避難が可能となる警戒・避難体制の整備を進めます。	A	①	防災室/開発指導室/河川排水推進室
048	道路や橋りょう、排水機場、水道・下水道施設などのインフラの整備や耐震化を推進します。	B	①	地域連携課/林業振興室/建築指導課/建設整備課/南北工事事務所/下水道施設課/下水道工務課/水道工務課
049	災害リスクに対応した防災上安全性の高い区域へ都市機能や居住の誘導を図る土地利用の促進や津波浸水が想定される区域における民間施設や公共施設を活用した津波避難ビル・津波避難協力ビルの確保など、災害に強いまちづくりを進めます。	A	①	財産管理課/危機管理課/防災室/地域調整室/地域医療推進室/都市政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	国・県が管理する河川等については計画的な整備・改修等を要望するとともに、市が管理する河川等については浚渫や改修工事等による適正な維持管理に努めています。また、各公共施設・地域インフラの整備や耐震化を進めるとともに、民間施設・公共施設を活用した津波避難ビル・津波避難協力ビルを確保するなど、災害に強いまちづくりの推進を図っています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030515044
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ	61
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			044	国が管理する雲出川については、雲出川水系全体の整備状況を勘案し、事業進捗に遅れが出ることなく、地域間のバランスの取れた治水安全度の向上が図られるよう国に強く働きかけます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
044-1	事業調整室	一級河川雲出川河川改修事業の促進及び事業費の確保並びに雲出川の直轄事業の継続について、関係機関への要望活動を実施する。 ◆時宜を捉えて適宜実施	一級河川雲出川における治水事業の促進		H30	237	○	○	現状維持
	三重県雲出川治水事業促進期成同盟会		誰	雲出川流域の住民が	R1	290	○	○	現状維持
			何	安心・安全な生活を送る	R2	355	○	○	現状維持
044-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
044-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
044-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
044-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
044-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
044-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

044-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
044-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
044-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
044-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
044-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
044-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
044-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030515045
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ	61
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			045	県管理河川については、計画的な整備・改修を進めることに加え、しゅんせつ等の適切な維持管理を行うよう三重県に対し強く働きかけるとともに、本市が管理する準用河川や調整池などについても、修繕等の適切な維持管理、下流河川の排水能力や地域特性に応じた取組を行うことで、治水対策を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
045-1	河川排水推進室 / 緊急浚渫対策事業	緊急浚渫対策事業債を活用した、浸水対策のための河川の浚渫工事 ◆6事業	浸水対策の促進		H30				
			誰	河川流域の住民が	R1				
			何	安心・安全な暮らしを送る	R2	26,697	○	○	拡充・充実
045-2	河川排水推進室 / 雨水対策事業（河川等改修）	緊急自然災害防止対策事業債を活用した、河川等の改修工事 ◆3事業	浸水対策の促進		H30				
			誰	地域の住民が	R1				
			何	安心・安全な暮らしを送る	R2	47,738	○	○	拡充・充実
045-3	南北工事事務所 / 河川等維持事業	準用河川等のしゅんせつ、除草、修繕等の維持管理 ◆適正な維持管理の実施	適正な河川施設の維持管理を行う		H30	99,327	○	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	89,610	○	◎	現状維持
			何	地域特性に応じた河川施設の維持管理を行う	R2	85,147	○	◎	現状維持
045-4	事業調整室 / 要望活動	県管理河川の改修事業の推進、計画的なしゅんせつを、県政要望などにより要望活動を実施する。 ◆時宜を捉えて適宜実施	県管理河川における治水事業の促進		H30	0	○	○	現状維持
			誰	県管理河川流域の住民が	R1	0	○	○	現状維持
			何	安心・安全な生活を送る	R2	0	○	○	現状維持
045-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
045-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
045-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

045-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
045-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
045-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
045-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
045-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
045-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
045-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030515046
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ	61
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部、建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			046	海岸堤防については、発生が予想される南海トラフ地震や台風時の高潮から市民のいのちと財産を守るため、栗真町屋工区や阿漕浦・御殿場工区の早期の整備完了を促進し、また、津北部地域における海岸堤防については、漁港堤防と一体的に整備を促進するよう国・県の関係機関に対して強く働きかけます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的 / 事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
046-1	事業調整室	津北部地域のうち県土整備部所管の海岸堤防の早期整備を、県政要望などにより要望活動を実施する。 ◆時宜を捉えて適宜実施	津北部地域海岸における海岸事業の促進		H30	0	○	○	現状維持
	要望活動		誰	津北部地域海岸沿岸住民が	R1	0	○	○	現状維持
			何	安心・安全な生活を送る	R2	0	○	○	現状維持
046-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
046-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
046-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
046-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
046-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
046-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

046-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
046-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
046-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
046-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
046-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
046-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
046-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030515047
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ	61
	関連個別計画		津市地域防災計画			
担当部局			危機管理部、農林水産部、建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			047	土砂流出や急傾斜地の崩壊による災害から市民のいのちと財産を守るため、砂防・急傾斜地崩壊対策の促進を図るとともに、土砂災害警戒区域に指定された区域内での災害情報の伝達や素早い避難が可能となる警戒・避難体制の整備を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
047-1	防災室 / 土砂災害ハザードマップ作成事業	土砂災害警戒区域の啓発としての土砂災害ハザードマップの作成 ◆県の基礎調査に合わせて適宜実施	市内外の人々が津市内の土砂災害警戒区域を把握できる		H30	1,380	◎	◎	拡充・充実
			誰	市内外の人々が	R1	2,717	◎	◎	拡充・充実
			何	災害時に適切な避難をすることができる	R2	4,037	◎	◎	現状維持
047-2	開発指導室 / 宅地耐震化推進事業	大規模盛土造成地調査 ◆対応のための基礎資料を得る	調査により、津市内の大規模盛土造成地のより正確な把握ができる		H30	0	○	○	現状維持
			誰	対象地域の住人が	R1	0	○	○	現状維持
			何	市民の生命、財産を守るため	R2	4,510	○	○	拡充・充実
047-3	河川排水推進室 / 土砂災害防止事業	土砂災害防止法に伴う対策事業の要望 ◆年1回要望	砂防・急傾斜地の崩壊対策		H30	1,030	○	○	拡充・充実
			誰	地域住民が	R1	6,120	○	○	拡充・充実
			何	安心・安全な暮らしを送る	R2	800	○	○	拡充・充実
047-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
047-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
047-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
047-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

047-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
047-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
047-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
047-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
047-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
047-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
047-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード　030515048
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ　62
	関連個別計画		津市耐震改修促進計画（令和3年度～令和7年度）、第2次津市水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市下水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市雨水管理総合計画（令和元年度～令和10年度）、下水道総合地震対策計画（令和元年度～令和5年度）		
担当部局			農林水産部、建設部、上下水道事業局		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			048	道路や橋りょう、排水機場、水道・下水道施設などのインフラの整備や耐震化を推進します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
048-1	地域連携課 / 地域インフラ維持事業	道路、河川、公園等の地域インフラの維持修繕に関し総合支所長の権限のもと、フレキシブルに対応する事業 ◆適宜実施	地域から寄せられるインフラに関する要望に対して、総合支所長の権限で速やかに優先順位を決めて柔軟に対応するため		H30	171,860	○	○	拡充・充実
			誰	市民が	R1	176,751	○	○	拡充・充実
			何	安全に道路等のインフラを使用することができる	R2	174,773	○	○	拡充・充実
048-2	地域連携課 / 地域インフラ補修事業	身近な地域の課題や要望の早期解決を図るため、地域への原材料の支給や、総合支所職員による簡易な補修、修繕等の実施 ◆適宜実施	地域から寄せられるインフラに関する要望に対して、総合支所長の権限で速やかに優先順位を決めて柔軟に対応するため		H30	19,809	○	○	現状維持
			誰	市民が	R1	19,790	○	○	現状維持
			何	安全に道路等のインフラを使用することができる	R2	19,758	○	○	現状維持
048-3	林業振興室 / 林道中畑線開設工事	林道中畑線の開設工事 ◆延長174m	林道中畑線を開設し、森林整備等に活用する		H30	16,210	○	○	現状維持
			誰	森林所有者等	R1	25,711	○	○	現状維持
			何	林道を利用して森林管理することができる	R2	28,020	○	○	現状維持
048-4	建築指導課 / 避難路沿道建築物耐震診断補助事業	第一次緊急輸送道路沿道に建つ旧耐震建築物の耐震診断費用に対する補助 ◆補助2件	補助金を活用し、避難路沿道建築物の耐震診断を行う		H30	6,009	○	◎	現状維持
			誰	耐震診断義務化建築物を所有する市内外の人々が	R1	2,089	△	○	見直し
			何	市民の安全及び避難経路の確保をする	R2	0	×	×	見直し
048-5	建築指導課 / 避難路沿道建築物耐震補強計画作成補助事業	第一次緊急輸送道路沿道に建つ旧耐震建築物の耐震補強計画作成費用に対する補助 ◆補助1件	補助金を活用し、避難路沿道建築物の耐震補強計画を行う		H30	0	×	×	見直し
			誰	耐震診断義務化建築物を所有する市内外の人々が	R1	1,306	△	△	見直し
			何	市民の安全及び避難経路の確保をする	R2	0	×	×	見直し
048-6	津南工事事務所 / 避難路整備事業	久居駅周辺地区都市再生整備計画事業に伴う避難路整備工事 ◆計画に基づく工事の実施	幹線水路の暗渠化を行ない、歩行空間の確保ができることで、災害時の避難路として利用できる		H30	286,201	○	◎	拡充・充実
			誰	地域住民が	R1	100,768	○	◎	拡充・充実
			何	安全、安心して暮らせる環境の形成	R2	125,809	○	◎	拡充・充実
048-7	南北工事事務所 / 道路等維持修繕事業	舗装、側溝等道路施設の維持修繕 ◆適正な維持管理の実施	適正な道路施設の維持管理を行う		H30	91,205	○	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	59,375	○	◎	現状維持
			何	生活基盤である道路施設の維持管理を行う	R2	40,905	○	◎	現状維持

施策の内容評価シート（令和２年度分）

048-8	南北工事事務所 環境整備事業	公共下水道事業完了後の道路施設の整備等 ◆適切な整備の実施	公共下水道事業完了後の道路施設の整備等を行う		H30	39,721	○	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	56,273	○	◎	現状維持
			何	事業完了後の道路施設の維持管理を行う	R2	57,756	○	◎	現状維持
048-9	建設整備課 舗装維持管理強化事業	国の防災・安全交付金を活用した舗装維持管理計画に基づく路線の予防的かつ計画的な修繕の実施 ◆事業計画通りの進捗	舗装維持管理計画に基づき計画的に修繕を行い、今後の維持管理コスト縮減及び安全・安心な道路空間が確保される		H30	174,600	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	47,083	○	○	拡充・充実
			何	安全・安心な交通が確保できる	R2	35,702	○	○	拡充・充実
048-10	建設整備課 道路構造物修繕（更新）事業	道路ストックの総点検により、道路施設の異常や損傷を早期に発見し、計画的な修繕を実施 ◆事業計画通りの進捗	個別施設計画に基づき計画的に点検・修繕・更新を行い、今後の維持管理コストの縮減及び安全・安心な道路空間が確保される		H30	38,444	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	49,247	○	○	拡充・充実
			何	安全・安心な交通が確保できる	R2	48,869	○	○	拡充・充実
048-11	建設整備課 津興橋大規模更新事業	老朽化した津興橋の架替工事 ◆仮橋　L＝136m	橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に点検・修繕・更新を行い、今後の維持管理コストの縮減及び安全・安心な道路空間が確保される		H30	262,852	◎	◎	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	455,771	◎	◎	拡充・充実
			何	安全・安心な交通が確保できる	R2	649,526	◎	◎	拡充・充実
048-12	南北工事事務所 橋りょう維持事業	橋りょうの修繕工事 ◆必要に応じた修繕の実施	橋りょうの安全性を確保するため修繕を行う		H30	8,987	○	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	6,436	○	◎	現状維持
			何	橋りょうの安全性、信頼性を確保するため維持管理を行う	R2	8,131	○	◎	現状維持
048-13	建設整備課 橋りょう長寿命化修繕事業	国の防災・安全交付金を活用し、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検及び工事の実施 ◆事業計画通りの進捗	橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に点検・修繕・更新を行い、今後の維持管理コストの縮減及び安全・安心な道路空間が確保される		H30	42,350	◎	◎	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	115,671	◎	◎	拡充・充実
			何	安全・安心な交通が確保できる	R2	210,693	◎	◎	拡充・充実
048-14	建設整備課 道路新設改良事業	幹線道路及び生活道路の新設改良工事等 ◆事業計画通りの進捗	地域住民の安全性と利便性の向上を図るための安全な道路空間及び道路ネットワークを整備する		H30	826,396	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	517,409	○	○	拡充・充実
			何	安全・安心な交通が確保できる	R2	285,756	○	○	拡充・充実
048-15	建設整備課 上浜町大谷町第1号線外1路線道路改良事業	大谷踏切の拡幅及び近鉄架道橋拡幅工事 ◆L=150m	狭隘な踏切を移転拡幅し、前後の道路整備も行うことで安全安心な道路空間が確保され安全性が向上する		H30	56,492	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	227,244	○	○	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	296,157	○	○	拡充・充実
048-16	建設整備課 久居駅東口整備事業（久居駅周辺地区都市再生整備事業）	市道新町野口線の道路改良工事、久居駅東口広場整備工事等 ◆市道L=320m、広場A=0.7ha	交通処理機能の再編により交通混雑の解消が図られ、利便性、安全性が向上する		H30	366,002	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	747,959	○	◎	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	79,517	○	◎	廃止
048-17	建設整備課 上浜元町線（久居工区）道路改良事業	上浜元町線（久居工区）道路改良工事等 ◆延長L＝760m	地域住民の安全性と利便性の向上を図るための安全な道路空間及び道路ネットワークを整備する		H30	93,323	○	◎	廃止
			誰	道路利用者が	R1				
			何	安全・安心な交通が確保できる	R2				
048-18	下水道施設課 雨水対策事業（排水機場等改修）	緊急自然災害防止対策事業債を活用した、浸水対策のための排水機場等の改修工事 ◆7事業	安心、安全なまちづくりの推進を図る		H30	0			
			誰	市民の	R1	0			
			何	浸水対策となる	R2	230,497	○	◎	拡充・充実

施策の内容評価シート（令和２年度分）

048-19	下水道施設課	浄化施設整備工事、排水施設整備工事等 ◆計画に基づき実施	安心、安全なまちづくりの推進を図る		H30	22,562	○	◎	拡充・充実
	建設改良事業		誰	使用者が	R1	0			
			何	安心安全な生活が維持できる	R2	0			
048-20	水道施設課	災害対策事業として、浄化施設耐震補強工事、緊急遮断弁設置工事及び耐震二次診断業務委託等 ◆計画に基づき実施	災害に強い施設整備		H30	110,441	◎	◎	拡充・充実
	水道施設耐震化事業		誰	使用者が	R1	140,194	◎	◎	拡充・充実
			何	災害時に安定した水道水の供給が受けられる	R2	77,914	◎	◎	拡充・充実
048-21	下水道工務課	不明水対策等管更生工事・公共ます設置工事 ◆計画に基づき実施	下水道管等に流入する不明水によって起こる汚水の排水不良を防ぐ		H30	119,152	○	○	現状維持
	汚水管渠維持管理事業		誰	公共下水道使用者が	R1	163,011	○	○	現状維持
			何	安定した公共下水道の使用	R2	112,105	○	○	現状維持
048-22	下水道工務課	汚水幹線等築造工事等 ◆計画に基づき実施	汲み取り便所の水洗化及び家庭用雑排水等の公共下水道への接続		H30	1,464,558	○	○	現状維持
	汚水管渠建設事業		誰	公共下水道使用者及び市内外の人々が	R1	1,999,221	○	○	現状維持
			何	生活環境及び公衆衛生の改善と公共用水域の水質保全	R2	2,085,198	○	○	現状維持
048-23	下水道工務課	雨水幹線築造工事等 ◆計画に基づき実施	降雨時など、市街地における内水の速やかな排除		H30	185,218	○	○	現状維持
	雨水管渠建設事業		誰	市内外の人々が	R1	641,355	○	○	現状維持
			何	内水氾濫の被害から人命・資産等が守られる	R2	461,077	○	○	現状維持
048-24	水道工務課	老朽管更新、管網整備工事 ◆計画に基づき実施	持続する水道を目的とし、水道利用者に安全で良質な水道水を安定供給し続けるため		H30	1,026,018	△	○	現状維持
	建設改良事業		誰	水道使用者が	R1	1,039,309	△	○	現状維持
			何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	R2	1,522,605	△	○	現状維持
048-25					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	②	②	②							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード　030515049
		施策	15	災害に強いまちづくりの推進	本冊ページ　62
	関連個別計画		津市地域防災計画、津市立地適正化計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			危機管理部、都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			049	災害リスクに対応した防災上安全性の高い区域へ都市機能や居住の誘導を図る土地利用の促進や津波浸水が想定される区域における民間施設や公共施設を活用した津波避難ビル・津波避難協力ビルの確保など、災害に強いまちづくりを進めます。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的 事業の実施により直接的に表れる効果 誡のための事業か 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
049-1	財産管理課 / 本庁舎大規模改修事業	災害発生時における災害対応拠点としての機能強化（受変電設備の高所化等）を含めた本庁舎大規模改修 ◆R3年度完成に向けて来庁者・職員の業務に可能な限り影響を少なくする	本庁舎の災害拠点としての機能をより強化するため		H30	135,957	○	○	拡充・充実
			誰	市内の人々が	R1	3,345	○	○	拡充・充実
			何	より安心安全な暮らしを実現するため	R2	1,439,248	○	○	拡充・充実
049-2	防災室 / 耐震性貯水槽整備事業（本管布設事業）	久居駅周辺地区都市再生整備計画事業に伴う耐震性貯水槽設置工事及び防災備蓄倉庫等の整備 ◆R2年度整備完了	久居駅周辺地区における防災力の向上		H30	16,298	◎	◎	拡充・充実
			誰	久居駅利用者及び久居駅周辺地区の住民が	R1	90,982	◎	◎	現状維持
			何	災害時においても飲料水を確保することができる	R2	1,151	◎	◎	現状維持
049-3	危機管理課 / 津南防災コミュニティセンター整備事業	災害時に避難所及び防災拠点となる防災コミュニティセンターの建築工事及び外構工事 ◆令和元年度整備完了	広域避難の拠点施設を整備する		H30	262,520	○	○	現状維持
			誰	沿岸地域の住民の方が	R1	26,396	○	○	現状維持
			何	安全な地域へ避難するため	R2	0			
049-4	防災室 / 津波避難ビル・津波避難協力ビル指定事業	津波から避難する際に、逃げ遅れた人など、どうしても遠くまで避難できない人に少しでも安全な高い場所を確保するためのビル等の指定 ◆適宜ビル等の指定を追加※指定済98件（令和2年度末時点）	津波から緊急的に一時避難することが可能になる		H30	0	○	○	拡充・充実
			誰	地域住民や市内に滞在する方が	R1	0	○	○	拡充・充実
			何	津波避難ビル等を活用し、津波被害から人命を守る	R2	0	○	○	拡充・充実
049-5	地域調整室 / 公共施設耐震化事業	耐震診断業務委託・耐震補強実施設計業務委託・耐震補強工事 ◆長谷山市民館、久居北口文化会館	耐震補強等に係る業務委託及び工事を実施することにより、施設の安全性の向上につながる		H30	1,722,684	◎	◎	拡充・充実
			誰	地域住民等が	R1	30,065,200	◎	◎	拡充・充実
			何	安全に施設を利用し、活動を行うことができる	R2	3,190,000	◎	◎	現状維持
049-6	地域医療推進室 / 災害医療体制整備事業	大規模災害発生時の医療救護所開設に備えた医薬品等の備蓄 ◆適切な医薬品等の備蓄の確保	大規模災害時において、速やかに医療救護所を開設し、負傷者の治療を行う体制を整備することができる		H30	0			
			誰	大規模災害時に負傷した市民が	R1	497	◎	◎	現状維持
			何	速やかに治療を受けることができる	R2	788	◎	◎	現状維持
049-7	都市政策課 / 届出制度	災害リスクの高い区域以外への都市機能及び居住の誘導を図るための届出制度 ◆計画に基づき適切に誘導を図る	届出制度を活用し、災害リスクの高い区域以外への都市機能及び居住の誘導を図る		H30	0	○	○	現状維持
			誰	事業者、市民	R1	0	○	○	現状維持
			何	意識の醸成を図る	R2	0	○	○	現状維持

施策の内容評価シート（令和２年度分）

049-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
049-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
049-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
049-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
049-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
049-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
049-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030516
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ	62
	関連個別計画		第3次津市消防力整備計画			
担当部局			消防本部			
施策の内容（番号）			050	～	053	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
050	消防力の強化に向け、老朽化した消防庁舎の整備や消防車両、施設等の更新を含む適正配置を行うとともに、大規模災害に備えた全国からの消防応援の受入態勢を充実します。	C	②	消防総務課/消防救急課/通信指令課
051	救急救命士の計画的な養成を図るとともに、あらゆる災害に柔軟かつ的確に対応できる消防隊員の人材育成を行います。	A	①	消防救急課
052	消防団員の災害対応力の向上、人材の確保による消防団の活性化を図り、地域の消防力を強化します。	A	①	消防団統括室
053	市民の防火意識の高揚を促し、住宅防火対策をさらに促進するとともに、重大な消防法令違反の是正指導を強化します。	B	①	予防課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	消防（救急）車両及び施設等の更新によるハード面の強化に加え、救命救急士の養成のための研修や消防法令違反建築物を確認するための立入検査を実施することなどにより、消防力の強化に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030516050
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ	62
	関連個別計画		第３次津市消防力整備計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			消防本部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			050	消防力の強化に向け、老朽化した消防庁舎の整備や消防車両、施設等の更新を含む適正配置を行うとともに、大規模災害に備えた全国からの消防応援の受入態勢を充実します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
050-1	消防総務課 / 消防庁舎整備事業	久居消防署南分署の整備工事 ◆平成30年度整備完了	消防庁舎を整備することにより、消防力の強化を図る		H30	363,030	○	◎	現状維持
			誰	市民の	R1				
			何	安全と安心の確立	R2				
050-2	消防総務課 / 消防庁舎整備事業	北消防署の整備工事 ◆令和5年度整備完了予定	消防庁舎を整備することにより、消防力の強化を図る		H30				
			誰	市民の	R1	54,634	○	◎	拡充・充実
			何	安全と安心の確立	R2	事業中断	×	×	現状維持
050-3	消防救急課 / 消防車両購入事業	救急自動車の購入 ◆整備計画に基づき実施	救急車を要請した傷病者に必要な処置を実施し、医療機関へ搬送する		H30	26,749	○	◎	拡充・充実
			誰	傷病者を	R1	27,423	○	◎	拡充・充実
			何	迅速に医療機関へ搬送する	R2	54,164	○	◎	拡充・充実
050-4	消防救急課 / 耐震性防火水槽設置事業	耐震性防火水槽設置工事 ◆年間3基の設置計画	消防水利を整備することにより、震災時の消火体制を強化する		H30	58,134	○	◎	拡充・充実
			誰	消防が	R1	42,151	○	◎	拡充・充実
			何	火災の際に迅速な消火活動を行う	R2	事業見直し	×	×	見直し
050-5	通信指令課 / 高機能消防指令センター部分更新事業	機能維持のための高機能消防指令センターの部分更新 ◆令和2年度整備完了、5年に一度更新	１１９番通報を受報する		H30				
			誰	市民の	R1	2,409	○	◎	拡充・充実
			何	119番通報を的確に受報し、迅速に緊急車両を出動させる消防指令センターを維持する	R2	284,570	○	◎	拡充・充実
050-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
050-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

050-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
050-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
050-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
050-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
050-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
050-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
050-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							
今後の方向性	①	①	②							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030516051
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ	62
	関連個別計画					
担当部局			消防本部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			051	救急救命士の計画的な養成を図るとともに、あらゆる災害に柔軟かつ的確に対応できる消防隊員の人材育成を行います。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
051-1	消防救急課	救急救命士養成のための研修 ◆各年2人の派遣を計画	救命率の向上		H30	5,038	○	◎	拡充・充実
	救急救命士養成研修事業		誰	市民のため	R1	7,329	○	◎	拡充・充実
			何	専門的知識を持つ救急救命士を養成する	R2	4,699	○	◎	拡充・充実
051-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
051-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
051-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
051-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
051-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
051-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

051-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
051-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
051-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
051-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
051-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
051-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
051-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030516052
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ	62
	関連個別計画					
担当部局			消防本部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			052	消防団員の災害対応力の向上、人材の確保による消防団の活性化を図り、地域の消防力を強化します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
052-1	消防団統括室 / 消防団車両購入事業	消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車の購入 ◆H30及びR1年度中に購入	消防団車両を更新配備して、消火体制の強化を図る		H30	30,554	○	◎	拡充・充実
			誰	消防団が	R1	20,350	○	◎	拡充・充実
			何	火災の際に迅速な消火活動を行う	R2				
052-2	消防団統括室 / 消防団施設整備事業	安濃方面団草生分団詰所・車庫整備 ◆R1年度中に整備完了	消防団施設を統廃合し、消防力の強化を図る		H30	561	○	◎	拡充・充実
			誰	市民の	R1	10,217	○	◎	拡充・充実
			何	安全と安心の確立	R2				
052-3	消防団統括室 / 消防団施設整備事業	一志方面団第2分団詰所・車庫整備 ◆R1年度中に整備完了	消防団施設を統廃合し、消防力の強化を図る		H30	741	○	◎	拡充・充実
			誰	市民の	R1	15,920	○	◎	拡充・充実
			何	安全と安心の確立	R2				
052-4	消防団統括室 / 消防団施設整備事業	白山方面団第４分団詰所・車庫整備 ◆R1年度中に整備完了	消防団施設を統廃合し、消防力の強化を図る		H30	1,699	○	◎	拡充・充実
			誰	市民の	R1	52,277	○	◎	拡充・充実
			何	安全と安心の確立	R2				
052-5	消防団統括室 / 消防団施設整備事業	美杉方面団第５分団第４格納庫解体 ◆R2年度中に解体完了	消防団施設を統廃合し、消防力の強化を図る		H30				
			誰	市民の	R1	475	○	◎	拡充・充実
			何	安全と安心の確立	R2	880	○	◎	拡充・充実
052-6	消防団統括室 / 消防団施設整備事業	美杉方面団第４分団第３格納庫解体 ◆R2年度中に解体	消防団施設を統廃合し、消防力の強化を図る		H30				
			誰	市民の	R1	656	○	◎	拡充・充実
			何	安全と安心の確立	R2	1,132	○	◎	拡充・充実
052-7	消防団統括室 / 消防団施設整備事業	香良洲水防ステーションの維持管理 ◆R1年度中にアスベスト調査を実施	水防活動の拠点となる施設の維持管理		H30				
			誰	市民の	R1	99	○	◎	拡充・充実
			何	安全と安心の確立	R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

052-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
052-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
052-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
052-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
052-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
052-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
052-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	05	いざという時の備えの強化	管理コード	030516053
		施策	16	消防力の強化	本冊ページ	62
	関連個別計画					
担当部局			消防本部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			053	市民の防火意識の高揚を促し、住宅防火対策をさらに促進するとともに、重大な消防法令違反の是正指導を強化します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
053-1	予防課 / 消防法令違反是正強化事業	市内の重大な消防法令違反建築物に対する是正指導の強化 ◆立入検査1,500件	市内の防火対象物を利用する者が、安心して使用できる		H30	458	○	◎	現状維持
			誰	市内防火対象物の利用者が	R1	31	○	○	現状維持
			何	安心して使用できる	R2	25	○	○	現状維持
053-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
053-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
053-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
053-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
053-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
053-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

053-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
053-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
053-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
053-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
053-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
053-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
053-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030617
		施策	17	防犯対策と消費者保護の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（番号）			054	～	056	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
054	警察等関係機関や各種防犯活動団体との連携のもと、防犯施設の整備、防犯活動の支援、防犯啓発活動を実施し、地域の防犯力を高めます。	A	①	市民交流課
055	市民や暴力追放に取り組む各種団体や機関と連携し、あらゆる暴力行為の追放を推進します。	C	①	地域連携課
056	多様化・巧妙化する悪質商法等の被害に遭わないようにするための対策や悪質商法等の手口、消費者を守る制度等の積極的な情報提供をはじめ、あらゆる世代に対する消費者教育を推進するとともに、消費生活センターの相談体制を充実させます。	B	①	市民交流課/地域連携課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	集落間に防犯灯を整備するほか、自治会等が設置する防犯灯や防犯カメラに対して補助を実施することにより防犯施設の整備を進めるとともに、消費生活センターでの相談業務や啓発事業等を実施することにより防犯対策と消費者保護の強化に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030617054
		施策	17	防犯対策と消費者保護の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			054	警察等関係機関や各種防犯活動団体との連携のもと、防犯施設の整備、防犯活動の支援、防犯啓発活動を実施し、地域の防犯力を高めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
054-1	市民交流課 / 集落間防犯灯設置事業	集落間の通学路等に、環境に配慮したLED防犯灯の整備 ◆１８基設置	通学路等の防犯対策となる		H30	1,385	◎	◎	現状維持
			誰	市民が	R1	2,749	◎	◎	現状維持
			何	夜道を安心して通れる	R2	3,897	◎	◎	現状維持
054-2	市民交流課 / 防犯灯設置補助事業	自治会等が設置する防犯灯に対する補助 ◆２６１件補助	自治会等が設置及び管理の負担軽減が図られ、地域における防犯環境を整備する		H30	36,012	◎	◎	現状維持
			誰	自治会等が	R1	24,572	◎	◎	現状維持
			何	明るいまちづくりをする	R2	18,246	◎	◎	現状維持
054-3	市民交流課 / 防犯カメラ設置（パイロット）事業	自治会等が設置する防犯カメラに対する補助 ◆パイロット事業の適切な実施	防犯カメラ設置の支援事業等を整備する		H30	679	◎	◎	廃止
			誰	市民の	R1	－			
			何	防犯カメラ設置補助金制度の理解を深めることができる	R2	－			
054-4	市民交流課 / 防犯カメラ設置補助事業	自治会等が設置する防犯カメラに対する補助 ◆１８件補助	防犯カメラによる犯罪抑止効果を高め、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する		H30	－			
			誰	自治会等が	R1	－			
			何	安全・安心なまちづくりをする	R2	2,787	◎	◎	現状維持
054-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
054-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
054-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

054-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
054-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
054-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
054-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
054-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
054-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
054-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030617055
		施策	17	防犯対策と消費者保護の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			055	市民や暴力追放に取り組む各種団体や機関と連携し、あらゆる暴力行為の追放を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
055-1	地域連携課	司法書士相談、弁護士等による一日合同相談 ◆年6回実施（司法書士相談） ◆年2回実施（一日合同相談）	市民から相続や登記等に関する相談窓口の問合せが多く寄せられており、専門的な知識が必要なこれらの相談に対応するため		H30	506	○	○	現状維持
	市民相談事業		誰	相談したい市民が	R1	509	○	○	現状維持
			何	専門的な知識が必要な相談をすることができる	R2	198	○	○	現状維持
055-2	地域連携課	市民の声・相談システムの運用 ◆適宜実施	市民からの意見や要望等を一元的に管理・確認し、回答遅れや対応の遅れなどがないかを確認するため		H30	4,330	○	○	現状維持
	市民相談事業②		誰	津市が	R1	12,774	○	○	現状維持
			何	市民からの意見や要望等の進行状況を把握するとともに、蓄積されたデータを活用することができる	R2	3,359	○	○	現状維持
055-3	地域連携課	市政アンケート調査（隔年実施） ◆隔年実施	本市の市政に対する住民の意識、志向等を調査し、市政運営の参考とするため		H30	810	○	◎	現状維持
	市民相談事業③		誰	津市が	R1	0			
			何	市民のニーズや意識、志向等の経年変化を把握し、市政運営に活かすことができる	R2	0	×	×	現状維持
055-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
055-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
055-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
055-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

055-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
055-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
055-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
055-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
055-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
055-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
055-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	055-3
担当課名	地域連携課
事業名	市民相談事業③
事業の内容	市政アンケート調査（隔年実施）
当初の事業実施計画	隔年実施
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの生活様式とは異なる非日常の状況となり、これまでの市政アンケート調査が実施されてきた状況と著しく状況が異なることから、これまでの市政アンケート調査で得られるデータと比較し得るデータの抽出が出来ない可能性が高くなるため、令和２年度における第７回津市市政アンケート調査を中止し、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030617056
		施策	17	防犯対策と消費者保護の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			056	多様化・巧妙化する悪質商法等の被害に遭わないようにするための対策や悪質商法等の手口、消費者を守る制度等の積極的な情報提供をはじめ、あらゆる世代に対する消費者教育を推進するとともに、消費生活センターの相談体制を充実させます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
056-1	市民交流課	消費生活センターでの相談業務及び啓発事業 ◆適切な支援の実施	消費生活に関するトラブルの解決		H30	8,699	◎	◎	現状維持
	消費生活相談事業		誰	市内在住・在学・在勤の人が	R1	8,095	◎	◎	現状維持
			何	消費生活問題を解決するアドバイスをする	R2	8,268	◎	◎	現状維持
056-2	地域連携課	司法書士相談、弁護士等による一日合同相談 ◆年6回実施（司法書士相談） ◆年2回実施（一日合同相談）	市民から相続や登記等に関する相談窓口の問合せが多く寄せられており、専門的な知識が必要なこれらの相談に対応するため		H30	506	○	○	現状維持
	市民相談事業		誰	相談したい市民が	R1	509	○	○	現状維持
			何	専門的な知識が必要な相談をすることができる	R2	198	○	○	現状維持
056-3	地域連携課	市民の声・相談システムの運用 ◆適宜実施	市民からの意見や要望等を一元的に管理・確認し、回答遅れや対応の遅れなどがないかを確認するため		H30	4,330	○	○	現状維持
	市民相談事業②		誰	津市が	R1	12,774	○	○	現状維持
			何	市民からの意見や要望等の進行状況を把握するとともに、蓄積されたデータを活用することができる	R2	3,359	○	○	現状維持
056-4	地域連携課	市政アンケート調査（隔年実施） ◆隔年実施	本市の市政に対する住民の意識、志向等を調査し、市政運営の参考とするため		H30	810	○	◎	現状維持
	市民相談事業③		誰	津市が	R1	0			
			何	市民のニーズや意識、志向等の経年変化を把握し、市政運営に活かすことができる	R2	0	×	×	現状維持
056-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
056-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
056-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

056-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
056-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
056-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
056-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
056-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
056-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
056-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード　030618
		施策	18	交通安全対策の強化	本冊ページ　64
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局			市民部、教育委員会、建設部		
施策の内容（番号）			057 ～ 058		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
057	警察等関係機関や地元自治会等と連携しながら、交通安全施設の更新や通学路等の整備を推進するとともに、子どもや高齢者などを軸とした交通事故防止対策に取り組みます。	A	①	市民交流課/学校教育課
058	交通事故防止に向け、交通安全指導に努めるなど市民の交通安全意識の向上に取り組みます。	A	①	市民交流課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	放置自転車の撤去等や交通規制表示等の設置及び維持修繕、関係機関と連携した通学路の点検等を実施することにより良好な交通環境を整備するとともに、自家用車に安全運転支援装置を設置する高齢者に対する補助を実施するなどし、交通安全対策の強化に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり	
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード　030618057
		施策	18	交通安全対策の強化	本冊ページ　64
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局			市民部、建設部、教育委員会		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			057	警察等関係機関や地元自治会等と連携しながら、交通安全施設の更新や通学路等の整備を推進するとともに、子どもや高齢者などを軸とした交通事故防止対策に取り組みます。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
057-1	市民交流課 / 放置自転車防止対策事業	放置自転車の整理・撤去・返還等業務委託 ◆良好な交通環境の整備	駅周辺における交通の安全確保を図り、良好な環境づくりに資する		H30	30,622	○	◎	拡充・充実
			誰	市内外の人々が	R1	30,630	○	◎	拡充・充実
			何	安全で円滑な交通環境の中で生活をする	R2	31,286	○	◎	拡充・充実
057-2	市民交流課 / 交通安全施設等整備事業	交通規制標示等の設置に関する調整 ◆良好な交通環境の整備	交通安全施設の維持管理を行うことで、安全安心な交通環境を整える		H30	－	○	◎	拡充・充実
			誰	市内外の人々が	R1	－	○	◎	拡充・充実
			何	交通事故のない安全安心な街で生活をする	R2	－	○	◎	拡充・充実
057-3	市民交流課 / 交通安全施設等維持事業	交通規制標示等の維持修繕に関する調整 ◆良好な交通環境の整備	交通安全施設の維持管理を行うことで、安全安心な交通環境を整える		H30	－	○	◎	拡充・充実
			誰	市内外の人々が	R1	－	○	◎	拡充・充実
			何	交通事故のない安全安心な街で生活をする	R2	－	○	◎	拡充・充実
057-4	市民交流課 / 交通安全対策連携事業	交通安全対策会議に対する負担 ◆負担金１件	関係団体が、負担金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う		H30	7,050	○	◎	拡充・充実
			誰	関係団体が	R1	7,050	○	◎	拡充・充実
			何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	R2	7,050	○	◎	拡充・充実
057-5	市民交流課 / 交通安全父母の会等補助事業	交通安全父母の会等に対する補助 ◆補助20件以上	関係団体が、補助金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う		H30	613	○	◎	拡充・充実
			誰	関係団体が	R1	600	○	◎	拡充・充実
			何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	R2	537	○	◎	拡充・充実
057-6	市民交流課 / 高齢運転者安全運転支援装置促進事業	安全運転支援装置の高齢設置者に対する補助 ◆補助130件以上	高齢運転者が、補助金を活用し、安全運転支援装置の設置を行う		H30	－			
			誰	高齢運転者	R1	－			
			何	安全運転支援装置の設置がしやすくなる	R2	2,564	○	○	拡充・充実
057-7	学校教育課 / 通学路安全対策連携事業	通学路の危険箇所改善に向けての関係機関（警察・道路管理者・学校・PTA等）との連携 ◆合同点検実施・合同会議参加	児童生徒の通学時の交通事故を防止する		H30	－	○	○	現状維持
			誰	市内の児童生徒	R1	－	○	○	現状維持
			何	安全安心に通学する	R2	－	○	○	現状維持

施策の内容評価シート（令和２年度分）

057-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
057-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
057-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
057-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
057-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
057-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
057-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	03	いのちと暮らしを守るまちづくり		
		基本政策	06	防犯・交通安全対策の強化	管理コード	030618058
		施策	18	交通安全対策の強化	本冊ページ	64
	関連個別計画					
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			058	交通事故防止に向け、交通安全指導に努めるなど市民の交通安全意識の向上に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
058-1	市民交流課 / 交通安全対策連携事業	交通安全対策会議に対する負担 ◆負担金１件	関係団体が、負担金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う		H30	7,050	○	◎	拡充・充実
			誰	関係団体が	R1	7,050	○	◎	拡充・充実
			何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	R2	7,050	○	◎	拡充・充実
058-2	市民交流課 / 交通安全父母の会等補助事業	交通安全父母の会等に対する補助 ◆補助20件以上	関係団体が、補助金を活用し、交通安全対策に関する活動を行う		H30	613	○	◎	拡充・充実
			誰	関係団体が	R1	600	○	◎	拡充・充実
			何	交通安全対策に関する活動をしやすくなる	R2	537	○	◎	拡充・充実
058-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
058-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
058-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
058-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
058-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

058-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
058-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
058-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
058-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
058-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
058-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
058-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040719
		施策	19	環境を守り継承する社会の形成	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画、津市下水道事業基本計画		
担当部局			環境部、上下水道事業局、上下水道管理局		
施策の内容（番号）			059 ～ 061		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
059	恵まれた森林や湖沼、河川、海岸などの自然環境の保全や野生生物の生息、生育環境の確保を図るほか、市民、ボランティア、NPO、事業者、関係行政機関などとのネットワークを強化し、地域特性に応じた環境保全活動を推進するとともに、さまざまな機会を通じた環境教育・環境学習を充実し、環境問題に対する市民意識の高揚に取り組みます。	B	①	環境政策課/環境保全課
060	公共用水域の水質改善に向け、公共下水道の効率的な整備と単独処理浄化槽や汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。	A	①	環境施設課/下水道工務課下水道施設課/営業課
061	環境汚染から市民の健康と生活環境を守るため、継続的に環境調査を実施するとともに、監視・指導を徹底します。	B	①	環境保全課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	工場排出水の水質調査、下水道計画区域及び集合処理区域を除いた区域における市営浄化槽事業、その他の区域における浄化槽設置者に対する補助、し尿処理施設の適正な管理運営によるし尿及び浄化槽汚泥の衛生的な処理等を実施することにより環境を守り継承する社会の形成に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部のイベントや啓発活動を実施することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040719059
		施策	19	環境を守り継承する社会の形成	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			059	恵まれた森林や湖沼、河川、海岸などの自然環境の保全や野生生物の生息、生育環境の確保を図るほか、市民、ボランティア、NPO、事業者、関係行政機関などとのネットワークを強化し、地域特性に応じた環境保全活動を推進するとともに、さまざまな機会を通じた環境教育・環境学習を充実し、環境問題に対する市民意識の高揚に取り組みます。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	事業の評価：実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
059-1	環境政策課 / 山・川・海ネットワーク事業	交流会や学習会を開催し、山・川・海各地域の市民、事業者、環境団体等が相互理解を深め、情報を共有し、環境の保全などに取り組むためのネットワークづくり ◆環境保全活動団体との連携	環境活動団体等のネットワークを強化する		H30	150	○	○	拡充・充実
			誰	環境活動団体等が	R1	150	○	○	拡充・充実
			何	連携して自然環境の保全に取り組む	R2	100	△	○	拡充・充実
059-2	環境政策課 / 地球温暖化対策普及事業	家庭、市民等への地球温暖化防止意識を広げる取組及び市民への環境講座の開催や、緑のカーテンの普及啓発 ◆イベント、講座等17回開催	市民が、地球温暖化問題に関心を持つことで、温室効果ガス排出削減に向けた取組を自発的に行うようになる		H30	3,544	◎	◎	現状維持
			誰	市民が	R1	3,526	◎	◎	現状維持
			何	地球温暖化問題に関心を持つ	R2	1,544	△	△	現状維持
059-3	環境政策課 / 環境学習センター運営事業	3R、ごみ、自然環境、地球温暖化防止及び環境衛生など、環境に係る総合的な啓発活動と環境活動に取り組むネットワークづくり及び様々な分野の環境学習の実施 ◆参加者数前年度比増	環境学習センターが環境学習・環境活動の拠点となる		H30	4,785	○	○	拡充・充実
			誰	市内外の人が	R1	4,802	○	○	拡充・充実
			何	環境について学び、考える機会となる	R2	7,494	△	○	拡充・充実
059-4	環境保全課 / 生物多様性の保全事業	市民や関係団体と連携し、市民活動団体等の活動を後援 ◆市民活動団体との連携	環境問題に対する市民意識が高揚し、自然環境保全等への理解が深まる		H30	－	○	○	現状維持
			誰	市民活動団体	R1	－	○	○	現状維持
			何	地域の環境教育・学習活動の促進	R2	－	○	○	現状維持
059-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
059-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
059-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

059-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
059-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
059-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
059-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
059-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
059-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
059-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	059-1
担当課名	環境政策課
事業名	山・川・海ネットワーク事業
事業の内容	交流会や学習会を開催し、山・川・海各地域の市民、事業者、環境団体等が相互理解を深め、情報を共有し、環境の保全などに取り組むためのネットワークづくり
当初の事業実施計画	環境保全活動団体との連携
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、例年行っている「香良洲海岸清掃＆宝物探し」の内容を変更し、イベントの規模を縮小した。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	059-2
担当課名	環境政策課
事業名	地球温暖化対策普及事業
事業の内容	家庭、市民等への地球温暖化防止意識を広げる取組及び市民への環境講座の開催や、緑のカーテンの普及啓発
当初の事業実施計画	イベント、講座等17回開催
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、「つ・環境フェスタ」の開催方式の変更、「グリーンのカーテン普及促進講座」及び「新エネルギー学習会」の開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	059-3
担当課名	環境政策課
事業名	環境学習センター運営事業
事業の内容	3R、ごみ、自然環境、地球温暖化防止及び環境衛生など、環境に係る総合的な啓発活動と環境活動に取り組むネットワークづくり及び様々な分野の環境学習の実施
当初の事業実施計画	参加者数前年度比増
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、当初予定されていた環境学習センターの講習会で、中止となったものがある。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード	040719060
		施策	19	環境を守り継承する社会の形成	本冊ページ	67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市下水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			上下水道事業局、上下水道管理局			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			060	公共用水域の水質改善に向け、公共下水道の効率的な整備と単独処理浄化槽や汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
060-1	環境施設課 / し尿処理施設管理運営事業	安芸・津衛生センター及びクリーンセンターくもずの管理・運営 ◆施設の適正かつ効率的な運営管理	し尿及び浄化槽汚泥を衛生的かつ適正に処理できる		H30	587,294	○	◎	現状維持
			誰	市民が	R1	526,037	○	◎	現状維持
			何	安全・安心な日常生活を送れる	R2	514,153	○	◎	現状維持
060-2	営業課 / 浄化槽設置整備費補助事業	浄化槽設置者に対する補助 ◆補助　136件	公共用水域の水質改善に繋がる		H30	25,425	△	○	現状維持
			誰	市内の人々が	R1	22,627	△	○	現状維持
			何	補助金を活用し、合併処理浄化槽を設置することができる	R2	17,282	△	○	現状維持
060-3	下水道工務課 / 市営浄化槽事業	下水道計画区域及び農業集落排水処理施設などの集合処理区域を除いた区域における浄化槽の設置 ◆計画に基づき実施	汲み取り便所の水洗化及び家庭用雑排水等の放流水の浄化		H30	89,482	○	◎	現状維持
			誰	市営浄化槽使用者、市内外の人々が	R1	66,207	○	◎	現状維持
			何	生活環境及び公衆衛生の改善と公共用水域の水質保全	R2	88,246	○	◎	現状維持
060-4	下水道施設課 / 市営浄化槽事業	下水道計画区域および農業集落排水処理施設などの集合処理区域を除いた区域における浄化槽の維持管理 ◆計画に基づき実施	安心、安全なまちづくりの推進を図る		H30	262,026	○	◎	拡充・充実
			誰	使用者が	R1	287,802	○	◎	拡充・充実
			何	生活排水処理施設の維持	R2	311,895	○	◎	拡充・充実
060-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
060-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
060-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

060-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
060-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
060-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
060-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
060-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
060-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
060-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード	040719061
		施策	19	環境を守り継承する社会の形成	本冊ページ	67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			環境部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			061	環境汚染から市民の健康と生活環境を守るため、継続的に環境調査を実施するとともに、監視・指導を徹底します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
061-1	環境保全課	大気、水質等についての環境調査や工場、事業場等の排出水等の調査 ◆調査地点　114地点	大気・水質環境等が保全されることにより、市民が安全・安心で、快適な生活を営める社会が実現する		H30	9,016	○	○	現状維持
	環境調査事業		誰	市民	R1	8,985	○	○	現状維持
			何	環境汚染の防止、生活環境の保全	R2	8,639	○	○	現状維持
061-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
061-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
061-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
061-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
061-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
061-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

061-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
061-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
061-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
061-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
061-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
061-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
061-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード	040720
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ	67
	関連個別計画		津市環境基本計画			
担当部局			環境部			
施策の内容（番号）			062	～	066	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
062	市民、事業者、行政が一体となり、ごみの発生抑制や再生資源の利用拡大、循環的利用を推進します。	B	②	環境政策課
063	廃棄物の適正処理を推進するため、市民・事業者等への意識啓発や継続した監視・指導に努めるとともに、誰もが利用しやすいエコ・ステーションの管理・運営やごみの分別、ごみ出しに係る負担を軽減するための支援、社会状況に対応したごみ収集体制の充実に向けて取り組みます。	A	①	環境政策課/環境事業課
064	不法投棄対策として、啓発看板の設置や環境パトロールを実施するとともに、警察との連携強化、市民との協働により不法投棄をさせない環境づくりに取り組みます。	B	①	環境政策課
065	各処理施設の安全で効率的な運転管理を徹底するとともに、老朽化、処理量の変化に対応した施設の規模や処理方式、更新等について長期的な視点に立った検討を進め、効率的・効果的な運転管理と安定した廃棄物処理を推進します。	A	①	環境施設課
066	地球温暖化防止・低炭素社会の実現に向け、効率的なエネルギー利用や省エネルギー対策を推進するとともに、地域特性に応じ、バイオマスを活用した産業創出をはじめ、再生可能エネルギーのさらなる導入を推進します。	A	①	環境政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	エコ・ステーションの管理運営によりリサイクル率の向上を図るほか、ごみの減量やごみ出しのルールに関する出前講座や小学校等におけるくるりんペーパー事業を実施することにより、正しいごみ出しやリサイクルの啓発を推進しています。また、各廃棄物処理施設を適切に運転管理することで廃棄物の安定した処理を進めるなどし、循環型社会形成の推進に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040720062
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			062	市民、事業者、行政が一体となり、ごみの発生抑制や再生資源の利用拡大、循環的利用を推進します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
062-1	環境政策課 / 市民清掃デー実施事業	市民、事業者、市との協働による市内一斉清掃の実施 ◆参加者数前年度比増	道路、公園等公共の場所において散乱している紙くず、草等、空き缶、空きびん、その他不燃物を市民がこぞって参加して、きれいにすることにより、まちを清潔で美しくし、環境美化への市民意識の向上を図る		H30	1,794	○	○	現状維持
			誰	市民	R1	1,844	○	○	現状維持
			何	街を清潔で美しいものにする	R2	1,658	○	○	現状維持
062-2	環境政策課 / ごみ減量等地域出前講座事業	ごみの減量やごみ出しのルールに関する出前講座の実施 ◆実施団体数前年度比増	津市の家庭ごみの状況や正しいごみの出し方などを職員が出向いて講義することにより知ってもらうことにより、ごみの減量や正しいごみ出しにつなげる		H30	－	○	○	現状維持
			誰	市民	R1	－	○	○	現状維持
			何	ゴミの状況や正しいごみ出しの推進	R2	－	○	○	現状維持
062-3	環境政策課 / リサイクル資源回収活動報償金交付事業	廃棄物の減量及び再資源化を推進するとともに、資源回収を通じて廃棄物処理に対する意識の高揚を図るための報奨金の交付 ◆回収量2,940t	積極的に資源物の集団回収を実施する		H30	15,990	△	○	現状維持
			誰	地域住民中心の任意団体	R1	14,804	△	○	現状維持
			何	資源物を出す機会が増え、リサイクルが促進される	R2	10,242	×	○	現状維持
062-4	環境政策課 / 生ごみ処理機等購入費補助事業	家庭の生ごみをたい肥化又は減量化するための生ごみ処理機又はコンポスト容器の購入者に対する補助 ◆2027年までに全世帯の2%へ普及	生ごみの堆肥化又は減量化を図ることにより、ごみの排出を抑制し、廃棄物の減量及び生活環境の清潔に資する		H30	2,503	△	○	拡充・充実
			誰	津市に住所を有するもの	R1	1,759	△	○	拡充・充実
			何	ごみの排出抑制	R2	2,395	△	○	拡充・充実
062-5	環境政策課 / くるりんペーパー事業	市内全小学校、本庁舎及び総合支所における容器包装紙リサイクルの実践による環境学習、啓発の推進 ◆回収量20,000kg、トイレットペーパー納入量50,000個	地球環境保全のため、限られた資源を大切にする資源循環型社会の構築をめざし、次代を担う子どもたちの環境意識の高揚と環境への配慮を促す		H30	15,426	○	○	現状維持
			誰	津市内の小学校に通う児童	R1	15,782	○	○	現状維持
			何	環境意識の高揚と環境への配慮を促す	R2	16,528	○	○	現状維持
062-6	環境政策課 / くるりんフード事業	学校給食残渣をたい肥化し、たい肥を学校菜園や花壇などで活用するという循環型社会システムの実体験学習の実施 ◆参加校8校	学校給食残渣を回収、たい肥化し、たい肥利用までの過程を学ぶ環境学習会を開催する		H30	786	◎	○	拡充・充実
			誰	市内の小学校に通う小学4年生が	R1	1,749	◎	○	拡充・充実
			何	資源を大切にする社会性の育生と資源循環型社会へ寄与する	R2	889	△	○	拡充・充実
062-7	環境政策課 / 環境学習センター運営事業	3R、ごみ、自然環境、地球温暖化防止及び環境衛生など、環境に係る総合的な啓発活動と環境活動に取り組むネットワークづくり及び様々な分野の環境学習の実施 ◆参加者数前年度比増	環境学習センターが環境学習・環境活動の拠点となる		H30	4,785	○	○	拡充・充実
			誰	市内外の人が	R1	4,802	○	○	拡充・充実
			何	環境について学び、考える機会となる	R2	7,494	△	○	拡充・充実

施策の内容評価シート（令和２年度分）

062-8	環境政策課	リサイクル率の向上、市民の資源物排出の利便性の向上のため、エコ・ステーションの管理・運営 ◆資源ごみ回収量前年度比増	市民が、資源物を排出する機会が増え、リサイクル率が向上する		H30	96,034	○	○	現状維持
	エコ・ステーション事業		誰	市民が	R1	91,186	○	◎	現状維持
			何	安全に安心して資源物を分別排出できる環境をつくる	R2	91,195	○	◎	現状維持
062-9	環境政策課	市民との協働による環境パトロールや、ごみ一時集積所用鍵の設置など、地域の実情に応じた総合的な対策の実施 ◆通報・目撃件数前年度比減	市民が、持ち去り行為が収まり、安全に安心して資源物を分別排出できる		H30	9,480	△	△	現状維持
	資源物持ち去り行為防止総合対策事業		誰	市民が	R1	9,568	△	△	現状維持
			何	安全に安心して資源物を分別排出できる環境をつくる	R2	8,401	△	△	見直し
062-10					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
062-11					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
062-12					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
062-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
062-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	②							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	062-3
担当課名	環境政策課
事業名	リサイクル資源回収活動報償金交付事業
事業の内容	廃棄物の減量及び再資源化を推進するとともに、資源回収を通じて廃棄物処理に対する意識の高揚を図るための報奨金の交付
当初の事業実施計画	回収量2,940 t
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	リサイクル資源回収量が減少していることから、新型コロナウイルス感染症が流行したことにより、回収活動団体がリサイクル資源回収活動を自粛していたと考えられる。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	062-6
担当課名	環境政策課
事業名	くるりんフード事業
事業の内容	学校給食残渣をたい肥化し、たい肥を学校菜園や花壇などで活用するという循環型社会システムの実体験学習の実施
当初の事業実施計画	参加校8校
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症のまん延状況等から、実施予定であった小学校８校のうち、４校が実施を辞退した。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	062-7
担当課名	環境政策課
事業名	環境学習センター運営事業
事業の内容	3R、ごみ、自然環境、地球温暖化防止及び環境衛生など、環境に係る総合的な啓発活動と環境活動に取り組むネットワークづくり及び様々な分野の環境学習の実施
当初の事業実施計画	参加者数前年度比増
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、当初予定されていた環境学習センターの講習会で、中止となったものがある。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード	040720063
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ	67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			環境部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			063	廃棄物の適正処理を推進するため、市民・事業者等への意識啓発や継続した監視・指導に努めるとともに、誰もが利用しやすいエコ・ステーションの管理・運営やごみの分別、ごみ出しに係る負担を軽減するための支援、社会状況に対応したごみ収集体制の充実に向けて取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
063-1	環境政策課 / エコ・ステーション事業	リサイクル率の向上、市民の資源物排出の利便性の向上のため、エコ・ステーションの管理・運営 ◆資源ごみ回収量前年度比増	市民が、資源物を排出する機会が増え、リサイクル率が向上する		H30	96,034	○	○	現状維持
			誰	市民が	R1	91,186	○	◎	現状維持
			何	資源物を排出しやすくなり、リサイクル率が向上する	R2	91,195	○	◎	現状維持
063-2	環境事業課 / 家庭ごみ・リサイクル資源収集運搬事業	家庭系一般廃棄物及びリサイクル資源収集運搬業務の民間業者委託 ◆適正かつ効率的な収集業務	業務委託により安全かつ経済的、効率的に収集運搬を行う		H30	1,721,032	○	◎	拡充・充実
			誰	地域住民が	R1	1,757,216	○	◎	拡充・充実
			何	公衆衛生の向上及び生活環境の保全に繋がる	R2	1,810,413	○	◎	拡充・充実
063-3	環境事業課 / ごみ一時集積所設置等補助	ごみの効率的な収集を行うとともに、市民の美化意識の高揚等を図ることを目的としたごみ一時集積所の設置工事等に対する補助 ◆補助115件	自治会が管理するごみ一時集積所の設置工事または改修等工事を推進する		H30	5,227	○	◎	拡充・充実
			誰	地域住民が	R1	4,838	○	◎	拡充・充実
			何	公衆衛生の向上及び生活環境の保全に繋がる	R2	5,600	○	◎	拡充・充実
063-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
063-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
063-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
063-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

063-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
063-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
063-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
063-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
063-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
063-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
063-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード	040720064
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ	67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			環境部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			064	不法投棄対策として、啓発看板の設置や環境パトロールを実施するとともに、警察との連携強化、市民との協働により不法投棄をさせない環境づくりに取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
064-1	環境政策課	啓発看板の設置、環境パトロールの実施、警察との連携強化、市民との協働による不法投棄対策の実施 ◆不法投棄対応件数の前年比減	環境汚染の防止と自然や景観の保全		H30	4,620	○	○	現状維持
	不法投棄対策事業		誰	市民	R1	5,419	○	○	現状維持
			何	環境の美化と安心して暮らせるまちづくり	R2	5,714	○	○	現状維持
064-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
064-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
064-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
064-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
064-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
064-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

064-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
064-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
064-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
064-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
064-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
064-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
064-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040720065
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			065	各処理施設の安全で効率的な運転管理を徹底するとともに、老朽化、処理量の変化に対応した施設の規模や処理方式、更新等について長期的な視点に立った検討を進め、効率的・効果的な運転管理と安定した廃棄物処理を推進します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
065-1	環境施設課 / ごみ焼却施設管理運営事業	西部クリーンセンター及びクリーンセンターおおたかの管理・運営（死亡獣等焼却処理場含む）◆施設の適正かつ効率的な運営管理	燃やせるごみを衛生的かつ適正に処理できる		H30	1,404,781	○	◎	現状維持
			誰	市民が	R1	1,443,979	○	◎	現状維持
			何	安全・安心な日常生活を送れる	R2	1,325,388	○	◎	現状維持
065-2	環境施設課 / ごみ資源化施設管理運営事業	リサイクルセンターの管理・運営 ◆施設の適正かつ効率的な運営管理	燃やせないごみを衛生的かつ適正にリサイクル処理できる		H30	380,757	○	◎	現状維持
			誰	市民が	R1	376,303	○	◎	現状維持
			何	安全・安心な日常生活を送れる	R2	374,591	○	◎	現状維持
065-3	環境施設課 / ごみ埋立施設管理運営事業	一般廃棄物最終処分場の管理・運営及び旧白銀環境清掃センター浸出水処理施設等の維持管理 ◆施設の適正かつ効率的な運営管理	資源化処理後の不燃残渣の最終処分を衛生的かつ適正に処理できる		H30	256,473	○	◎	現状維持
			誰	市民が	R1	299,097	○	◎	現状維持
			何	安全・安心な日常生活を送れる	R2	248,957	○	◎	現状維持
065-4	環境施設課 / 白銀環境清掃センター跡地等整備事業	白銀環境清掃センター跡地の早期安定化事業の実施 ◆2期処分場の早期安定化	埋立跡地の有効利用及び早期安定化が図れる		H30	65,158	○	○	拡充・充実
			誰	市民が	R1	6,395	○	○	拡充・充実
			何	安全・安心な日常生活を送れる	R2	3,952	○	○	拡充・充実
065-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
065-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
065-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

065-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
065-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
065-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
065-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
065-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
065-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
065-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	07	環境にやさしい社会の形成	管理コード　040720066
		施策	20	循環型社会形成の推進	本冊ページ　67
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			066	地球温暖化防止・低炭素社会の実現に向け、効率的なエネルギー利用や省エネルギー対策を推進するとともに、地域特性に応じ、バイオマスを活用した産業創出をはじめ、再生可能エネルギーのさらなる導入を推進します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
066-1	環境政策課	家庭用燃料電池システム（エネファーム）や太陽光発電システムなど新エネルギー利用設備設置者（市民、自治体、事業所）に対する補助 ◆補助257件	市民及び市内事業者が、補助金を活用し、新エネルギー利用設備を設置する		H30	15,480	◎	◎	現状維持
	新エネルギー利用設備設置費補助事業		誰	市民及び市内事業者が	R1	14,940	◎	◎	現状維持
			何	新エネルギー利用設備を設置しやすくなる	R2	14,880	◎	◎	現状維持
066-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
066-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
066-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
066-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
066-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
066-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

066-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
066-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
066-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
066-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
066-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
066-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
066-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画			
担当部局			上下水道事業局			
施策の内容（番号）			067	～	069	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
067	小規模な水道施設の統廃合をできる限り行い、県営水道を活用しながら、効率的な施設の更新、耐震化を進めます。	B	①	水道工務課/水道施設課
068	水道施設を健全な状態で次世代へ引継ぎ、世代間の負担が公平となるよう、さらなる経営基盤の強化に取り組みます。	B	①	水道工務課
069	定期的な水質検査の実施により、水質の汚濁を防止し、清浄な水を確保します。	A	①	水道施設課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	計画に基づき水道・工業用水道の水質検査を実施するとともに、浄水施設整備工事や老朽管更新を実施し、安全な水の安定供給に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821067
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			上下水道事業局			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			067	小規模な水道施設の統廃合をできる限り行い、県営水道を活用しながら、効率的な施設の更新、耐震化を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
067-1	水道工務課	老朽管更新、管網整備工事 ◆計画に基づき実施	持続する水道を目的とし、水道利用者に安全で良質な水道水を安定供給し続けるため		H30	1,026,018	△	○	現状維持
	建設改良事業		誰	水道使用者が	R1	1,039,309	△	○	現状維持
			何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	R2	1,522,605	△	○	現状維持
067-2	水道施設課	浄水施設整備工事等 ◆計画に基づき実施	水道水の安定供給		H30	225,853	○	◎	現状維持
	建設改良事業		誰	使用者が	R1	95,731	○	◎	現状維持
			何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	R2	145,588	○	◎	現状維持
067-3	水道施設課	県営水道受水に伴う安濃第2分水施設建設負担金 ◆計画に基づき実施	水道水の安定供給		H30	3,694	○	◎	現状維持
	水道建設負担事業		誰	使用者が	R1	9,822	○	◎	現状維持
			何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	R2	136,924	○	◎	現状維持
067-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
067-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
067-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
067-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

067-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
067-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
067-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
067-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
067-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
067-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
067-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821068
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			上下水道事業局			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			068	水道施設を健全な状態で次世代へ引継ぎ、世代間の負担が公平となるよう、さらなる経営基盤の強化に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
068-1	水道工務課 / 建設改良事業	老朽管更新、管網整備工事 ◆計画に基づき実施	持続する水道を目的とし、水道利用者に安全で良質な水道水を安定供給し続けるため		H30	1,026,018	△	○	現状維持
			誰	水道使用者が	R1	1,039,309	△	○	現状維持
			何	水道利用者の信頼を高め、安全で安心して暮らせることになる	R2	1,522,605	△	○	現状維持
068-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
068-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
068-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
068-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
068-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
068-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

068-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
068-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
068-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
068-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
068-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
068-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
068-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821069
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71
	関連個別計画		第2次津市水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			上下水道事業局			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			069	定期的な水質検査の実施により、水質の汚濁を防止し、清浄な水を確保します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
069-1	水道施設課	工業用水道の水質検査 ◆計画に基づき実施	工業用水道の安定供給		H30	452	○	◎	現状維持
	工業用水道事業会計		誰	使用者が	R1	506	○	◎	現状維持
			何	工業用水道の安定供給を受ける	R2	597	○	◎	現状維持
069-2	水道施設課	水道水の水質検査 ◆計画に基づき実施	安心・安全でおいしい水の安定供給		H30	31,512	○	◎	現状維持
	水道事業会計		誰	使用者が	R1	36,978	○	◎	現状維持
			何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	R2	41,677	○	◎	現状維持
069-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
069-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
069-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
069-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
069-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

069-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
069-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
069-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
069-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
069-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
069-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
069-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040822
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ	71
	関連個別計画		津市下水道事業基本計画、津市雨水管理総合計画、下水道ストックマネジメント基本計画			
担当部局			農林水産部、建設部、上下水道事業局、上下水道管理局			
施策の内容（番号）			070	～	072	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
070	下水道事業については、管理・経営の方針を定め、効率的な下水道整備を進めるとともに、施設の長寿命化に向けて、計画的な維持管理を推進します。	B	①	下水道工務課/下水道施設課/経営企画課
071	供用開始地域の未接続世帯への公共下水道接続並びに汲み取り槽及び単独浄化槽からの合併浄化槽への転換について、指導、啓発活動を強化し、水洗化率の向上に取り組みます。	B	①	下水道工務課/上下水道管理課/営業課
072	浸水被害軽減のため、排水路や公共下水道の整備と既存施設の適切な維持管理など、雨水排水対策を進めるとともに、浸水被害が著しい地域においては、公共下水道事業だけでなく河川事業や農地の湛水防除事業なども含めた総合的な浸水対策を進めます。	B	①	河川排水推進室/南北工事事務所/下水道工務課/下水道施設課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	中勢沿岸流域下水道の建設費負担をはじめ、汚水・雨水幹線等築造工事、農業集落排水処理施設等の機能強化工事、市営浄化槽事業等を実施するとともに、公共下水道供用開始区域における未接続世帯に対する啓発・補助を行うほか、河川の浚渫工事や農業水利施設・排水機場等の改修工事による総合的な浸水対策を実施することにより生活排水対策等の推進に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040822070
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ　71
	関連個別計画		津市下水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市雨水管理総合計画（令和元年度～令和10年度）、下水道ストックマネジメント基本計画（令和元年度～令和5年度）		
担当部局			上下水道事業局、上下水道管理局		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			070	下水道事業については、管理・経営の方針を定め、効率的な下水道整備を進めるとともに、施設の長寿命化に向けて、計画的な維持管理を推進します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
070-1	経営企画課 / 流域下水道建設負担事業	中勢沿岸流域下水道の建設費を負担 ◆県の事業計画に合わせて負担の実施	三重県の流域下水道事業に係る管整備及び維持管理事業		H30	145,205	○	○	現状維持
			誰	流域関連公共下水道の供用区域のうち下水道に接続している住民が	R1	126,477	○	○	現状維持
			何	流域下水道の排水の流入に支障のないよう、適正な管理及び水洗化を促進する	R2	84,772	○	○	現状維持
070-2	下水道工務課 / 汚水管渠維持管理事業	不明水対策等管更生工事・公共ます設置工事 ◆計画に基づき実施	下水道管等に流入する不明水によって起こる汚水の排水不良を防ぐ		H30	119,152	○	○	現状維持
			誰	公共下水道使用者が	R1	163,011	○	○	現状維持
			何	安定した公共下水道の使用できる	R2	112,105	○	○	現状維持
070-3	下水道工務課 / 汚水管渠建設事業	汚水幹線等築造工事等 ◆計画に基づき実施	汲み取り便所の水洗化及び家庭用雑排水等の公共下水道への接続		H30	1,464,558	○	○	現状維持
			誰	公共下水道使用者、市内外の人々が	R1	1,999,221	○	○	現状維持
			何	生活環境及び公衆衛生の改善と公共用水域の水質保全	R2	2,085,198	○	○	現状維持
070-4	下水道工務課 / 雨水管渠建設事業	雨水幹線築造工事等 ◆計画に基づき実施	降雨時など、市街地における内水の速やかな排除		H30	185,218	○	○	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	641,355	○	○	現状維持
			何	内水氾濫の被害から人命・資産等が守られる	R2	461,077	○	○	現状維持
070-5	下水道工務課 / 建設改良事業	老朽管更新工事 ◆計画に基づき実施	降雨時など、市街地における内水の速やかな排除		H30	185,218	○	○	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	641,355	○	○	現状維持
			何	内水氾濫の被害から人命・資産等が守られる	R2	461,077	○	○	現状維持
070-6	下水道施設課 / 建設改良費	浄化施設整備工事、排水施設整備工事等 ◆計画に基づき実施	安心、安全なまちづくりの推進を図る		H30	149,561	○	◎	拡充・充実
			誰	使用者が	R1	14,443	○	◎	拡充・充実
			何	安心安全な生活が維持できる	R2	163,960	○	◎	拡充・充実
070-7	下水道工務課 下水道施設課 / 農業集落排水処理施設維持管理事業	農業集落排水処理施設等の機能強化工事 ◆計画に基づき実施	持続的な施設機能の確保とライフサイクルコストの低減		H30				
			誰	使用者が	R1	10,868	○	○	拡充・充実
			何	安定した公共下水道の使用ができる	R2	42,900	○	○	拡充・充実

施策の内容評価シート（令和２年度分）

070-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
070-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
070-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
070-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
070-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
070-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
070-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040822071
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ	71
	関連個別計画		津市下水道事業基本計画（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			上下水道事業局、上下水道管理局			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			071	供用開始地域の未接続世帯への公共下水道接続並びに汲み取り槽及び単独浄化槽からの合併浄化槽への転換について、指導、啓発活動を強化し、水洗化率の向上に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
071-1	下水道工務課 / 市営浄化槽事業	下水道計画区域及び農業集落排水処理施設などの集合処理区域を除いた区域における浄化槽の設置 ◆計画に基づき実施	汲み取り便所の水洗化及び家庭用雑排水等の放流水の浄化		H30	89,482	○	◎	現状維持
			誰	市営浄化槽使用者、市内外の人々が	R1	66,207	○	◎	現状維持
			何	生活環境及び公衆衛生の改善と公共用水域の水質保全	R2	88,246	○	◎	現状維持
071-2	下水道工務課 上下水道管理課 / 公共下水道事業	公共下水道供用開始地域における未接続世帯への公共下水道接続についての啓発 ◆計画に基づき実施	公共下水道の水洗化率の向上		H30	0	○	○	現状維持
			誰	公共下水道供用開始区域の住宅所有者等が	R1	0	○	○	現状維持
			何	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上並びに公共用水域の水質保全につながる	R2	0	○	○	現状維持
071-3	営業課 / 普及指導事業	下水道供用開始地域の未接続世帯に対する補助 ◆補助　41件	水洗化率の向上に繋がる		H30	603	△	○	現状維持
			誰	市内の人々が	R1	1,197	△	○	現状維持
			何	助成金を活用し、公共下水道へ接続することができる	R2	168	△	○	現状維持
071-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
071-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
071-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
071-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

071-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
071-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
071-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
071-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
071-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
071-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
071-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040822072
		施策	22	生活排水対策等の推進	本冊ページ	71
	関連個別計画		津市雨水管理総合計画（令和元年度～令和10年度）			
担当部局			農林水産部、建設部、上下水道事業局			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			072	浸水被害軽減のため、排水路や公共下水道の整備と既存施設の適切な維持管理など、雨水排水対策を進めるとともに、浸水被害が著しい地域においては、公共下水道事業だけでなく河川事業や農地の湛水防除事業なども含めた総合的な浸水対策を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
072-1	南北工事事務所 / 河川維持事業	準用河川等のしゅんせつ、除草、修繕等の維持管理 ◆適正な維持管理の実施	適正な河川施設の維持管理を行う		H30	99,327	○	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	89,610	○	◎	現状維持
			何	地域特性に応じた河川施設の維持管理を行う	R2	85,147	○	◎	現状維持
072-2	河川排水推進室 / 緊急浚渫対策事業	緊急浚渫対策事業債を活用した、浸水対策のための河川の浚渫工事 ◆6事業	浸水対策の促進		H30				
			誰	河川流域の住民が	R1				
			何	安心・安全な暮らしを送る	R2	26,697	○	○	拡充・充実
072-3	河川排水推進室 / 雨水計画事業	浸水被害軽減のための調査測量、検討業務委託 ◆5地区	浸水対策の促進		H30	10,718	○	○	現状維持
			誰	調査箇所周辺地区の住民が	R1	12,506	○	○	現状維持
			何	安心・安全な暮らしを送る	R2	2,478	○	○	現状維持
072-4	河川排水推進室 / 雨水対策事業（農業水利施設改修）	緊急自然災害防止対策事業債を活用した、浸水対策のための農業水利施設等の改修工事 ◆3事業	浸水対策の促進		H30				
			誰	ため池下流の地域の住民が	R1				
			何	安心・安全な暮らしを送る	R2	89,286	○	○	現状維持
072-5	下水道工務課 / 雨水管渠建設事業	雨水幹線築造工事等 ◆計画に基づき実施	降雨時など、市街地における内水の速やかな排除		H30	185,218	○	○	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	641,355	○	○	現状維持
			何	内水氾濫の被害から人命・資産等が守られる	R2	461,077	○	○	現状維持
072-6	下水道施設課 / 雨水対策事業（排水機場等改修）	緊急自然災害防止対策事業債を活用した、浸水対策のための排水機場等の改修工事 ◆7事業	安心、安全なまちづくりの推進を図る		H30	0			
			誰	市民の	R1	0			
			何	浸水対策となる	R2	230,497	○	◎	拡充・充実
072-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

072-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
072-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
072-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
072-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
072-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
072-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
072-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040823
		施策	23	生活道路の整備	本冊ページ　71
	関連個別計画		津市狭あい道路拡幅整備促進計画		
担当部局			都市計画部、建設部		
施策の内容（番号）			073	～	074

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
073	幅員4m未満の狭あい道路の解消に向けて、セットバック費用に対する助成制度の普及・啓発に努め、市道としての拡幅・整備を推進します。	A	①	建築指導課
074	市民が不便なく常に安全・快適に利用ができるよう、橋りょう等の各道路施設について、定期的な点検を実施し、予防的かつ計画的な修繕・更新を行うとともに、道路パトロールや関係機関・市民との連携による危険箇所の監視体制を強化し、迅速・適切な対応に努めます。	A	①	地域連携課/建設整備課/南北工事事務所

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	道路施設の予防的かつ計画的な修繕に加え、フレキシブルに対応する地域インフラ維持事業を実施するほか、狭あい道路については道路後退用地確保のための測量・分筆・除却等に対する助成及び寄付後の道路整備を実施するなど、生活道路の整備を進めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040823073
		施策	23	生活道路の整備	本冊ページ	71
	関連個別計画		津市狭あい道路拡幅整備促進計画（2019年度～2023年度）			
担当部局			都市計画部、建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			073	幅員4m未満の狭あい道路の解消に向けて、セットバック費用に対する助成制度の普及・啓発に努め、市道としての拡幅・整備を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
073-1	建築指導課	道路後退用地確保のための測量・分筆、除却等に対する助成及び寄附後の道路整備 ◆補助件数40件	良好な住環境の整備		H30	44,333	○	○	拡充・充実
	狭あい道路整備事業		誰	4m未満の狭い道路に接する土地所有者	R1	51,617	○	○	拡充・充実
			何	良好な住環境の整備及び緊急車両等の通行障害の解消	R2	63,063	○	◎	現状維持
073-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
073-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
073-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
073-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
073-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
073-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

073-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
073-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
073-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
073-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
073-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
073-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
073-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040823074
		施策	23	生活道路の整備	本冊ページ	71
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			074	市民が不便なく常に安全・快適に利用ができるよう、橋りょう等の各道路施設について、定期的な点検を実施し、予防的かつ計画的な修繕・更新を行うとともに、道路パトロールや関係機関・市民との連携による危険箇所の監視体制を強化し、迅速・適切な対応に努めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
074-1	地域連携課	道路、河川、公園等の地域インフラの維持修繕に関し総合支所長の権限のもと、フレキシブルに対応する事業 ◆適宜実施	地域から寄せられるインフラに関する要望に対して、総合支所長の権限で速やかに優先順位を決めて柔軟に対応するため		H30	171,860	○	○	拡充・充実
	地域インフラ維持事業		誰	市民が	R1	176,751	○	○	拡充・充実
			何	安全に道路等のインフラを使用することができる	R2	174,773	○	○	拡充・充実
074-2	地域連携課	身近な地域の課題や要望の早期解決を図るため、地域への原材料の支給や、総合支所職員による簡易な補修、修繕等の実施 ◆適宜実施	地域から寄せられるインフラに関する要望に対して、総合支所長の権限で速やかに優先順位を決めて柔軟に対応するため		H30	19,809	○	○	現状維持
	地域インフラ補修事業		誰	市民が	R1	19,790	○	○	現状維持
			何	安全に道路等のインフラを使用することができる	R2	19,758	○	○	現状維持
074-3	南北工事事務所	舗装、側溝等道路施設の維持修繕 ◆適正な維持管理の実施	適正な道路施設の維持管理を行う		H30	27,131	○	◎	現状維持
	道路等維持修繕事業		誰	市内外の人々が	R1	8,517	○	◎	現状維持
			何	生活基盤である道路施設の維持管理を行う	R2	9,433	○	◎	現状維持
074-4	南北工事事務所	公共下水道事業完了後の道路施設の整備等 ◆適切な整備の実施	公共下水道事業完了後の道路施設の整備等を行う		H30	39,721	○	◎	現状維持
	環境整備事業		誰	市内外の人々が	R1	56,273	○	◎	現状維持
			何	事業完了後の道路施設の維持管理を行う	R2	57,756	○	◎	現状維持
074-5	建設整備課	国の防災・安全交付金を活用した舗装維持管理計画に基づく路線の予防的かつ計画的な修繕の実施 ◆事業計画通りの進捗	舗装維持管理計画に基づき計画的に修繕を行い、今後の維持管理コスト縮減及び安全・安心な道路空間が確保される		H30	174,600	○	○	拡充・充実
	舗装維持管理強化事業		誰	道路管理者が	R1	47,083	○	○	拡充・充実
			何	安全・安心な交通が確保される	R2	35,702	○	○	拡充・充実
074-6	建設整備課	道路ストックの総点検により、道路施設の異常や損傷を早期に発見し、計画的な修繕を実施 ◆事業計画通りの進捗	個別施設計画に基づき計画的に点検・修繕・更新を行い、今後の維持管理コストの縮減及び安全・安心な道路空間が確保される		H30	38,444	○	○	拡充・充実
	道路構造物修繕（更新）事業		誰	道路管理者が	R1	49,247	○	○	拡充・充実
			何	安全・安心な交通が確保される	R2	48,869	○	○	拡充・充実
074-7	建設整備課	津興橋架替工事に伴う仮橋工事 ◆仮橋　L＝136m	橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に点検・修繕・更新を行い、今後の維持管理コストの縮減及び安全・安心な道路空間が確保される		H30	262,852	◎	◎	拡充・充実
	津興橋大規模更新事業		誰	道路管理者が	R1	455,771	◎	◎	拡充・充実
			何	安全・安心な交通が確保される	R2	649,526	◎	◎	拡充・充実

施策の内容評価シート（令和２年度分）

074-8	南北工事事務所 橋りょう維持事業	橋りょうの修繕工事 ◆必要に応じた修繕の実施	橋りょうの安全性を確保するため修繕を行う		H30	8,987	○	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	6,436	○	◎	現状維持
			何	橋りょうの安全性、信頼性を確保するため維持管理を行う	R2	8,131	○	◎	現状維持
074-9	建設整備課 橋りょう長寿命化修繕事業	国の防災・安全交付金を活用し、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検及び工事の実施 ◆事業計画通りの進捗	橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に点検・修繕・更新を行い、今後の維持管理コストの縮減及び安全・安心な道路空間が確保される		H30	42,350	◎	◎	拡充・充実
			誰	道路管理者が	R1	115,671	◎	◎	拡充・充実
			何	安全・安心な交通が確保される	R2	210,693	◎	◎	拡充・充実
074-10					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
074-11					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
074-12					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
074-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
074-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040824
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ	72
	関連個別計画		津市環境基本計画、津市空家等対策計画、津市公営住宅等長寿命化計画			
担当部局			環境部、都市計画部、建設部			
施策の内容（番号）			075	～	079	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
075	市民や管理者・所有者に対し、空き家の適正管理に向けた啓発や情報提供を行うことで、適切に管理されず老朽化した空き家発生の抑制に取り組むとともに、資産価値のあるうちに賃貸や売却が行われるなど、空き家が住宅ストックとして利活用される環境を整備します。	A	①	環境保全課/都市政策課
076	適正に管理されていない空き地・空き家の管理者・所有者に対し、適正管理の指導や啓発を行い、管理不全な状態が改善されない場合は、その所有者等に対する行政指導や行政処分により、改善に努めます。	A	①	環境保全課/建築指導課
077	市営住宅の適正な維持管理や計画的な改修等を実施し、市営住宅総量の適正数を見極めた上で、集約化を進めるとともに、民間賃貸住宅ストックの活用による効率的かつ効果的な住宅提供方法の検討を進めます。	A	①	市営住宅課
078	地籍調査は、地元自治会や関係機関の協力を得ながら、より一層推進し、特に沿岸部においては、津波被害が発生した時に備え、計画的かつ集中的に事業に取り組みます。	A	①	用地・地籍調査推進課
079	市営墓地については、適正な管理運営により無縁墓の発生防止に努めます。	B	①	地域振興課（久居・安濃・香良洲・一志）

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	空き家が適切に管理されずに老朽化することを抑制するため、空き家情報バンク事業や空き家リノベーション等に対する補助を行うとともに、老朽化した市営住宅については順次改修を行っています。また、適正に管理されていない空き地・空き家の所有者への指導のほか、地籍調査や市営墓地の適正な管理を行うなど、居住環境の整備に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040824075
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ　72
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市空家等対策計画（平成29年度～令和3年度）		
担当部局			環境部、都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			075	市民や管理者・所有者に対し、空き家の適正管理に向けた啓発や情報提供を行うことで、適切に管理されず老朽化した空き家発生の抑制に取り組むとともに、資産価値のあるうちに賃貸や売却が行われるなど、空き家が住宅ストックとして利活用される環境を整備します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
075-1	環境保全課 / 空き地・空き家等の適正管理	空き地・空き家の適正管理に向けた啓発や情報発信 ◆専門家団体との連携、空き家無料相談会の実施	迷惑な空き地・空き家の発生の抑制		H30	474	○	○	現状維持
			誰	市民	R1	484	○	○	現状維持
			何	生活環境及び公衆衛生の保全	R2	494	○	○	現状維持
075-2	都市政策課 / 空家等対策関係事業	空き家情報バンク利用促進啓発 ◆空き家情報バンク物件成約件数15件/年	空き家情報バンクの利用者を増やし、登録物件の成約により空き家数を減らす		H30	0	◎	◎	拡充・充実
			誰	空き家の所有者、市内外の人々が	R1	0	◎	◎	拡充・充実
			何	空き家の利活用を促進することで空き家の件数を減少させる	R2	0	◎	◎	拡充・充実
075-3	都市政策課 / 空家等対策関係事業	津市移住促進のための空き家リノベーションに対する補助 ◆補助2件/年	移住者が補助金を活用し、空き家の改修を行う		H30	1,000	○	○	拡充・充実
			誰	本市への移住者が	R1	852	◎	◎	拡充・充実
			何	空き家の利活用を促進する	R2	1,000	○	○	拡充・充実
075-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
075-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
075-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
075-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

075-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
075-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
075-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
075-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
075-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
075-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
075-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040824076
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ	72
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）、津市空家等対策計画（平成29年度～令和3年度）			
担当部局			環境部、都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			076	適正に管理されていない空き地・空き家の管理者・所有者に対し、適正管理の指導や啓発を行い、管理不全な状態が改善されない場合は、その所有者等に対する行政指導や行政処分により、改善に努めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
076-1	環境保全課	適正に管理されていない空き地・空き家の草木の繁茂に係る所有者への指導等 ◆相談・苦情件数を令和4年度には700件に、令和9年度には622件まで減らす。	迷惑な空き地・空き家の発生の抑制		H30	76	○	○	現状維持
	空き地・空き家等の適正管理		誰	市民	R1	67	○	○	現状維持
			何	生活環境及び公衆衛生の保全	R2	94	○	○	現状維持
076-2	建築指導課	特定空家等の除却工事に対する補助 ◆補助件数12件	特定空家等の所有者等が補助金を活用し、解体を実施する		H30	1,200	○	◎	拡充・充実
	空家等対策関係事業		誰	特定空家等の所有者等が	R1	2,700	○	◎	拡充・充実
			何	解体を実施しやすくなる	R2	3,600	○	◎	現状維持
076-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
076-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
076-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
076-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
076-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

076-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
076-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
076-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
076-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
076-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
076-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
076-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040824077
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ	72
	関連個別計画		津市公営住宅等長寿命化計画（令和2年度～令和11年度）			
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			077	市営住宅の適正な維持管理や計画的な改修等を実施し、市営住宅総量の適正数を見極めた上で、集約化を進めるとともに、民間賃貸住宅ストックの活用による効率的かつ効果的な住宅提供方法の検討を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
077-1	市営住宅課	市営住宅の改修工事等	住宅確保要配慮者の居住の安定の確保及び建物の長寿命化が図れる		H30	64,774	△	◎	拡充・充実
	市営住宅施設改修事業	◆老朽化した市営住宅の順次改修	誰	市営住宅入居者及び入居を希望する市民が	R1	103,068	○	◎	拡充・充実
			何	安定的に居住地（住宅）を確保できる	R2	74,513	○	◎	拡充・充実
077-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
077-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
077-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
077-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
077-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
077-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

077-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
077-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
077-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
077-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
077-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
077-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
077-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040824078
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ	72
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			078	地籍調査は、地元自治会や関係機関の協力を得ながら、より一層推進し、特に沿岸部においては、津波被害が発生した時に備え、計画的かつ集中的に事業に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
078-1	用地・地籍調査推進課 / 地籍調査事業	沿岸部における津波浸水区域を「重点整備区域」として,地籍調査事業を推進 ◆津市地籍調査事業計画に基づき事業推進	土地の境界を明確にする		H30	211,329	○	◎	現状維持
			誰	市民及び事業者	R1	164,045	○	◎	現状維持
			何	津波災害時にライフライン等の速やかな復旧・復興ができる	R2	155,457	○	◎	現状維持
078-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
078-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
078-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
078-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
078-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
078-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

078-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
078-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
078-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
078-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
078-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
078-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
078-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040824079
		施策	24	居住環境の整備	本冊ページ　72
	関連個別計画		津市環境基本計画（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			環境部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			079	市営墓地については、適正な管理運営により無縁墓の発生防止に努めます。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
079-1	久居総合支所地域振興課 / 墓地管理事業（久居総合支所）	墓地の使用許可、台帳管理及び管理運営 ◆無縁墓発生件数：0件	無縁墓の発生防止並びに墓所の荒廃防止及び景観維持		H30	2,310	○	○	現状維持
			誰	墓園使用者	R1	2,026	○	○	現状維持
			何	参拝等における良好な環境の保持	R2	2,023	○	○	現状維持
079-2	安濃総合支所地域振興課 / 墓地管理事業（安濃総合支所）	墓地の使用許可、台帳管理、管理運営及び墓園使用者に毎年管理料の納付書送付 ◆無縁墓発生件数：0件	無縁墓の発生防止並びに墓所の荒廃防止及び景観維持		H30	313	○	○	現状維持
			誰	墓園使用者	R1	314	○	○	現状維持
			何	参拝等における良好な環境の保持	R2	322	○	○	現状維持
079-3	香良洲総合支所地域振興課 / 墓地管理事業（香良洲総合支所）	墓地の使用許可、台帳管理及び管理運営 ◆無縁墓発生件数：0件	無縁墓の発生防止並びに墓所の荒廃防止及び景観維持		H30	431	○	○	現状維持
			誰	墓園使用者	R1	336	○	○	現状維持
			何	参拝等における良好な環境の保持	R2	438	○	○	現状維持
079-4	一志総合支所地域振興課 / 墓地管理事業（一志総合支所）	墓地の使用許可、台帳管理及び一志墓園維持管理組合との連携 ◆無縁墓発生件数：0件	無縁墓の発生防止並びに墓所の荒廃防止及び景観維持		H30	－	○	○	現状維持
			誰	墓園使用者	R1	－	○	○	現状維持
			何	参拝等における良好な環境の保持	R2	－	○	○	現状維持
079-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
079-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
079-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

079-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
079-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
079-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
079-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
079-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
079-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
079-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード　040825
		施策	25	港湾・海岸堤防の整備	本冊ページ　72
	関連個別計画		機能保全計画		
担当部局			農林水産部、都市計画部、建設部		
施策の内容（番号）			080	～	082

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
080	地震や高潮等に対応した海岸堤防の早期完成・早期整備と維持管理を国・県に対し、強く働きかけます。	B	①	事業調整室
081	発生が予想される南海トラフ地震や台風時の高潮から水産業生産拠点である漁港を守るため、国・県と連携し、堤防や防波堤、既存施設の長寿命化などを推進します。	B	①	水産振興室
082	老朽化が進む港湾施設について、計画的な修繕により港湾機能の維持・確保を三重県に対し、強く働きかけます。	A	①	交通政策課/事業調整室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	地震や高潮等に対応した海岸堤防の早期完成に向けた国への要望を適宜実施するとともに、港湾施設の改修等に係る県への要望のほか、香良洲漁港の海岸保全施設整備工事を行うなど、港湾・海岸堤防の整備に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040825080
		施策	25	港湾・海岸堤防の整備	本冊ページ	72
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			080	地震や高潮等に対応した海岸堤防の早期完成・早期整備と維持管理を国・県に対し、強く働きかけます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
080-1	事業調整室	津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業の促進及び予算確保のため関係機関への要望活動を実施する。◆時宜を捉えて適宜実施	津松阪港海岸における直轄海岸事業の促進		H30	100	○	○	現状維持
	津松阪港直轄海岸事業促進期成同盟会		誰	津松阪港海岸沿岸住民が	R1	100	○	○	現状維持
			何	安心・安全な生活を送る	R2	100	○	○	現状維持
080-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
080-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
080-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
080-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
080-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
080-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

080-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
080-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
080-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
080-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
080-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
080-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
080-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040825081
		施策	25	港湾・海岸堤防の整備	本冊ページ	72
	関連個別計画		機能保全計画			
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			081	発生が予想される南海トラフ地震や台風時の高潮から水産業生産拠点である漁港を守るため、国・県と連携し、堤防や防波堤、既存施設の長寿命化などを推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
081-1	水産振興室	香良洲漁港海岸保全施設長寿命化計画に基づく海岸保全施設整備工事等 ◆施工延長L＝115m R1　鋼矢板工等 R2　表法被覆工等	脆弱している海岸保全施設の整備工事を行う		H30				
	海岸保全施設整備事業		誰	背後地の住民並びに漁業関係者	R1	23,279	○	○	現状維持
			何	安全・安心な生活の確保と漁業活動の継続に繋がる	R2	133,456	○	○	現状維持
081-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
081-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
081-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
081-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
081-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
081-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

081-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
081-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
081-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
081-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
081-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
081-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
081-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	―	B	B							
今後の方向性	―	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040825082
		施策	25	港湾・海岸堤防の整備	本冊ページ	72
	関連個別計画					
担当部局			都市計画部、建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			082	老朽化が進む港湾施設について、計画的な修繕により港湾機能の維持・確保を三重県に対し、強く働きかけます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
082-1	交通政策課	臨港道路横断歩道の引き直しに係る要望 ◆県政要望として年1回要望する	施設利用者の安全確保		H30	0	○	○	拡充・充実
	津なぎさまち管理運営事業		誰	施設利用者	R1	0	○	◎	廃止
			何	施設利用者の安全確保の保持	R2				
082-2	交通政策課	港内のしゅんせつに係る要望 ◆県政要望として年1回要望する	高速船の安定した運航		H30	0	○	○	拡充・充実
	津なぎさまち管理運営事業		誰	高速船事業者、高速船利用者	R1	0	○	△	拡充・充実
			何	高速船の安定した運航の提供	R2	0	○	◎	現状維持
082-3	事業調整室	津松阪港（新堀地区）の港湾施設（物揚場）の改修を要望する。（令和2年度に予算がつき、令和3年度から工事着手。）◆時宜を捉えて適宜実施	港湾機能の確保		H30	0	○	△	現状維持
	要望活動		誰	港湾利用者が	R1	0	○	◎	現状維持
			何	施設の耐震化により、安心して利用できるようになる	R2	0	○	◎	現状維持
082-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
082-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
082-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
082-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

082-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
082-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
082-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
082-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
082-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
082-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
082-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040926
		施策	26	良好な景観の形成	本冊ページ　75
	関連個別計画		津市景観計画		
担当部局			都市計画部		
施策の内容（番号）			083	～	085

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
083	市民や事業者において、それぞれの役割に応じた良好な景観の形成に向けた取組が積極的に行われるよう、情報発信や啓発事業などを行うとともに、市民一人ひとりが美しい景観への関心と景観形成の主体者であるという意識を持つことができるよう、景観に対する関心の喚起や、良好な景観の形成への取組に対する動機付け、知識の普及などに努めま	A	①	都市政策課
084	市民、事業者などによる良好な景観の形成に関する優れた取組などに対しては、景観法の各種制度や関連する法制度を活用しながら、積極的に支援します。	A	①	都市政策課
085	屋外広告物については、違反指導を強化し、良好な景観の形成、風致の維持の観点から適切な規制・誘導を図るとともに、倒壊や落下等による公衆に対する危害防止のため、適切な管理を行うよう、事業者等に対し必要な指導等を行います。	B	①	都市政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	景観計画で定める重点地区における修景事業に対する補助や重点地区指定に向けた支援を行うほか、違反広告物や倒壊・落下の恐れのある屋外広告物に対する指導を実施するなど、良好な景観の形成に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040926083
		施策	26	良好な景観の形成	本冊ページ	75
	関連個別計画		津市景観計画（平成26年度～）			
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			083	市民や事業者において、それぞれの役割に応じた良好な景観の形成に向けた取組が積極的に行われるよう、情報発信や啓発事業などを行うとともに、市民一人ひとりが美しい景観への関心と景観形成の主体者であるという意識を持つことができるよう、景観に対する関心の喚起や、良好な景観の形成への取組に対する動機付け、知識の普及などに努めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
083-1	都市政策課 / 重点地区指定推進事業	景観計画で定める重点地区内における修景事業に対する補助、重点地区指定に向けた支援 ◆補助件数　2件	まちなみ修景整備事業の実施及び重点地区指定に向けた支援をすることにより、市民共通の大切な資産として良好な景観形成の推進を図る		H30	691	○	○	現状維持
			誰	市民	R1	2,000	◎	◎	現状維持
			何	良好な景観形成の推進を図る	R2	2,500	◎	◎	現状維持
083-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
083-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
083-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
083-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
083-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
083-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

083-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
083-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
083-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
083-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
083-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
083-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
083-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040926084
		施策	26	良好な景観の形成	本冊ページ	75
	関連個別計画					
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			084	市民、事業者などによる良好な景観の形成に関する優れた取組などに対しては、景観法の各種制度や関連する法制度を活用しながら、積極的に支援します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
084-1	都市政策課 / 重点地区指定推進事業	景観計画で定める重点地区内における修景事業に対する補助、重点地区指定に向けた支援 ◆補助件数　2件	事業の実施により直接的に表れる効果	まちなみ修景整備事業の実施及び重点地区指定に向けた支援をすることにより、市民共通の大切な資産として良好な景観形成の推進を図る	H30	691	○	○	現状維持
			誰のための事業か	誰：市民	R1	2,000	◎	◎	現状維持
			何のための事業か	何：良好な景観形成の推進を図る	R2	2,500	◎	◎	現状維持
084-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
084-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
084-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
084-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
084-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
084-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

084-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
084-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
084-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
084-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
084-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
084-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
084-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040926085
		施策	26	良好な景観の形成	本冊ページ	75
	関連個別計画					
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			085	屋外広告物については、違反指導を強化し、良好な景観の形成、風致の維持の観点から適切な規制・誘導を図るとともに、倒壊や落下等による公衆に対する危害防止のため、適切な管理を行うよう、事業者等に対し必要な指導等を行います。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
085-1	都市政策課 / 屋外広告物違反指導	違反広告物に対して適切な規制誘導を図る。◆必要な指導等の実施	良好な景観の形成、風致の維持		H30	0	○	○	現状維持
			誰	市民	R1	0	○	○	現状維持
			何	快適に暮らす	R2	0	○	○	現状維持
085-2	都市政策課 / 屋外広告物違反指導	倒壊や落下等の恐れがある屋外広告物について適切な管理をするよう事業者に指導する。◆必要な指導等の実施	公衆に対する危険防止		H30	0	○	○	現状維持
			誰	市民	R1	0	○	○	現状維持
			何	安心して生活する	R2	0	○	○	現状維持
085-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
085-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
085-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
085-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
085-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

085-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
085-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
085-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
085-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
085-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
085-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
085-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040927
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ　75
	関連個別計画		津市都市マスタープラン		
担当部局			都市計画部、建設部		
施策の内容（番号）			086	～	089

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
086	快適な生活空間の形成に向け、緑の持つさまざまな機能を十分踏まえ、長期的な視点に立って、緑地の保全や緑化の推進に取り組みます。	B	①	都市政策課
087	講習会の開催等や津市緑化基金等を活用した市民の緑化活動への支援により、道路・河川等の公共空間や民有地の公的空間の緑化を推進するとともに、市民の緑化意識の高揚を促進します。	B	①	都市政策課
088	都市計画公園については、多くの市民の憩いや交流、レクリエーションの拠点となるよう、貴重な緑や景観を保全し、地域の実情や市民のニーズに対応しながら、計画的な整備を推進します。	B	①	建設整備課
089	既に整備の完了している公園については、地域コミュニティの場などとして、幅広い世代が今後も安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、利用者ニーズ・利用状況を踏まえた計画的かつ効率的な施設更新を進めます。	A	①	南北工事事務所

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	記念樹や生け垣用の苗木を配布するほか、緑化・美化活動に取り組む団体に対して花苗を提供することにより緑化の推進に努めるとともに、香良洲高台防災公園や岩田池公園の整備、各公園の清掃・除草等の維持管理を実施することにより、公園緑地の整備に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040927086
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ	75
	関連個別計画		都市都市マスタープラン（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			086	快適な生活空間の形成に向け、緑の持つさまざまな機能を十分踏まえ、長期的な視点に立って、緑地の保全や緑化の推進に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
086-1	都市政策課	記念樹用苗木の配布 ◆申請件数　700件	人生の節目を記念して、記念樹木を配布することにより、市民が愛着を持って育む樹木を増やすと共に、潤いのある美しいまちづくりの推進を図る		H30	436	◎	◎	現状維持
	緑化推進事業		誰	市民	R1	473	○	○	現状維持
			何	緑化の推進	R2	203	○	○	現状維持
086-2	都市政策課	生け垣緑化用苗木の配布 ◆申請件数　10件	生け垣緑化を通し、緑に囲まれた住みよい環境づくりと、災害に強いまちづくりを図る		H30	490	◎	◎	現状維持
	緑化推進事業		誰	市民	R1	294	○	○	現状維持
			何	緑化の推進及び災害に強いまちづくり	R2	220	○	○	現状維持
086-3	都市政策課	ブロック塀等撤去後の生け垣設置費用に対する補助 ◆補助件数　1件	生け垣緑化を通し、緑に囲まれた住みよい環境づくりと、災害に強いまちづくりを図る		H30	0	△	△	現状維持
	緑化推進事業		誰	市民	R1	100	○	○	現状維持
			何	緑化の推進及び災害に強いまちづくり	R2	100	○	○	現状維持
086-4	都市政策課	緑化・美化運動の実施 ◆取り組み団体数　170団体	緑化推進を通し、地域住民が親しめるまちなみが形成し、緑化への関心を図る		H30	5,250	○	○	現状維持
	緑化推進事業		誰	市民	R1	5,511	○	○	現状維持
			何	緑化の推進	R2	5,577	○	○	現状維持
086-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
086-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
086-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

086-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
086-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
086-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
086-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
086-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
086-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
086-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040927087
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ	75
	関連個別計画		都市都市マスタープラン（平成30年度～令和9年度）			
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			087	講習会の開催等や津市緑化基金等を活用した市民の緑化活動への支援により、道路・河川等の公共空間や民有地の公的空間の緑化を推進するとともに、市民の緑化意識の高揚を促進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
087-1	都市政策課	記念樹用苗木の配布 ◆申請件数　700件	人生の節目を記念して、記念樹木を配布することにより、市民が愛着を持って育む樹木を増やすと共に、潤いのある美しいまちづくりの推進を図る		H30	436	◎	◎	現状維持
	緑化推進事業		誰	市民	R1	473	○	○	現状維持
			何	緑化の推進	R2	203	○	○	現状維持
087-2	都市政策課	生け垣緑化用苗木の配布 ◆申請件数　10件	生け垣緑化を通し、緑に囲まれた住みよい環境づくりと、災害に強いまちづくりを図る		H30	490	◎	◎	現状維持
	緑化推進事業		誰	市民	R1	294	○	○	現状維持
			何	緑化の推進及び災害に強いまちづくり	R2	220	○	○	現状維持
087-3	都市政策課	ブロック塀等撤去後の生け垣設置費用に対する補助 ◆補助件数　1件	生け垣緑化を通し、緑に囲まれた住みよい環境づくりと、災害に強いまちづくりを図る		H30	0	△	△	現状維持
	緑化推進事業		誰	市民	R1	100	○	○	現状維持
			何	緑化の推進及び災害に強いまちづくり	R2	100	○	○	現状維持
087-4	都市政策課	緑化・美化運動の実施 ◆取り組み団体数　170団体	緑化推進を通し、地域住民が親しめるまちなみが形成し、緑化への関心を図る		H30	5,250	○	○	現状維持
	緑化推進事業		誰	市民	R1	5,511	○	○	現状維持
			何	緑化の推進	R2	5,577	○	○	現状維持
087-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
087-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
087-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

087-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
087-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
087-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
087-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
087-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
087-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
087-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040927088
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ	75
	関連個別計画					
担当部局			都市計画部、建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			088	都市計画公園については、多くの市民の憩いや交流、レクリエーションの拠点となるよう、貴重な緑や景観を保全し、地域の実情や市民のニーズに対応しながら、計画的な整備を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
088-1	建設整備課	香良洲高台防災公園の整備工事 ◆排水路整備　L=992m	公園空間及び避難場所の確保		H30	74,586	△	○	拡充・充実
	香良洲高台防災公園整備事業		誰	市民が	R1	34,373	△	○	拡充・充実
			何	平常時には憩いの場として、また、発災時には津波からの避難にも活用できる	R2	415,158	○	○	拡充・充実
088-2	建設整備課	岩田池公園の整備工事及び既存公園の改修工事等 ◆擁壁整備　L=23m	自然環境を感じることができる公園空間の確保		H30	8,905	○	○	拡充・充実
	都市公園整備事業		誰	市民が	R1	12,036	○	○	拡充・充実
			何	市街地に残された希少な自然環境を感じる公園空間を利用できる	R2	22,662	○	○	拡充・充実
088-3	建設整備課	駐車場の整備工事 ◆面積　A=15,770㎡	公園利用者の駐車場の確保		H30	8,900	○	○	拡充・充実
	津球場公園整備事業		誰	市民が	R1	56,365	○	○	拡充・充実
			何	公園駐車場を利用できる	R2	86,770	○	◎	廃止
088-4	建設整備課	中勢グリーンパークにおける官民連携事業 ◆事業計画通りの進捗	民間活力を利用した、魅力ある公園空間の確保		H30	14,701	○	○	拡充・充実
	都市公園整備事業		誰	市民が	R1	12,005	○	○	拡充・充実
			何	魅力ある公園空間を利用できる	R2	23	○	○	拡充・充実
088-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
088-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
088-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

088-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
088-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
088-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
088-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
088-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
088-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
088-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040927089
		施策	27	緑化の推進と公園緑地の整備	本冊ページ	75
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			089	既に整備の完了している公園については、地域コミュニティの場などとして、幅広い世代が今後も安全・安心に利用できるよう、適切な維持管理を行うとともに、利用者ニーズ・利用状況を踏まえた計画的かつ効率的な施設更新を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
089-1	南北工事事務所 / 公園維持事業	公園の清掃、除草等の維持管理 ◆適正な維持管理の実施	適正な公園施設の維持管理を行う		H30	173,947	○	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	168,553	○	◎	現状維持
			何	公園利用者の安全かつ快適に利用できるよう、適正な公園施設の維持管理を行う	R2	191,030	○	◎	現状維持
089-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
089-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
089-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
089-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
089-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
089-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

089-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
089-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
089-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
089-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
089-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
089-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
089-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040928
		施策	28	都市機能の整備	本冊ページ	76
	関連個別計画		津市都市マスタープラン、津市教育振興ビジョン前期基本計画			
担当部局			政策財務部、農林水産部、都市計画部			
施策の内容（番号）			090	～	093	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
090	交通利便性が高い津インターチェンジ周辺地区については、各種法令等による土地利用規制があることから、無秩序な開発の抑制に努めつつ、地域の実情に応じた土地利用が可能となるよう、規制緩和と抜本的な法令改正を国・県へ要望します。	B	①	都市政策課
091	都市的サービス、自然や歴史・文化を実感することができる機能及び本市の求心力を高めることができる機能を有した都市的な拠点を配置するほか、住民生活や地域コミュニティの中心となる地域的な拠点等を配置することにより、持続可能な都市を形成します。	B	②	文化振興課/商業振興労政課/津駅前北部土地区画整理事務所/建設整備課/図書館
092	都心活動の南北軸となる国道23号を中心とする地域を都心活動軸として位置付け、都心活動軸においては、都市機能の誘導に努めます。	B	①	都市政策課
093	交流拠点である津インターチェンジ周辺及び津なぎさまち周辺から、都市拠点である津新町駅、大門・丸之内周辺地区へ誘導する都市計画道路津港跡部線を、新都心軸として位置付け、2つの交流拠点と本市中心部である都市拠点との交流機能の充実に努めます。	B	①	都市政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	津インターチェンジ周辺について、地域の実情に応じた土地利用が可能となるよう国・県に対して各種法令等による規制の緩和を要望するほか、地域コミュニティの中心となる久居アルスプラザを整備し、さらには交通量に比して幅員が狭い大谷踏切の拡幅工事等を実施するなど、都市機能の整備に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040928090
		施策	28	都市機能の整備	本冊ページ　76
	関連個別計画		津市都市マスタープラン（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			政策財務部、農林水産部、都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			090	交通利便性が高い津インターチェンジ周辺地区については、各種法令等による土地利用規制があることから、無秩序な開発の抑制に努めつつ、地域の実情に応じた土地利用が可能となるよう、規制緩和と抜本的な法令改正を国・県へ要望します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
090-1	都市政策課 / 津インターチェンジ周辺における土地利用の検討	津インターチェンジ周辺の土地利用について法令改正及び規制緩和を国や県に要望 ◆R2.8.26県政要望	津インターチェンジ周辺の交流機能の充実に資する新たな土地利用が図られる		H30	0	○	△	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	0	○	△	現状維持
			何	圏域内外と交流する	R2	0	○	○	現状維持
090-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
090-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
090-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
090-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
090-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
090-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

090-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
090-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
090-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
090-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
090-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
090-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
090-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040928091
		施策	28	都市機能の整備	本冊ページ　76
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）		
担当部局			都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			091	都市的サービス、自然や歴史・文化を実感することができる機能及び本市の求心力を高めることができる機能を有した都市的な拠点を配置するほか、住民生活や地域コミュニティの中心となる地域的な拠点等を配置することにより、持続可能な都市を形成します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
091-1	文化振興課 / 久居アルスプラザ整備事業（久居駅周辺地区都市再生整備事業）	久居アルスプラザの整備 ◆平成29年度から令和元年度に実施	文化芸術の振興を図るため、文化施設を整備する		H30	390,891	○	○	現状維持
			誰	施設利用者（市内外の人々）が	R1	4,704,801	○	○	現状維持
			何	文化芸術の鑑賞等を通じて、学びや交流を促進する	R2	66,186	○	◎	現状維持
091-2	商業振興労政課 / 駐車場管理運営事業	アスト、フェニックス通り、お城東、ポルタひさい、久居駅東口駐車場の管理・運営 ◆市営駐車場の健全運営	市街地の駐車場需要に対応するため市営駐車場を運営する		H30	170,368	○	○	現状維持
			誰	市内外の自動車利用者の	R1	185,470	○	○	現状維持
			何	駐車需用を充足する。	R2	176,802	△	△	見直し
091-3	津駅前北部土地区画整理事務所 / 津駅前北部土地区画整理事業	道路築造、2件の物件移転補償、換地計画作成業務等の実施 ◆着実な区画整理の推進	幅員の狭い道路の整備や密集市街地を解消することで、道路の利便性、安全性が向上する		H30	436,419	○	○	現状維持
			誰	道路利用者が	R1	41,413	△	○	現状維持
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	31,126	○	○	現状維持
091-4	建設整備課 / 上浜町大谷町第1号線外1路線道路改良事業	大谷踏切の拡幅及び近鉄架道橋拡幅工事 ◆L=150m	狭隘な踏切を移転拡幅し、前後の道路整備も行うことで安全安心な道路空間が確保され安全性が向上する		H30	56,492	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	227,244	○	○	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	296,157	○	○	拡充・充実
091-5	建設整備課 / 久居駅東口整備事業（久居駅周辺地区都市再生整備事業）	市道新町野口線の道路改良工事、久居駅東口広場整備工事等 ◆市道L=320m、広場A=0.7ha	交通処理機能の再編により交通混雑の解消が図られ、利便性、安全性が向上する		H30	366,002	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	747,959	○	◎	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	79,517	○	◎	廃止
091-6	図書館 / 久居ふるさと文学館駐車場整備事業	久居ふるさと文学館の来客者用駐車場の増設のための実施設計、用地購入等 ◆用地購入の実施	久居ふるさと文学館の来客用駐車場を確保する		H30	341	◎	◎	現状維持
			誰	久居ふるさと文学館及び近隣公共施設の利用者が	R1	5,356	◎	◎	現状維持
			何	来館しやすくなる	R2	989	△	×	現状維持
091-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

091-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
091-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
091-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
091-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
091-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
091-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
091-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	②							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040928092
		施策	28	都市機能の整備	本冊ページ　76
	関連個別計画		津市都市マスタープラン（平成30年度～令和9年度）		
担当部局			都市計画部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			092	都心活動の南北軸となる国道23号を中心とする地域を都心活動軸として位置付け、都心活動軸においては、都市機能の誘導に努めます。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
092-1	都市政策課	津駅前北部地区第一種市街地再開発事業の推進 ◆主となる地権者への動向把握　年2回 ◆研修会等を通じた知識習得　年1回	土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の集積・更新が図られる		H30	406,859	○	◎	現状維持
	市街地再開発事業		誰	市内外の人々が	R1	208	○	○	現状維持
			何	居住・来訪したくなる多様で高次な都市機能の集積を戦略的に進める	R2	126	△	○	現状維持
092-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
092-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
092-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
092-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
092-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
092-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

092-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
092-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
092-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
092-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
092-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
092-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
092-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040928093
		施策	28	都市機能の整備	本冊ページ	76
	関連個別計画					
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			093	交流拠点である津インターチェンジ周辺及び津なぎさまち周辺から、都市拠点である津新町駅、大門・丸之内周辺地区へ誘導する都市計画道路津港跡部線を、新都心軸として位置付け、2つの交流拠点と本市中心部である都市拠点との交流機能の充実に努めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
093-1	都市政策課 / レッ津！夢みなとプラン推進事業	津なぎさまち周辺において、海上アクセス拠点・みなとオアシスとしてふさわしい賑わいと交流を生み出すみなとまちづくりに係る調査・研究等の取組 ◆啓発事業1回開催	「レッツ！夢みなとプラン」に基づく港湾整備が実現する		H30	10	○	○	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	0	○	○	現状維持
			何	津なぎさまちの魅力に気付き、利用・交流に繋がる	R2	0	△	○	現状維持
093-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
093-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
093-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
093-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
093-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
093-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

093-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
093-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
093-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
093-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
093-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
093-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
093-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040929
		施策	29	道路ネットワークの整備	本冊ページ　77
	関連個別計画				
担当部局		建設部			
施策の内容（番号）		094	～	095	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
094	市内の幹線道路については、市民ニーズを捉えながら、交通渋滞の緩和、市民の交流や活動の円滑化などにつながるよう、既存の機能を活用しつつ、市域が一体となった都市構造の形成に向け、整備効果を検証し、計画的かつ効率的な道路整備を推進します。	A	①	建設整備課
095	広域的な交通需要に対応し、企業の進出など産業振興を支え、地域経済の活性化を図るため、中勢バイパスの全線開通と交差点改良、部分四車線化による渋滞対策並びに市内の国道及び県道など、広域的な幹線道路等の整備促進を、国・県の関係機関に対して強く働きかけます。	B	①	事業調整室/建設整備課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	事業計画に沿った幹線道路及び生活道路の新設改良工事等を実施するとともに、中勢バイパスの全線4車線化の整備促進に向けた関係機関への要望活動を実施するなど、道路ネットワークの整備に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040929094
		施策	29	道路ネットワークの整備	本冊ページ	77
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			094	市内の幹線道路については、市民ニーズを捉えながら、交通渋滞の緩和、市民の交流や活動の円滑化などにつながるよう、既存の機能を活用しつつ、市域が一体となった都市構造の形成に向け、整備効果を検証し、計画的かつ効率的な道路整備を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
094-1	建設整備課 / 道路新設改良事業	幹線道路及び生活道路の新設改良工事等 ◆事業計画通りの進捗	地域住民の安全性と利便性の向上を図るための安全な道路空間及び道路ネットワークを整備する		H30	826,396	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	517,409	○	○	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	285,756	○	○	拡充・充実
094-2	建設整備課 / 上浜町大谷町第1号線道路改良事業	大谷踏切の拡幅工事等 ◆L=150m	狭隘な踏切を移転拡幅し、前後の道路整備も行うことで安全安心な道路空間が確保され安全性が向上する		H30	56,492	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	227,244	○	○	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	296,157	○	○	拡充・充実
094-3	建設整備課 / 久居駅東口整備事業	新町野口線の道路改良工事、久居駅東口広場整備工事、駐輪場の整備工事等 ◆市道L=320m、広場A=0.7ha	交通処理機能の再編により交通混雑の解消が図られ、利便性、安全性が向上する		H30	366,002	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	747,959	○	◎	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	79,517	○	◎	廃止
094-4	建設整備課 / 半田久居線道路新設改良事業	半田久居線及び雲出野田線道路新設改良工事 ◆半田久居線L=1135m 雲出野田線L=263m	都市計画道路の整備により都市基盤の構築が図られ、利便性、安全性が向上する		H30	26,324	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	39,940	○	○	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	70,748	○	○	拡充・充実
094-5	建設整備課 / 下之川バイパス関連事業	三谷中津線及び脇ヶ野篠ヶ広線道路新設改良工事 ◆三谷中津線L=800m 脇ヶ野篠ヶ広線L=780m	地域間を連絡する道路の整備により市民の交流や活動の円滑化が図られ、利便性、安全性が向上する		H30	425,527	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	192,406	○	○	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	146,093	○	◎	拡充・充実
094-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
094-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

094-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
094-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
094-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
094-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
094-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
094-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
094-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040929095
		施策	29	道路ネットワークの整備	本冊ページ	77
	関連個別計画					
担当部局			建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			095	広域的な交通需要に対応し、企業の進出など産業振興を支え、地域経済の活性化を図るため、中勢バイパスの全線開通と交差点改良、部分四車線化による渋滞対策並びに市内の国道及び県道など、広域的な幹線道路等の整備促進を、国・県の関係機関に対して強く働きかけます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
095-1	建設整備課 / 道路新設改良事業	幹線道路及び生活道路の新設改良工事等 ◆事業計画通りの進捗	地域住民の安全性と利便性の向上を図るための安全な道路空間及び道路ネットワークを整備する		H30	826,396	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	517,409	○	○	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	285,756	○	○	拡充・充実
095-2	建設整備課 / 上浜町大谷町第1号線道路改良事業	大谷踏切の拡幅工事等 ◆L=150m	狭隘な踏切を移転拡幅し、前後の道路整備も行うことで安全安心な道路空間が確保され安全性が向上する		H30	56,492	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	227,244	○	○	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	296,157	○	○	拡充・充実
095-3	建設整備課 / 久居駅東口整備事業	新町野口線の道路改良工事、久居駅東口広場整備工事、駐輪場の整備工事等 ◆市道L=320m、広場A=0.7ha	交通処理機能の再編により交通混雑の解消が図られ、利便性、安全性が向上する		H30	366,002	○	○	拡充・充実
			誰	道路利用者が	R1	747,959	○	◎	拡充・充実
			何	安全安心な交通が確保できる	R2	79,517	○	◎	廃止
095-4	事業調整室 / 中勢バイパス建設促進期成同盟会	中勢バイパスの全線4車線化の整備促進及び予算確保のため関係機関への要望活動を実施する。 ◆時宜を捉えて適宜実施	中勢バイパスにおける建設事業の促進		H30	388	○	○	現状維持
			誰	中勢バイパス利用者が	R1	388	○	○	現状維持
			何	快適に通行できるようになる	R2	388	○	○	現状維持
095-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
095-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
095-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

095-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
095-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
095-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
095-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
095-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
095-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
095-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり	
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード　040930
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ　77
	関連個別計画		第2次津市地域公共交通網形成計画		
担当部局			都市計画部		
施策の内容（番号）			096	～	097

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
096	利用者のニーズや地域ごとの特性を踏まえ、民間路線バスや鉄道、コミュニティバス、地域住民運営主体型の乗合タクシーなどの連携を図り、効率的で利便性の高いコミュニティ交通システムの整備を推進し、利用を促進します。	B	①	交通政策課
097	海上アクセス航路については、三重県、運航事業者、中部国際空港等と連携したPR活動やサービスの向上に取り組み、本市のみならず三重県の海の玄関口として、国内各地さらには世界とを結ぶ広域的な交流連携を図るための機能を強化します。	A	①	交通政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	コミュニティ交通システムの整備、伊勢鉄道の施設整備に対する支援、津なぎさまちの管理運営等の事業を実施し、公共交通の充実に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930096
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画		第2次津市地域公共交通網形成計画（令和2年度～令和6年度）			
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			096	利用者のニーズや地域ごとの特性を踏まえ、民間路線バスや鉄道、コミュニティバス、地域住民運営主体型の乗合タクシーなどの連携を図り、効率的で利便性の高いコミュニティ交通システムの整備を推進し、利用を促進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
096-1	交通政策課	コミュニティ交通システムの整備 ◆計画に基づく交通網の整備	令和2年3月31日に策定した第2次津市地域公共交通網形成計画に基づき、市民の日常生活に必要な移動手段を確保するとともに、機能的かつ効率的な公共交通網の整備の推進及び利用促進を図る		H30	260,913	○	○	現状維持
	交通政策関係事業		誰	市民	R1	254,669	○	○	現状維持
			何	日常生活に必要な移動手段を確保する	R2	234,486	○	○	現状維持
096-2	交通政策課	伊勢鉄道の施設設備の整備に対する支援 ◆必要に応じた適切な支援の実施	伊勢鉄道株式会社が安全運行を確保し、自律的経営を継続していくため、施設設備の整備に対する支援を県と沿線等15市町で行う		H30	0	○	○	現状維持
	伊勢鉄道支援事業		誰	伊勢鉄道株式会社	R1	0	○	○	現状維持
			何	安全運行と自律的経営の継続	R2	0	○	○	現状維持
096-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
096-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
096-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
096-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
096-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

096-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
096-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
096-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
096-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
096-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
096-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
096-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930097
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画		第2次津市地域公共交通網形成計画（令和2年度～令和6年度）			
担当部局			都市計画部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			097	海上アクセス航路については、三重県、運航事業者、中部国際空港等と連携したPR活動やサービスの向上に取り組み、本市のみならず三重県の海の玄関口として、国内各地さらには世界とを結ぶ広域的な交流連携を図るための機能を強化します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
097-1	交通政策課 / 津なぎさまち管理運営事業	航路の維持向上 ◆計画に基づく航路の維持	令和2年3月31日に策定した第2次津市地域公共交通網形成計画に基づき、中部国際空港への海の玄関口である「津なぎさまち」について、国際線とも連携した交流拠点としての機能を踏まえ、海を活かした景観形成や海の玄関口としての観光振興への取組を推進する		H30	59,502	○	○	現状維持
			誰	施設利用者	R1	60,309	○	○	現状維持
			何	海上アクセス事業の継続	R2	93,965	◎	◎	現状維持
097-2	交通政策課 / 伊勢湾ヘリポート管理運営事業	ヘリポートの活用 ◆指定管理者による適正な管理運営の実施	指定管理者制度により、津市伊勢湾ヘリポートの効率的で、安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行う		H30	1,521	○	○	現状維持
			誰	航空交通事業者	R1	6,765	○	○	現状維持
			何	ヘリポートの効率的で、安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行う	R2	1,410	○	○	現状維持
097-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
097-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
097-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
097-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
097-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

097-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
097-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
097-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
097-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
097-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
097-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
097-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード　051031
		施策	31	生涯学習の推進	本冊ページ　80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局			政策財務部、教育委員会		
施策の内容（番号）			098 ～ 100		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
098	生涯学習の拠点としての歴史を持つ公民館は、教養の向上や健康の増進等といった従来の目的に加え、人々が集いつながり合う「人と人をつなぐ機能」を発揮し、市民による地域の課題解決に向けた自主的な活動の拠点として、地域特性や実情に応じたきめ細かな公民館の運営を図り、生涯を通じて学び、活躍する市民を支えます。	B	①	生涯学習課
099	多世代の人に公民館や図書館などを気軽で安全に利用していただけるよう、公民館における魅力的な講座機能の充実に加え、図書館サービスのさらなる強化を通じた拠点機能・人材育成機能を充実します。また、老朽化した公民館施設においては、利用者に安全・安心かつ快適な環境が提供できるよう、計画的に施設の改修整備を進めます。	C	①	生涯学習課／図書館
100	生涯を通じて人権教育などについて学ぶ機会を提供するため、幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校等の保護者を対象とした人権教育研修会や、地域住民を対象とした人権教育研修を実施します。	A	①	人権教育課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	公民館や図書館の施設整備を実施するほか、市内各所で市民を対象とした人権啓発のための講演会を実施するなど、生涯学習の推進に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード	051031098
		施策	31	生涯学習の推進	本冊ページ	80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			政策財務部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			098	生涯学習の拠点としての歴史を持つ公民館は、教養の向上や健康の増進等といった従来の目的に加え、人々が集いつながり合う「人と人をつなぐ機能」を発揮し、市民による地域の課題解決に向けた自主的な活動の拠点として、地域特性や実情に応じたきめ細かな公民館の運営を図り、生涯を通じて学び、活躍する市民を支えます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
098-1	生涯学習課	旧修成幼稚園を橋南公民館として活用するための施設改修、旧公民館解体工事、駐車場工事（一身田） ◆改修工事の実施	公民館利用者の利便性を向上させる		H30				
	公民館施設整備事業		誰	橋南公民館利用者及び一身田公民館利用者	R1	41,340	○	△	現状維持
			何	施設を利用しやすくなり、公民館活動が充実する	R2	124,735	○	△	現状維持
098-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
098-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
098-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
098-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
098-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
098-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

098-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
098-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
098-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
098-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
098-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
098-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
098-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	―	B	B							
今後の方向性	―	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード	051031099
		施策	31	生涯学習の推進	本冊ページ	80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			099	多世代の人に公民館や図書館などを気軽で安全に利用していただけるよう、公民館における魅力的な講座機能の充実に加え、図書館サービスのさらなる強化を通じた拠点機能・人材育成機能を充実します。また、老朽化した公民館施設においては、利用者に安全・安心かつ快適な環境が提供できるよう、計画的に施設の改修整備を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	事業の評価：実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
099-1	図書館 / 久居ふるさと文学館駐車場整備事業	久居ふるさと文学館の来客者用駐車場の増設のための実施設計、用地購入等 ◆用地購入の実施	久居ふるさと文学館の来客用駐車場を確保する		H30	341	◎	◎	現状維持
			誰	久居ふるさと文学館及び近隣公共施設の利用者が	R1	5,356	◎	◎	現状維持
			何	来館しやすくなる	R2	989	△	×	現状維持
099-2	生涯学習課 / 公民館施設整備事業	旧修成幼稚園を橋南公民館として活用するための施設改修、旧公民館解体工事、駐車場工事（一身田） ◆改修工事の実施	安全・安心かつ快適な利用環境の整備		H30				
			誰	橋南公民館利用者及び一身田公民館利用者	R1	41,340	○	△	現状維持
			何	長期的に安心して公民館活動を行うことで利用者の増加に繋がる	R2	124,735	○	△	現状維持
099-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
099-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
099-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
099-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
099-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

099-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
099-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
099-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
099-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
099-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
099-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
099-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード	051031100
		施策	31	生涯学習の推進	本冊ページ	80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			100	生涯を通じて人権教育などについて学ぶ機会を提供するため、幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校等の保護者を対象とした人権教育研修会や、地域住民を対象とした人権教育研修を実施します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
100-1	人権教育課	市内各所において、市民を対象に人権啓発のための講演会の実施 ◆個別の人権課題や今日的な人権課題、自らの意識や考えを振り返ることができるテーマを設定して実施	子どもたちを取り巻く大人の人権意識の向上		H30	1,812	◎	◎	拡充・充実
	人権教育講演会事業		誰	幼児・児童生徒・市民	R1	1,686	○	◎	拡充・充実
			何	市内各地域で、子どもたちを取り巻く大人の人権意識の向上を図るため	R2	1,505	○	◎	拡充・充実
100-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
100-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
100-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
100-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
100-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
100-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

100-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
100-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
100-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
100-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
100-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
100-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
100-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード　051032
		施策	32	高等教育機関との連携・充実	本冊ページ　80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局			政策財務部、三重短期大学		
施策の内容（番号）			101	～	102

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
101	高等教育機関が有する知的資源を活用し、地域の産業、文化、教育等の振興につなげるとともに、地域を支える人材の育成や若者の本市への定住、新しい事業の創出等に向けた、産学官の連携を推進します。	A	①	生涯学習課
102	三重短期大学は、今後の社会経済情勢に対応しながら、人材や地域とのつながりを育み、地域に根付き地域に開かれた高等教育機関としての役割を果たしていきます。	E	①	大学総務課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C	社会教育機関及び学識経験者の協力を得て様々な専門講座を開催するとともに、地域開放型の地域連携講座及びオープンカレッジを実施し、高等教育機関との連携・充実に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域連携講座及びオープンカレッジを開催することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード	051032101
		施策	32	高等教育機関との連携・充実	本冊ページ	80
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			政策財務部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			101	高等教育機関が有する知的資源を活用し、地域の産業、文化、教育等の振興につなげるとともに、地域を支える人材の育成や若者の本市への定住、新しい事業の創出等に向けた、産学官の連携を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
101-1	生涯学習課	専門化・高度化する市民の学習ニーズへ対応するため、社会教育機関及び高度な学識経験者にご協力いただき、様々なテーマの専門講座を開催する ◆年2回実施	皇學館大学等の高等教育機関及び社会教育機関と連携し、歴史講座、文学講座などを開催する		H30	15	○	◎	現状維持
	生涯学習講座開催事業		誰	市内の人々が	R1	30	○	◎	現状維持
			何	専門講座を受講できる機会が増える	R2	30	○	◎	現状維持
101-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
101-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
101-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
101-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
101-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
101-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

101-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
101-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
101-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
101-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
101-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
101-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
101-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	10	生涯を通じた学びの推進	管理コード	051032102
		施策	32	高等教育機関との連携・充実	本冊ページ	80
	関連個別計画					
担当部局			三重短期大学			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			102	三重短期大学は、今後の社会経済情勢に対応しながら、人材や地域とのつながりを育み、地域に根付き地域に開かれた高等教育機関としての役割を果たしていきます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
102-1	大学総務課	地方自治体等と連携した政策研究研修の実施、地域のシンクタンク機能の充実による地域貢献の推進や地域開放型の地域連携講座等開催 ◆オープンカレッジ・地域連携講座の実施	生涯学習機会の増加、地域社会が求める人材の養成、市民文化の向上、地域・産業の活性化		H30	781	◎	◎	現状維持
	地域貢献推進事業		誰	地域社会や住民	R1	677	◎	◎	現状維持
			何	地域問題の解決や生涯学習の振興に資する高等教育の受講機会等の増加	R2	521	×	×	現状維持
102-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
102-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
102-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
102-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
102-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
102-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

102-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
102-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
102-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
102-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
102-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
102-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
102-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	E

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	E							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	102-1
担当課名	大学総務課
事業名	地域貢献推進事業
事業の内容	地方自治体等と連携した政策研究研修の実施、地域のシンクタンク機能の充実による地域貢献の推進や地域開放型の地域連携講座等開催
当初の事業実施計画	※転記
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、地域貢献推進事業における「地域連携講座」及び「オープンカレッジ」の開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051133
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ	83
	関連個別計画		津市スポーツ施設整備基本構想			
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（番号）			103	～	106	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
103	スポーツ教室や講座、地域に一体感をもたらす運動会等のイベント開催を積極的に進め、スポーツの裾野を広げるとともに、地域で活躍するスポーツ推進委員や指導者等の人材育成・確保に加え、市ホームページ等の多様な広報媒体を活用し、スポーツイベントに関する積極的な情報発信を進めます。	D	①	スポーツ振興課/総務企画課
104	スポーツ関係団体の活動を支援することにより、指導者の育成と競技スポーツを奨励し、競技力の向上を図ります。	E	②	スポーツ振興課
105	スポーツ施設については、平成30年（2018年）のインターハイ（全国高等学校総合体育大会）、平成33年（2021年）の三重とこわか国体（第76回国民体育大会）及び三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）に向けた競技会場としての機能を整えるとともに、これを契機とした市民のニーズや団体のスポーツ振興のあり方などを踏まえながら計画的な整備を進めます。	B	①	スポーツ振興課/総務企画課
106	スポーツ施設の積極的かつ有効な活用を図り利用を促進するとともに、民間活力も積極的に導入し、効果的・効率的な管理運営を行います。	B	①	スポーツ振興課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C	各スポーツ施設の整備・改修、スポーツ協会やスポーツ少年団等に対する事業補助、スポーツ教室や各種スポーツ大会の開催等を実施し、スポーツの振興に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会を開催することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051133103
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ	83
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			103	スポーツ教室や講座、地域に一体感をもたらす運動会等のイベント開催を積極的に進め、スポーツの裾野を広げるとともに、地域で活躍するスポーツ推進委員や指導者等の人材育成・確保に加え、市ホームページ等の多様な広報媒体を活用し、スポーツイベントに関する積極的な情報発信を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	事業の評価 実施評価（計画通り実施したか）	事業の評価 事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
103-1	スポーツ振興課 / スポーツ団体等活性化事業	スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図るため、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ・レクリエーション協会、地区体育振興会等の事業補助 ◆補助80件	スポーツ振興団体が、補助金を活用し、スポーツ・レクリエーション事業を実施する		H30	32,699	○	○	現状維持
			誰	スポーツ振興団体が	R1	32,551	○	○	現状維持
			何	スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図る	R2	28,473	△	△	現状維持
103-2	スポーツ振興課 / 少年少女レスリング選手権大会事業	「レスリング世界王者の故郷」として津市を全国に発信するジュニアレスリング大会を開催 ◆参加者800人	県内外のジュニアレスリング選手たちが、津市少年少女レスリング選手権大会に参加する		H30	5,112	○	○	現状維持
			誰	県内外のジュニアレスリング選手たちが	R1	5,112	○	○	現状維持
			何	市内選手の競技力向上、レスリング競技の普及・推進を図る	R2	2,590	×	×	現状維持
103-3	スポーツ振興課 / 津シティマラソン振興事業	サオリーナを発着点として市街地を駆け抜ける津シティマラソン大会を開催 ◆参加者4,000人	津シティマラソン実行委員会が、補助金を活用し、津シティマラソン大会を開催する		H30	16,613	○	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	13,225	○	◎	現状維持
			何	津シティマラソンに参加し、津市を知ってもらうとともに、健康増進につなげてもらう	R2	1,079	×	×	現状維持
103-4	スポーツ振興課 / スポーツ競技力向上事業	三重とこわか国体に向け、競技力の向上を図るため、スポーツ教室等の実施に加え「ステップアップスクールin津」等を開催 ◆参加者14,000人	市内の人々が、スポーツ教室等に参加する		H30	11,923	○	○	現状維持
			誰	市内の人々が	R1	11,923	○	○	現状維持
			何	スポーツ教室等に参加し、競技力の向上につなげてもらう	R2	11,923	△	△	現状維持
103-5	総務企画課 / 三重とこわか国体・三重とこわか大会準備事業	三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備及び三重とこわか国体のリハーサル大会開催に係る経費の負担 ◆9競技11種目の開催	三重とこわか国体・三重とこわか大会津市実行員会が、負担金を活用し、三重とこわか国体を開催する		H30	20,967	○	◎	拡充・充実
			誰	広く国民の間に	R1	29,935	○	◎	拡充・充実
			何	スポーツの普及、体力の向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与する	R2	22,979	×	×	拡充・充実
103-6	総務企画課 / 全国高等学校総合体育大会開催事業	「2018　彩る感動　東海総体」開催負担金 ◆5競技の開催	全国高校総体津市実行委員会が、負担金を活用し、全国高等学校総合体育大会を開催する		H30	191,229	◎	◎	廃止
			誰	高等学校生徒に	R1	0			
			何	技能の向上、スポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成する	R2	0			
103-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

103-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
103-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
103-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
103-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
103-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
103-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
103-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	D

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	D							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	103-1
担当課名	スポーツ振興課
事業名	スポーツ団体等活性化事業
事業の内容	スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図るため、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ・レクリエーション協会、地区体育振興会等の事業補助
当初の事業実施計画	補助80件
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、スポーツ団体等活性化事業については多くの大会等が中止され、補助申請が減少したことから、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	103-2
担当課名	スポーツ振興課
事業名	少年少女レスリング選手権大会事業
事業の内容	「レスリング世界王者の故郷」として津市を全国に発信するジュニアレスリング大会を開催
当初の事業実施計画	参加者800人
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、少年少女レスリング選手権大会事業については大会の開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	103-3
担当課名	スポーツ振興課
事業名	津シティマラソン振興事業
事業の内容	サオリーナを発着点として市街地を駆け抜ける津シティマラソン大会を開催
当初の事業実施計画	参加者4,000人
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、津シティマラソン振興事業については大会の開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	103-4
担当課名	スポーツ振興課
事業名	スポーツ競技力向上事業
事業の内容	三重とこわか国体に向け、競技力の向上を図るため、スポーツ教室等の実施に加え「ステップアップスクールin津」等を開催
当初の事業実施計画	参加者14,000人
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、スポーツ競技力向上事業については大会及び教室の開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	103-5
担当課名	総務企画課
事業名	三重とこわか国体・三重とこわか大会準備事業
事業の内容	三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備及び三重とこわか国体のリハーサル大会開催に係る経費の負担
当初の事業実施計画	９競技１１種目の開催
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、三重とこわか国体の全てのリハーサル大会（５競技６種目）を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051133104
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ	83
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			104	スポーツ関係団体の活動を支援することにより、指導者の育成と競技スポーツを奨励し、競技力の向上を図ります。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
104-1	スポーツ振興課 / スポーツ競技力向上事業	三重とこわか国体に向け、競技力の向上を図るため、スポーツ教室等の実施に加え「ステップアップスクールin津」等を開催 ◆参加者14,000人	市内の人々が、スポーツ教室等に参加する		H30	11,923	○	○	現状維持
			誰	市内の人々が	R1	11,923	○	○	現状維持
			何	スポーツ教室等に参加し、競技力の向上につなげてもらう	R2	11,923	△	△	現状維持
104-2	スポーツ振興課 / 全国高等学校野球選手権大会等奨励金事業	スポーツの振興及び競技力の向上並びに全国への情報発信を図るため、甲子園大会出場校等に対する奨励金の交付 ◆交付1件	甲子園大会出場校等が、大会出場に係る報奨金を受け取る		H30	3,000	○	○	現状維持
			誰	甲子園大会出場校等が	R1	0	×	×	現状維持
			何	出場大会で活躍することにより、市民に夢や感動を与えることができる	R2	0	×	×	現状維持
104-3	スポーツ振興課 / スポーツ奨励補助事業	全国大会等に出場する選手の参加費、交通費等に対する補助 ◆補助400件	全国大会等に出場する選手が、大会出場に係る補助金を受け取る		H30	14,562	○	○	現状維持
			誰	全国大会等に出場する選手が	R1	13,551	○	○	現状維持
			何	大会に参加しやすい環境を整え、ひいては市のスポーツの競技力向上につながる	R2	1,347	×	×	見直し
104-4	スポーツ振興課 / 少年少女レスリング選手権大会事業	「レスリング世界王者の故郷」として津市を全国に発信するジュニアレスリング大会を開催 ◆参加者800人	県内外のジュニアレスリング選手たちが、津市少年少女レスリング選手権大会に参加する		H30	5,112	○	○	現状維持
			誰	県内外のジュニアレスリング選手たちが	R1	5,112	○	○	現状維持
			何	市内選手の競技力向上、レスリング競技の普及・推進を図る	R2	2,590	×	×	現状維持
104-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
104-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
104-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

104-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
104-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
104-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
104-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
104-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
104-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
104-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	E

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	C	E							
今後の方向性	①	①	②							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	104-1
担当課名	スポーツ振興課
事業名	スポーツ競技力向上事業
事業の内容	三重とこわか国体に向け、競技力の向上を図るため、スポーツ教室等の実施に加え「ステップアップスクールin津」等を開催
当初の事業実施計画	参加者14,000人
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、スポーツ競技力向上事業については大会及び教室の開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	104-2
担当課名	スポーツ振興課
事業名	全国高等学校野球選手権大会等奨励金事業
事業の内容	スポーツの振興及び競技力の向上並びに全国への情報発信を図るため、甲子園大会出場校等に対する奨励金の交付
当初の事業実施計画	交付1件
対象年度	令和元年度
不可抗力	対象者なし
理由	市内の高等学校が全国高等学校野球選手権大会等に出場しなかったことから、全国高等学校野球選手権大会等奨励金事業については対象者がなくなったため、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	104-2
担当課名	スポーツ振興課
事業名	全国高等学校野球選手権大会等奨励金事業
事業の内容	スポーツの振興及び競技力の向上並びに全国への情報発信を図るため、甲子園大会出場校等に対する奨励金の交付
当初の事業実施計画	交付1件
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の影響により全国高等学校野球選手権大会等が中止となったことから、全国高等学校野球選手権大会等奨励金事業については対象者がなくなったため、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	104-3
担当課名	スポーツ振興課
事業名	スポーツ奨励補助事業
事業の内容	全国大会等に出場する選手の参加費、交通費等に対する補助
当初の事業実施計画	補助400件
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、スポーツ奨励補助事業については多くの大会が中止され、補助申請が減少したことから、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	104-4
担当課名	スポーツ振興課
事業名	少年少女レスリング選手権大会事業
事業の内容	「レスリング世界王者の故郷」として津市を全国に発信するジュニアレスリング大会を開催
当初の事業実施計画	参加者800人
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、少年少女レスリング選手権大会事業については大会の開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード　051133105
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ　83
	関連個別計画		津市スポーツ施設整備基本構想（平成22年度～令和2年度）		
担当部局			スポーツ文化振興部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			105	スポーツ施設については、平成30年（2018年）のインターハイ（全国高等学校総合体育大会）、平成33年（2021年）の三重とこわか国体（第76回国民体育大会）及び三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）に向けた競技会場としての機能を整えるとともに、これを契機とした市民のニーズや団体のスポーツ振興のあり方などを踏まえながら計画的な整備を進めます。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
105-1	スポーツ振興課 / 津球場公園内野球場改修事業	メインスタンド棟諸室・設備改修、内外野スタンド改修工事 ◆R3年改修工事完了	三重とこわか国体参加者及びその後の利用者に、安全、安心かつ快適な競技運営環境を提供できる		H30	5,141	○	◎	現状維持
			誰	三重とこわか国体出場者、関係者及びその後の利用者が	R1	15,180	○	◎	現状維持
			何	安心、安全かつ快適に競技運営ができる	R2	243,546	○	◎	現状維持
105-2	スポーツ振興課 / 新テニスコート整備事業	12面の屋外テニスコート及び管理等整備工事 ◆R3年供用開始	市内最大規模（12面）のテニスコート新設により、市内テニス競技の拠点施設となる施設環境を提供できる		H30	47,672	○	◎	現状維持
			誰	テニスコート利用者が	R1	88,052	○	◎	現状維持
			何	市民大会、トーナメントの開催など含め、安全、安心かつ快適に利用できる	R2	844,588	○	◎	現状維持
105-3	スポーツ振興課 / 既存スポーツ施設整備事業	三重とこわか国体・三重とこわか大会の競技会場となる安濃中央総合公園内体育館、芸濃総合文化センター内アリーナ、一志体育館の改修工事 ◆R2年改修工事完了	三重とこわか国体参加者及びその後の利用者に、安全、安心かつ快適な競技運営環境を提供できる		H30	2,689	○	◎	現状維持
			誰	三重とこわか国体出場者、関係者及びその後の利用者が	R1	84,932	○	◎	現状維持
			何	安心、安全かつ快適に競技運営ができる	R2	22,024	○	◎	現状維持
105-4	スポーツ振興課 / スポーツ施設整備事業	（仮称）津市スポーツ施策整備計画の策定 ◆R4年策定	三重とこわか国体・大会終了後のスポーツ振興に対する考え方、市民のニーズ等を踏まえた施設整備の方向性を示す		H30	－			
			誰	施設利用者に	R1	－			
			何	将来にわたり安心、安全かつ快適に利用するための方針を示す	R2	0	○	◎	現状維持
105-5	総務企画課 / 三重とこわか国体・三重とこわか大会準備事業	三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備及び三重とこわか国体のリハーサル大会開催に係る経費の負担 ◆9競技11種目の開催	三重とこわか国体・三重とこわか大会津市実行員会が、負担金を活用し、三重とこわか国体を開催する		H30	20,967	○	◎	拡充・充実
			誰	広く国民の間に	R1	29,935	○	◎	拡充・充実
			何	スポーツの普及、体力の向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与する	R2	22,979	×	×	拡充・充実
105-6	総務企画課 / 全国高等学校総合体育大会開催事業	「2018　彩る感動　東海総体」開催負担金 ◆5競技の開催	全国高校総体津市実行委員会が、負担金を活用し、全国高等学校総合体育大会を開催する		H30	191,229	◎	◎	廃止
			誰	高等学校生徒に	R1	0			
			何	技能の向上、スポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成する	R2	0			
105-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

105-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
105-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
105-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
105-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
105-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
105-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
105-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	105-5
担当課名	総務企画課
事業名	三重とこわか国体・三重とこわか大会準備事業
事業の内容	三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催準備及び三重とこわか国体のリハーサル大会開催に係る経費の負担
当初の事業実施計画	９競技１１種目の開催
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、三重とこわか国体の全てのリハーサル大会（５競技６種目）を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051133106
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ	83
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			106	スポーツ施設の積極的かつ有効な活用を図り利用を促進するとともに、民間活力も積極的に導入し、効果的・効率的な管理運営を行います。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
106-1	スポーツ振興課	産業・スポーツセンター、津地域、安濃地域運動施設について、指定管理者による管理運営及び津市民テニスコートにおいて指定管理者制度の導入 ◆産業・スポーツセンター、津地域、安濃地域運動施設、津市民テニスコートについて、指定管理者による管理運営を行う	運動施設の管理運営において、指定管理者制度を導入することで民間事業者のノウハウを活用することができる		H30	259,259	○	○	拡充・充実
	運動施設維持管理事業ほか（指定管理者制度）		誰	運動施設利用者が	R1	251,569	○	○	拡充・充実
			何	民間事業者のノウハウを活用することで効果的・効率的な管理により、安全、安心に施設が利用できる	R2	245,528	○	○	拡充・充実
106-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
106-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
106-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
106-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
106-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
106-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

106-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
106-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
106-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
106-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
106-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
106-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
106-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード　051134
		施策	34	文化の振興	本冊ページ　84
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画		
担当部局			スポーツ文化振興部、教育委員会		
施策の内容（番号）			107	～	110

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
107	音楽、美術、演劇、舞踊、映画、能楽など多彩な文化芸術の鑑賞機会や市民の学び・創作・発表の場及び機会を創出するとともに、関係機関と連携を図り、文化芸術の創造を担うリーダーや若い世代の育成に加え、効果的な情報発信を行い、市民が主体的に参加する活動の輪を広げます。	D	②	文化振興課
108	各地域における文化ホールなどの文化施設は、地域や施設の特性に応じた効率的な維持管理を行いながら、より利便性が高い利用形態への見直しや民間の専門的なノウハウの導入を図り、実演芸術の振興を核として公演の企画運営等を行い、芸術文化の創造・発信拠点としての機能を強化します。	B	①	文化振興課
109	地域の伝統文化や伝統芸能の保存継承、普及に向けて、市民の発表や学習の場を創出し、後継者を育成します。	E	①	文化振興課
110	歴史資料等については、発掘・収集、適切かつ効率的な保存・管理に努め、積極的な活用・情報発信による地域内外の文化交流を進めます。	B	①	生涯学習課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C	市民文化祭や美術展覧会等の開催、総合文化誌の発行、文化ホール等の管理運営、基金を活用した文化活動に対する補助等を行うほか、久居アルスプラザにおいては指定管理者による自主事業を開催しています。また、市内に存する指定文化財の保護に対する補助や多気北畠氏遺跡の学術調査を実施するなど文化の振興に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民文化祭等の事業を実施することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134107
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			107	音楽、美術、演劇、舞踊、映画、能楽など多彩な文化芸術の鑑賞機会や市民の学び・創作・発表の場及び機会を創出するとともに、関係機関と連携を図り、文化芸術の創造を担うリーダーや若い世代の育成に加え、効果的な情報発信を行い、市民が主体的に参加する活動の輪を広げます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果	誰のための事業か / 何のための事業か	年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
107-1	文化振興課 / 市民文化祭等開催事業	市内文化施設にて市民文化祭を開催 ◆事業数30事業	実行委員会が、市民の芸術創作・発表の場を提供し、成果を発信する		H30	2,087	○	○	現状維持
				誰：市内外の人々が	R1	1,786	△	○	現状維持
				何：事業への参加を通じた芸術創作活動の活発化	R2	428	×	×	現状維持
107-2	文化振興課 / 美術展覧会開催事業	美術展覧会の開催 ◆作品出品数250点	実行委員会が、市民の芸術創作・発表の場を提供し、成果を発信する		H30	4,336	◎	◎	現状維持
				誰：市内外の人々が	R1	3,943	○	◎	現状維持
				何：出品や鑑賞をすることにより、市民文化の向上を図る	R2	4,169	◎	◎	現状維持
107-3	文化振興課 / 津市民薪能開催事業	伝統芸能鑑賞会として市民薪能を開催 ◆参加者数400人	実行委員会が、歴史的資源を活用し、薪能を開催する		H30	1,632	◎	◎	現状維持
				誰：市内外の人々が	R1	1,234	○	◎	現状維持
				何：事業の鑑賞を通じて伝統芸能への関心を高める	R2	0	×	×	現状維持
107-4	文化振興課 / 文化振興基金事業	基金を活用した文化活動に対する補助等 ◆申請件数5件	基金の補助採択者が、補助金を活用し、催し物などを行う		H30	780	○	○	現状維持
				誰：市民及び市内団体が	R1	436	○	△	現状維持
				何：文化芸術の発表などの活動をしやすくする	R2	0	○	×	現状維持
107-5	文化振興課 / 霧山薪能開催事業	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催 ◆参加者数350人	実行委員会が、歴史的資源を活用し、薪能などを開催する		H30	2,200	×	×	現状維持
				誰：市内外の人々が	R1	2,700	○	◎	現状維持
				何：事業の鑑賞を通じて歴史や北畠氏館跡庭園などへの関心を高める	R2	0	×	×	現状維持
107-6	文化振興課 / 郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業	各地域に伝わる郷土芸能や食文化を主とした物産を一同に集め、郷土の歴史や文化を紹介するフェスティバルを市内各地域で年1回開催 ◆参加団体数15団体	実行委員会が、各地域の郷土芸能や食文化を生かしたフェスティバルを開催する		H30	1,043	◎	◎	現状維持
				誰：市内外の人々が	R1	918	◎	◎	現状維持
				何：郷土芸能への関心を高め、地域交流を深める	R2	165	×	×	現状維持
107-7	文化振興課 / 文化振興推進等事業	市民の文化芸術活動への取組みの契機と、今後の文化創造のきっかけ及び担い手の育成に向けた講座等を開催 ◆講座20回、舞台発表1回	事業受託者が、白山総合文化センターやその周辺の環境を活かし、講座や舞台発表を行う		H30	1,340	○	◎	現状維持
				誰：事業に参加した子どもたちが	R1	1,340	○	◎	現状維持
				何：将来の文化芸術を担う人材となる	R2	138	×	×	見直し

施策の内容評価シート（令和２年度分）

107-8	文化振興課	青少年が早い時期から文化やホールに親しむ機会を提供することにより若い世代の育成につながるようホールイベントを開催 ◆参加団体数12団体	実行委員会が、文化ホールを活用し、津市青少年文化芸術祭を開催する		H30	700	○	○	現状維持
	青少年文化創造拠点形成事業		誰	市内の小学生、中学生、高校生が	R1	700	◎	◎	現状維持
			何	文化ホールへの親しみが生まれ、文化芸術活動への意欲が高まる	R2	175	×	×	現状維持
107-9	文化振興課	総合文化誌「津市民文化」を発行 ◆年1回発行	津市民文化編集委員会が、企画・編集を行い、市が発行する		H30	885	◎	◎	現状維持
	津市民文化発行事業		誰	市内外の人々が	R1	948	◎	◎	現状維持
			何	津市の文化について知識を広め、文芸部門の発表の場とする	R2	983	○	◎	現状維持
107-10					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
107-11					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
107-12					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
107-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
107-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	D

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	D							
今後の方向性	①	①	②							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	107-1
担当課名	文化振興課
事業名	市民文化祭等開催事業
事業の内容	市内文化施設にて市民文化祭の開催
当初の事業実施計画	事業数30事業
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、市民文化祭等開催事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	107-3
担当課名	文化振興課
事業名	津市民薪能開催事業
事業の内容	伝統芸能鑑賞会として市民薪能を開催
当初の事業実施計画	参加者数400人
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、津市民薪能開催事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	107-4
担当課名	文化振興課
事業名	文化振興基金事業
事業の内容	基金を活用した文化活動に対する補助等
当初の事業実施計画	申請件数5件
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	文化振興基金事業については、当初の事業実施計画どおり５件の申請があり、いずれも交付決定を行ったものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、すべての補助金交付対象事業が中止となったことにより、事業評価が測定できなかった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	107-5
担当課名	文化振興課
事業名	霧山薪能開催事業
事業の内容	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催
当初の事業実施計画	参加者数350人
対象年度	平成30年度
不可抗力	台風による警報発令
理由	霧山薪能開催事業については、本番直前に台風接近による警報の発令により中止となったため、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	107-5
担当課名	文化振興課
事業名	霧山薪能開催事業
事業の内容	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催
当初の事業実施計画	参加者数350人
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、霧山薪能開催事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	107-6
担当課名	文化振興課
事業名	郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業
事業の内容	各地域に伝わる郷土芸能や食文化を主とした物産を一同に集め、郷土の歴史や文化を紹介するフェスティバルを市内各地域で年１回開催
当初の事業実施計画	参加団体数15団体
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	107-7
担当課名	文化振興課
事業名	文化振興推進等事業
事業の内容	市民の文化芸術活動への取組みの契機と、今後の文化創造のきっかけ及び担い手の育成に向けた講座等を開催
当初の事業実施計画	年20回講座、舞台発表1回
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、文化振興推進等事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	107-8
担当課名	文化振興課
事業名	青少年文化創造拠点形成事業
事業の内容	青少年が早い時期から文化やホールに親しむ機会を提供することにより若い世代の育成につながるようホールイベントを開催
当初の事業実施計画	参加団体数12団体
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、青少年文化創造拠点形成事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134108
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			108	各地域における文化ホールなどの文化施設は、地域や施設の特性に応じた効率的な維持管理を行いながら、より利便性が高い利用形態への見直しや民間の専門的なノウハウの導入を図り、実演芸術の振興を核として公演の企画運営等を行い、芸術文化の創造・発信拠点としての機能を強化します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
108-1	文化振興課	津リージョンプラザの管理運営 ◆利用率60%	施設の効率的、効果的な維持運営管理を行う		H30	103,681	◎	◎	現状維持
	津リージョンプラザ管理運営事業		誰	施設利用者（市内外の人々）が	R1	105,985	○	○	現状維持
			何	教育、文化等の向上、健康並びに福祉の増進を図る場を提供する	R2	91,306	△	△	現状維持
108-2	文化振興課	久居アルスプラザの管理運営 ◆利用率70%	指定管理者制度を導入し、施設の効率的、効果的な維持運営管理を行う		H30	－			
	久居アルスプラザ管理運営事業		誰	施設利用者（市内外の人々）が	R1	－			
			何	文化芸術の振興を図り、もって地域の再生及び活性化につながる場を提供する	R2	188,859	○	◎	現状維持
108-3	文化振興課	久居アルスプラザ指定管理者による自主事業の開催 ◆事業実施数44事業（R2年度から）	久居アルスプラザ指定管理者が、文化芸術に関する自主事業を開催する		H30	－			
	久居アルスプラザ管理運営業務		誰	市内外の人々が	R1	－			
			何	文化芸術の鑑賞等を通じて、学びや交流を促進するとともに、文化の創造と発信を行う	R2	（指定管理料に含む）	×	◎	拡充・充実
108-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
108-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
108-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
108-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

108-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
108-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
108-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
108-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
108-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
108-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
108-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	108-3
担当課名	文化振興課
事業名	久居アルスプラザ管理運営業務
事業の内容	久居アルスプラザ指定管理者による自主事業の開催
当初の事業実施計画	事業実施数44事業（R2年度から）
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、計画していた自主事業44事業のうち、25事業が中止となり、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134109
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			109	地域の伝統文化や伝統芸能の保存継承、普及に向けて、市民の発表や学習の場を創出し、後継者を育成します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的 事業の実施により直接的に表れる効果 誰のための事業か 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
109-1	文化振興課 / 霧山薪能開催事業	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催 ◆参加者数350人	実行委員会が、歴史的資源を活用し、薪能などを開催する		H30	2,200	×	×	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	2,700	○	◎	現状維持
			何	事業の鑑賞を通じて歴史や北畠氏館跡庭園などへの関心を高める	R2	0	×	×	現状維持
109-2	文化振興課 / 郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業	各地域に伝わる郷土芸能や食文化を主とした物産を一同に集め、郷土の歴史や文化を紹介するフェスティバルを市内各地域で年1回開催 ◆参加団体数15団体	実行委員会が、各地域の郷土芸能や食文化を生かしたフェスティバルを開催する		H30	1,043	◎	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	918	◎	◎	現状維持
			何	郷土芸能への関心を高め、地域交流を深める	R2	165	×	×	現状維持
109-3	文化振興課 / 一身田寺内町まちづくり事業	歴史資源を後世に残していくため、環濠清掃や映画会を実施 ◆事業（環濠清掃・映画会等）実施回数3回	地域住民が主体となり歴史文化資源を活用したまちづくり事業を行う		H30	570	◎	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	370	◎	◎	現状維持
			何	観光誘客と地域の活性化につながる	R2	8	×	×	現状維持
109-4	文化振興課 / 故羽田朝子記念映画上映事業	平成22年度に文化振興基金へ遺贈された羽田朝子さんを記念する映画上映会の実施（財源終了のため事業終了） ◆実施箇所数10か所	故羽田朝子氏からの寄付金を財源として、映画上映会を開催する		H30	2,370	○	△	現状維持
			誰	市民が	R1	2,370	○	○	廃止
			何	気軽に文化に触れる機会を提供する	R2				
109-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
109-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
109-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

109-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
109-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
109-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
109-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
109-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
109-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
109-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	E

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	E							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	109-1
担当課名	文化振興課
事業名	霧山薪能開催事業
事業の内容	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催
当初の事業実施計画	参加者数350人
対象年度	平成30年度
不可抗力	台風による警報発令
理由	霧山薪能開催事業については、本番直前に台風接近による警報の発令により中止となったため、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	109-1
担当課名	文化振興課
事業名	霧山薪能開催事業
事業の内容	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催
当初の事業実施計画	参加者数350人
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、霧山薪能開催事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	109-2
担当課名	文化振興課
事業名	郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業
事業の内容	各地域に伝わる郷土芸能や食文化を主とした物産を一同に集め、郷土の歴史や文化を紹介するフェスティバルを市内各地域で年１回開催
当初の事業実施計画	参加団体数15団体
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	109-3
担当課名	文化振興課
事業名	一身田寺内町まちづくり事業
事業の内容	歴史資源を後世に残していくため、環濠清掃や映画会を実施
当初の事業実施計画	事業（環濠清掃・映画会等）実施回数3回
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、一身田寺内町まちづくり事業については事業を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134110
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			スポーツ文化振興部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			110	歴史資料等については、発掘・収集、適切かつ効率的な保存・管理に努め、積極的な活用・情報発信による地域内外の文化交流を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
110-1	生涯学習課 / 文化財保護補助事業	文化財の保存・活用を図るための市内に存する指定文化財の保護等に関する補助 ◆必要に応じた補助の実施	指定文化財所有者等が、補助金を活用し、文化財の維持管理や行事の開催、修理を行う		H30	1,690	○	◎	現状維持
			誰	指定文化財所有者等が	R1	2,674	○	◎	現状維持
			何	文化財を保存・活用しやすくなる	R2	1,088	△	◎	現状維持
110-2	生涯学習課 / 多気北畠氏遺跡整備活用調査研究事業	伊勢国司北畠氏の拠点である多気北畠氏遺跡の学術調査等 ◆適宜実施	国史跡多気北畠氏城館跡の追加指定に向けて発掘調査等の学術調査を実施する		H30	2,715	○	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	2,604	○	◎	現状維持
			何	多気北畠氏遺跡の歴史的価値を知ることで、津市の歴史・文化の普及啓発や魅力発信に繋がる	R2	0	×	×	現状維持
110-3	生涯学習課 / 市内遺跡出土遺物保存処理事業	出土品の保存処理及び希少性の高い資料の恒久化を行い市民共有の財産として公開・活用 ◆適宜実施	保存処理により出土品を適正に保存・復元し、展示等の公開・活用事業に供することができる		H30	438	○	◎	現状維持
			誰	市や博物館等が	R1	636	○	◎	現状維持
			何	保存処理された出土品を公開・活用することで、市内外に津市の歴史・文化の魅力を発信する	R2	150	○	◎	現状維持
110-4	生涯学習課 / 旧明村役場庁舎整備事業	曳家による移築・耐震化を図り、文化財としての公開活用、放課後の子供たちの居場所、地域住民の活動の場としての施設整備 ◆H30完成。地域活動の継続	耐震補強等大規模改修工事後、地域と市が協働して文化財の維持管理や一般公開、公開活用事業を行う		H30	77,085	○	◎	現状維持
			誰	地域と市が	R1	1,230	○	◎	現状維持
			何	文化財の維持管理や活用を通して地域の活性化を推進する	R2	1,230	○	◎	現状維持
110-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
110-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
110-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

110-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
110-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
110-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
110-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
110-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
110-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
110-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード　051235
		施策	35	市民活動の促進	本冊ページ　87
	関連個別計画				
担当部局		市民部			
施策の内容（番号）		111	～	112	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
111	市内における市民活動団体の活動内容等の情報を広く発信し、市民活動のつながりや広がり、市民活動への参加を促進するとともに、市民活動の核となる人材を育成し、市民活動団体の地域の課題解決などに向けたまちづくりへの参加・参画を進めます。	B	①	地域連携課
112	市民や市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境づくりや市民活動団体の声を受け止める場の創設など、それぞれのニーズに合った支援を充実します。	C	④	地域連携課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	指定管理者による市民活動センターの適切な管理運営のほか、先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体への支援を行うなど、市民活動の促進に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051235111
		施策	35	市民活動の促進	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			111	市内における市民活動団体の活動内容等の情報を広く発信し、市民活動のつながりや広がり、市民活動への参加を促進するとともに、市民活動の核となる人材を育成し、市民活動団体の地域の課題解決などに向けたまちづくりへの参加・参画を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的 事業の実施により直接的に表れる効果 誰のための事業か 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
111-1	地域連携課	協働の街づくりの推進のため、市民活動の支援、住民による交流の促進、そのほか地域社会の発展に係る活動の推進に関する支援 ◆指定管理者による適切な実施（要求水準に基づく実施）	市民活動を支援するとともに、住民による積極的な交流等の場の提供を行うことにより、地域社会の健全な発展を促進する		H30	13,642	○	◎	現状維持
	市民活動センター管理運営業務		誰	津市民及び津市の問題解決のための活動を行う市民活動団体が	R1	13,769	○	◎	現状維持
			何	津市における市民活動を促進することにより、津市の地域課題を解決し、住みよいまちづくりの促進を行う	R2	13,894	△	○	現状維持
111-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
111-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
111-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
111-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
111-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
111-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

111-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
111-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
111-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
111-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
111-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
111-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
111-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051235112
		施策	35	市民活動の促進	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			112	市民や市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境づくりや市民活動団体の声を受け止める場の創設など、それぞれのニーズに合った支援を充実します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
112-1	地域連携課 / 市民活動団体設立支援事業	協働のまちづくりの推進のため、新たな活動団体の設立時における支援 ◆1団体	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の設立や運営の支援を行う		H30	100	○	◎	現状維持
			誰	設立後1年に満たない市民活動団体	R1	0	×	×	現状維持
			何	市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境を作る	R2	0	×	×	見直し
112-2	地域連携課 / 市民活動推進事業	協働のまちづくりの推進のため、先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体等への活動支援 ◆5団体	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の実施事業への支援を行う		H30	1,000	○	○	現状維持
			誰	津市の地域課題を解決するための事業を実施する市民活動団体	R1	774	○	○	見直し
			何	市民活動団体による地域課題の解決の支援を行うことで、より住みよいまちづくりの推進を行う	R2	777	○	○	見直し
112-3	地域連携課 / 市民活動センター管理運営業務	協働の街づくりの推進のため、市民活動の支援、住民による交流の促進、そのほか地域社会の発展に係る活動の推進に関する支援 ◆指定管理者による適切な実施（要求水準に基づく実施）	市民活動を支援するとともに、住民による積極的な交流等の場の提供を行うことにより、地域社会の健全な発展を促進する		H30	13,642	○	◎	現状維持
			誰	津市民及び津市の問題解決のための活動を行う市民活動団体	R1	13,769	○	◎	現状維持
			何	津市における市民活動を促進することにより、津市の地域課題を解決し、住みよいまちづくりの促進を行う	R2	13,894	△	○	現状維持
112-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
112-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
112-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
112-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

112-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
112-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
112-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
112-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
112-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
112-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
112-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	④

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	C	C							
今後の方向性	①	③	④							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード　051236
		施策	36	地域コミュニティの活性化	本冊ページ　87
	関連個別計画				
担当部局		市民部			
施策の内容（番号）		113	～	115	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
113	地域における人と人とのつながりの醸成を図るための支援とともに、自治会などの地域コミュニティへの参加促進や地域のリーダー育成に向けた、地域コミュニティの活動や役割、必要性への理解を深めるための取組を進めます。	D	④	地域連携課
114	地域の実情や特性を踏まえ、地域づくり体制の構築に向けた支援を行います。	B	①	地域振興課（久居、美里、一志）
115	地域住民が安心して地域活動が行える環境を整えるため、活動支援や集会所、コミュニティ施設などの地域活動拠点の形成を進めます。	A	①	市民交流課/地域連携課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	自治会が実施する集会所の建設・修繕に対する補助のほか、地域で活動する団体等に対する負担金や活動拠点の提供、先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体への支援を行うなど、地域コミュニティの活性化に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051236113
		施策	36	地域コミュニティの活性化	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			113	地域における人と人とのつながりの醸成を図るための支援とともに、自治会などの地域コミュニティへの参加促進や地域のリーダー育成に向けた、地域コミュニティの活動や役割、必要性への理解を深めるための取組を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
113-1	地域連携課 / 市民活動推進事業	協働のまちづくりの推進のため、先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体等への活動支援 ◆5団体	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の実施事業への支援を行う		H30	1,000	○	○	現状維持
			誰	津市の地域課題を解決するための事業を実施する市民活動団体	R1	774	○	○	見直し
			何	市民活動団体による地域課題の解決の支援を行うことで、より住みよいまちづくりの推進を行う	R2	777	○	○	見直し
113-2	地域連携課 / 市民活動団体設立支援事業	協働のまちづくりの推進のため、新たな活動団体の設立時における支援 ◆1団体	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の設立や運営の支援を行う		H30	100	○	◎	現状維持
			誰	設立後1年に満たない市民活動団体	R1	0	×	×	現状維持
			何	市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境を作る	R2	0	×	×	見直し
113-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
113-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
113-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
113-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
113-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

113-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
113-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
113-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
113-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
113-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
113-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
113-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	D

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	④

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	D	D							
今後の方向性	①	③	④							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051236114
		施策	36	地域コミュニティの活性化	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			114	地域の実情や特性を踏まえ、地域づくり体制の構築に向けた支援を行います。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
114-1	地域振興課（久居） 久居誕生350年事業	久居誕生350年事業実行委員会に対する負担 ◆負担金1件	久居誕生350年事業実行委員会が負担金を財源に、歴史を再認識するイベント等、各種事業を実施する		H30	0			
			誰	実行委員会	R1	64	○	○	拡充・充実
			何	地域の各分野で活動する団体が協力しながら、地域の魅力向上のために活発に活動できる	R2	2,266	○	○	拡充・充実
114-2	地域振興課（美里） 地域活性化事業（R2より地域かがやきプログラム事業）	美里地内の旧小学校施設の利活用を推進する団体に対する負担 ◆負担金1件	旧小学校施設の利活用を推進する団体が負担金を財源に、歴史、文化、自然など地域の実情や特性に応じた各種事業を実施する		H30	1,500	○	○	拡充・充実
			誰	旧小学校地区で組織された協議会で構成する団体	R1	1,500	○	○	拡充・充実
			何	地域の活性化、地域づくりに寄与する	R2	1,500	○	○	拡充・充実
114-3	地域振興課（一志） 公有財産管理事業	地域活性化、文化振興、スポーツ振興活動を行う団体に活動拠点を提供する（旧波瀬小学校、旧大井小学校、旧大井幼稚園） ◆3拠点	活動拠点を提供することにより、地域活性化や文化振興などの目的達成の手助けをする		H30	0	○	○	拡充・充実
			誰	波瀬まちづくり協議会、大井町づくり委員会、津レスリング協会、手織りグループしおり	R1	0	○	○	拡充・充実
			何	地域の各分野で活動する団体が、地域と協力しながら、地域の活性化のために活動できる	R2	0	○	○	拡充・充実
114-4	地域振興課（一志） 公有財産管理事業	学校法人に活動拠点を提供する（旧大井小学校） ◆1拠点	高齢化が進む地域住民と学生が交流することにより、地域を活気づかせる		H30	0	○	○	拡充・充実
			誰	学校法人玉村学園（一志学園高等学校）	R1	0	○	○	拡充・充実
			何	地域内に学校ができることで、地域と協力しながら、地域の活性化のための活動を行うことができる	R2	0	○	○	拡充・充実
114-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
114-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
114-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

114-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
114-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
114-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
114-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
114-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
114-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
114-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051236115
		施策	36	地域コミュニティの活性化	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			115	地域住民が安心して地域活動が行える環境を整えるため、活動支援や集会所、コミュニティ施設などの地域活動拠点の形成を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
115-1	地域連携課 / 集会所建築等補助事業	自治会が実施する集会所建築・修繕に対する補助 ◆自治会の補助申請に基づき適宜実施	自治会が集会所を新築、増築、改装、修繕、又は取得する		H30	22,637	○	◎	現状維持
			誰	住民の地域活動の拠点として本市の区域内に存する自治会	R1	12,885	◎	◎	現状維持
			何	住民相互の連携意識の高揚を図り、健全な地域社会の形成に寄与する	R2	16,834	◎	◎	現状維持
115-2	市民交流課 / 会館整備事業	新町会館駐車場整備工事、津西会館別館整備に係る実施設計業務等 ◆新町会館の整備完了	地域コミュニティ促進のための集会施設を整備する		H30	－			
			誰	市内の人々が	R1	－			
			何	地域コミュニティ活動を行う場を整備する	R2	99,132	◎	◎	拡充・充実
115-3	市民交流課 / 集会施設トイレ洋式化事業	会館、市民センター及び集会所のトイレ洋式化 ◆順次トイレ洋式化の実現	トイレを洋式化することで感染症のリスクを減らす		H30	－			
			誰	集会施設の利用者への	R1	－			
			何	感染症のリスクを低減する	R2	13,269	◎	◎	拡充・充実
115-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
115-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
115-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
115-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

115-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
115-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
115-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
115-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
115-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
115-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
115-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード　051237
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進	本冊ページ　88
	関連個別計画				
担当部局		市民部			
施策の内容（番号）		116	～	118	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
116	友好都市等との交流においては、これまでの市民や行政間での交流に加え、青少年交流や文化、経済などの幅広い分野で、かつお互いの地域の発展につなげていけるような実効性あるさまざまな都市との交流を促進します。	C	①	市民交流課
117	地域における国際化をより一層進めるため、友好都市等に限らない世界各国の都市と交流し、国際感覚豊かな人づくり、地域づくりを進めます。	A	①	市民交流課
118	外国人住民からの相談や多様なニーズへの対応に向けた生活支援やコミュニケーション支援により、自立と地域社会への参画を促進するとともに、地域における多文化共生社会の重要な担い手である市民、団体、企業等に対して、より一層の異文化理解の向上に取り組み、多文化共生の地域づくりを推進します。	A	①	市民交流課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	国内外の友好都市との交流事業を実施するほか、国際交流協会や国際交流ボランティア団体等に対して補助を行うなど国際・国内交流の推進に努めるとともに、市内に在住する外国人住民に対して情報提供や相談を多言語で行う窓口を設置するなど多文化共生の推進に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051237116
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進	本冊ページ	88
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			116	友好都市等との交流においては、これまでの市民や行政間での交流に加え、青少年交流や文化、経済などの幅広い分野で、かつお互いの地域の発展につなげていけるような実効性あるさまざまな都市との交流を促進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	事業の評価：実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
116-1	市民交流課	友好都市中国鎮江市と姉妹都市ブラジルオザスコ市との周年記念時等において各種記念事業を実施 ◆5年毎の周年事業及び随時の交流事業実施	交流関係者の招聘や訪問・交流事業の実施により本市の国際交流事業の推進に寄与する		H30	809	◎	◎	現状維持
	海外の友好都市姉妹都市との交流事業		誰	市内外の人々が	R1	873	◎	◎	現状維持
			何	本市の国際交流の推進に寄与する	R2	37	△	△	現状維持
116-2	市民交流課	国内友好都市上富良野町との新たな友好事業実現のための協議を実施 ◆年1回の担当者間協議及び周年記念事業の実施	交流事業の実施により本市の国内交流事業推進に寄与する		H30	328	◎	◎	現状維持
	国内友好都市交流事業		誰	市内外の人々が	R1	87	◎	◎	現状維持
			何	本市の国内交流の推進に寄与する	R2	14	△	△	現状維持
116-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
116-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
116-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
116-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
116-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

116-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
116-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
116-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
116-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
116-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
116-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
116-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	116-1
担当課名	市民部　市民交流課
事業名	海外の友好都市姉妹都市との交流事業
事業の内容	友好都市中国鎮江市と姉妹都市ブラジルオザスコ市との周年記念時等において各種記念事業を実施
当初の事業実施計画	５年毎の周年事業及び随時の交流事業実施
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、海外の友好都市姉妹都市との交流事業については、海外への渡航が禁止となったことに伴い、鎮江市との間で隔年で実施している青少年交流事業の開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	116-2
担当課名	市民部　市民交流課
事業名	国内友好都市交流事業
事業の内容	国内友好都市上富良野町との新たな友好事業実現のための協議を実施
当初の事業実施計画	年１回の担当者間協議及び周年記念事業の実施
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	令和2年度は、隔年で実施しているそれぞれの市町の祭りへ往来が、津市から上富良野町へ訪問を行う順番であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、上富良野町で実施される四季彩祭りが中止となったことに伴い、当初の事業計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051237117
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進	本冊ページ	88
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			117	地域における国際化をより一層進めるため、友好都市等に限らない世界各国の都市と交流し、国際感覚豊かな人づくり、地域づくりを進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
117-1	市民交流課	国際交流協会、国際交流ボランティア団体及び国際交流事業に対する補助 ◆国際交流事業補助金：5団体5事業（令和2年度）	市内国際交流団体の事業促進		H30	7,106	◎	○	現状維持
	国際交流協会等補助事業		誰	市内の国際交流ボランティア団体	R1	5,664	◎	○	現状維持
			何	本市の国際交流に資する	R2	1,691	◎	○	現状維持
117-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
117-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
117-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
117-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
117-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
117-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

117-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
117-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
117-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
117-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
117-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
117-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
117-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051237118
		施策	37	国際・国内交流と多文化共生の推進	本冊ページ	88
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			118	外国人住民からの相談や多様なニーズへの対応に向けた生活支援やコミュニケーション支援により、自立と地域社会への参画を促進するとともに、地域における多文化共生社会の重要な担い手である市民、団体、企業等に対して、より一層の異文化理解の向上に取り組み、多文化共生の地域づくりを推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
118-1	市民交流課	市内に在住する外国人住民に対し、生活に係る適切な行政情報や相談部署に迅速に到達できるよう情報提供及び相談を多言語で行う一元的な窓口の設置による外国人住民への生活支援 ◆相談者への適切な支援の実施 【年間相談件数】　4,680件	窓口等での通訳や行政情報の多言語化を行う		H30	3,980	◎	◎	拡充・充実
	外国人住民総合相談窓口事業		誰	市内に在住する外国人等	R1	9,957	◎	◎	拡充・充実
			何	母国語で説明することにより、伝える側受ける側共に的確な意思疎通ができるため、適切な行政サービスの提供につながる	R2	9,599	◎	◎	現状維持
118-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
118-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
118-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
118-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
118-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
118-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

118-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
118-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
118-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
118-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
118-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
118-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
118-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり	
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード　051338
		施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ　91
	関連個別計画				
担当部局		市民部、教育委員会			
施策の内容（番号）		119	～	121	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
119	人権問題や人権課題に対する市民の正しい理解と認識を深めるため、関係機関や関係団体等と連携し、総合的かつ計画的に人権啓発を推進するとともに、相談体制の充実も図り、より人権が尊重されるまちをめざします。	B	①	人権課
120	人権尊重の地域づくりの実現に向けて、市民を母体とした各種団体、関係機関等と、幅広い人権ネットワークを構築し、協働した取組を行います。	B	①	人権課
121	戦争を知らない多くの市民に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会を提供し、市民の平和意識の向上を図ります。	C	①	人権課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	各地域で人権講演会を開催するほか、人権擁護委員会に対する補助を行っています。また、平和を考える市民のつどいを開催するほか、津平和のための戦争展実行委員会に対する補助を行うなど、人権・平和施策の推進に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの人権講演会及び実行委員会による事業を実施することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051338119
		施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			119	人権問題や人権課題に対する市民の正しい理解と認識を深めるため、関係機関や関係団体等と連携し、総合的かつ計画的に人権啓発を推進するとともに、相談体制の充実も図り、より人権が尊重されるまちをめざします。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
119-1	人権課 / 人権講演会等開催事業	津市人権講演会の開催 ◆各地域で開催	人権に対する理解と認識を深める機会となる		H30	2,075	○	◎	現状維持
			誰	市民が	R1	2,256	○	◎	現状維持
			何	人権意識の高揚	R2	724	△	○	現状維持
119-2	人権課 / 人権擁護委員会支援事業	人権擁護委員会活動の支援 ◆委員会への補助	人権擁護委員が補助金等を活用し、人権啓発等を行う		H30	1,892	○	◎	現状維持
			誰	人権擁護委員が	R1	1,890	○	◎	現状維持
			何	人権啓発活動や人権相談活動がしやすくなる	R2	1,785	△	○	現状維持
119-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
119-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
119-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
119-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
119-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

119-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
119-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
119-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
119-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
119-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
119-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
119-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	119-1
担当課名	人権課
事業名	人権講演会等開催事業
事業の内容	津市人権講演会の開催
当初の事業実施計画	各地域で開催
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、人権講演会等開催事業については開催を大半が中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051338120
		施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			120	人権尊重の地域づくりの実現に向けて、市民を母体とした各種団体、関係機関等と、幅広い人権ネットワークを構築し、協働した取組を行います。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
120-1	人権課 / 人権擁護委員会支援事業	人権擁護委員会活動の支援 ◆委員会への補助	人権擁護委員が補助金等を活用し、人権啓発等を行う		H30	1,892	○	◎	現状維持
			誰	人権擁護委員が	R1	1,890	○	◎	現状維持
			何	人権啓発活動や人権相談活動がしやすくなる	R2	1,785	△	○	現状維持
120-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
120-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
120-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
120-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
120-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
120-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

120-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
120-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
120-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
120-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
120-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
120-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
120-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051338121
		施策	38	人権・平和施策の推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			市民部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			121	戦争を知らない多くの市民に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会を提供し、市民の平和意識の向上を図ります。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
121-1	人権課 / 平和を考える市民の集い事業	平和を考える市民のつどいの開催 ◆年1回	戦争の悲惨さと平和の大切さについて考える機会となる		H30	478	○	◎	現状維持
			誰	市民が	R1	476	○	◎	現状維持
			何	平和意識の向上	R2	341	○	◎	現状維持
121-2	人権課 / 戦争展補助事業	津平和のための戦争展実行委員会に対する補助 ◆実行委員会への補助	実行委員会が、補助金を活用し、津平和のための戦争展を開催する		H30	450	○	◎	現状維持
			誰	市民が	R1	450	○	◎	現状維持
			何	平和意識の向上	R2	37	×	×	現状維持
121-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
121-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
121-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
121-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
121-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

121-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
121-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
121-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
121-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
121-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
121-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
121-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	121-2
担当課名	人権課
事業名	戦争展補助事業
事業の内容	津平和のための戦争展実行委員会に対する補助
当初の事業実施計画	実行委員会への補助
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、戦争展補助事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051339
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			政策財務部、健康福祉部、都市計画部、建設部			
施策の内容（番号）			122	～	124	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
122	思いやりや支えあいの心が根付いたやさしい社会を実現するため、市民一人ひとりにとってユニバーサルデザインが特別なものとしてではなく、当たり前のものとして浸透し、定着するよう、地域や学校等におけるユニバーサルデザインの普及・啓発を強化します。	D	①	政策課
123	誰もが安心して快適に暮らすことができるまちの実現に向け、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設や公共交通を含む一体的な都市空間づくりを推進するとともに、自由かつ等しく情報やサービスを享受でき、誰もがまちづくりに参加できる環境整備を進めます。	D	①	政策課
124	地域や市民との協働による連携の強化を図るとともに、積極的に活動を推進する人材の確保・育成に努め、ユニバーサルデザインの輪が広がる取組を進めます。	D	①	政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	D	津市ユニバーサルデザイン連絡協議会にネットワークの拡大及び普及啓発活動を委託するほか、小中学校等においてUD講座等を開催し、ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、UD講座を計画回数実施することができませんでした。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の輪を広げるためのネットワークづくりも実施することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051339122
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			政策財務部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			122	思いやりや支えあいの心が根付いたやさしい社会を実現するため、市民一人ひとりにとってユニバーサルデザインが特別なものとしてではなく、当たり前のものとして浸透し、定着するよう、地域や学校等におけるユニバーサルデザインの普及・啓発を強化します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	事業の評価：実施評価（計画通り実施したか）	事業の評価：事業評価（効果があったか）	今後の方向性
122-1	政策課 / ユニバーサルデザイン推進事業	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるためのネットワークづくり ◆津市ユニバーサルデザイン連絡協議会が3回以上イベント等へ参加	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進		H30	150	○	○	現状維持
			誰	個人若しくは団体が	R1	150	○	○	現状維持
			何	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に係るネットワークを拡大	R2	0	×	×	現状維持
122-2	政策課 / ユニバーサルデザイン推進事業	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるための市民啓発・講座 ◆UD講座開催45回	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進		H30	383	○	○	現状維持
			誰	市民が	R1	359	○	○	現状維持
			何	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に係る理解を深める	R2	77	△	○	現状維持
122-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
122-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
122-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
122-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
122-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

122-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
122-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
122-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
122-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
122-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
122-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
122-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	D

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	122-1
担当課名	政策課
事業名	ユニバーサルデザイン推進事業
事業の内容	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるための市民啓発・講座、ネットワークづくり
当初の事業実施計画	津市ユニバーサルデザイン連絡協議会が３回以上イベント等へ参加
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、津市ユニバーサルデザイン連絡協議会がイベント等へ参加することができなかった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	122-2
担当課名	政策課
事業名	ユニバーサルデザイン推進事業
事業の内容	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるための市民啓発・講座、ネットワークづくり
当初の事業実施計画	UD講座開催４５回
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、小中学校におけるＵＤ講座を当初の計画どおり開催することができなかった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051339123
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			政策財務部、健康福祉部、都市計画部、建設部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			123	誰もが安心して快適に暮らすことができるまちの実現に向け、ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した施設や公共交通を含む一体的な都市空間づくりを推進するとともに、自由かつ等しく情報やサービスを享受でき、誰もがまちづくりに参加できる環境整備を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	事業の評価：実施評価（計画通り実施したか）	事業の評価：事業評価（効果があったか）	今後の方向性
123-1	政策課	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるためのネットワークづくり ◆津市ユニバーサルデザイン連絡協議会が3回以上イベント等へ参加	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進		H30	150	○	○	現状維持
	ユニバーサルデザイン推進事業		誰	個人若しくは団体が	R1	150	○	○	現状維持
			何	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に係るネットワークを拡大	R2	0	×	×	現状維持
123-2	政策課	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるための市民啓発・講座 ◆UD講座開催45回	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進		H30	383	○	○	現状維持
	ユニバーサルデザイン推進事業		誰	市民が	R1	359	○	○	現状維持
			何	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に係る理解を深める	R2	77	△	△	現状維持
123-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
123-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
123-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
123-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
123-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

123-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
123-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
123-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
123-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
123-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
123-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
123-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	D

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	123-1
担当課名	政策課
事業名	ユニバーサルデザイン推進事業
事業の内容	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるための市民啓発・講座、ネットワークづくり
当初の事業実施計画	津市ユニバーサルデザイン連絡協議会が３回以上イベント等へ参加
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、津市ユニバーサルデザイン連絡協議会がイベント等へ参加することができなかった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	123-2
担当課名	政策課
事業名	ユニバーサルデザイン推進事業
事業の内容	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるための市民啓発・講座、ネットワークづくり
当初の事業実施計画	UD講座開催４５回
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、小中学校におけるＵＤ講座を当初の計画どおり開催することができなかった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051339124
		施策	39	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	本冊ページ	91
	関連個別計画					
担当部局			政策財務部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			124	地域や市民との協働による連携の強化を図るとともに、積極的に活動を推進する人材の確保・育成に努め、ユニバーサルデザインの輪が広がる取組を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的：事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	事業の評価：実施評価（計画通り実施したか）	事業の評価：事業評価（効果があったか）	今後の方向性
124-1	政策課 / ユニバーサルデザイン推進事業	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるためのネットワークづくり ◆津市ユニバーサルデザイン連絡協議会が3回以上イベント等へ参加	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進		H30	150	○	○	現状維持
			誰	個人若しくは団体が	R1	150	○	○	現状維持
			何	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に係るネットワークを拡大	R2	0	×	×	現状維持
124-2	政策課 / ユニバーサルデザイン推進事業	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるための市民啓発・講座 ◆UD講座開催45回	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進		H30	383	○	○	現状維持
			誰	市民が	R1	359	○	○	現状維持
			何	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進に係る理解を深める	R2	77	△	△	現状維持
124-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
124-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
124-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
124-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
124-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

124-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
124-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
124-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
124-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
124-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
124-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
124-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	D

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	D							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	124-1
担当課名	政策課
事業名	ユニバーサルデザイン推進事業
事業の内容	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるための市民啓発・講座、ネットワークづくり
当初の事業実施計画	津市ユニバーサルデザイン連絡協議会が３回以上イベント等へ参加
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、津市ユニバーサルデザイン連絡協議会がイベント等へ参加することができなかった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	124-2
担当課名	政策課
事業名	ユニバーサルデザイン推進事業
事業の内容	ユニバーサルデザインへの理解と認識を深めるための市民啓発・講座、ネットワークづくり
当初の事業実施計画	UD講座開催４５回
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、小中学校におけるＵＤ講座を当初の計画どおり開催することができなかった。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051340
		施策	40	男女共同参画の推進	本冊ページ	92
	関連個別計画		津市男女共同参画基本計画、津市教育振興ビジョン前期基本計画			
担当部局			市民部			
施策の内容（番号）			125	～	127	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
125	男女共同参画意識の高揚に向けて、フォーラムの開催や情報紙の発行などを通じて、職場・学校・地域・家庭での継続的な啓発を推進します。	D	①	男女共同参画室
126	政策・方針決定過程への一層積極的な男女共同参画の推進や女性の社会参画への支援をさらに充実することで男女が共に活躍できる社会づくりに取り組むとともに、働き方の見直しなどを含めたワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現できる環境の整備を推進します。	B	①	生涯学習課
127	男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野で個性と能力を発揮することを阻害する要因の防止や根絶に向けた相談・支援体制を充実します。	A	①	男女共同参画室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	男女共同参画に係るフォーラムや映画祭等の啓発イベントを実施するほか、婦人会連絡協議会への補助やカウンセラー等による相談業務を実施し、男女共同参画の推進に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響によりフォーラム及び一部啓発イベントを実施することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051340125
		施策	40	男女共同参画の推進	本冊ページ	92
	関連個別計画		津市男女共同参画基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			125	男女共同参画意識の高揚に向けて、フォーラムの開催や情報紙の発行などを通じて、職場・学校・地域・家庭での継続的な啓発を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
125-1	男女共同参画室 / 男女共同参画フォーラム開催事業	男女共同参画社会の実現に向けたフォーラムの開催 ◆年1回	主催者が負担金を活用し、フォーラムを開催する		H30	350	○	◎	現状維持
			誰	主催者が	R1	350	○	◎	現状維持
			何	フォーラム開催により男女共同参画意識の高揚を図る	R2	218	×	×	現状維持
125-2	男女共同参画室 / 男女共同参画推進啓発事業	男女共同参画の推進を図るための映画祭等の啓発イベントの実施 ◆年2回	男女共同参画の推進をはかるための映画祭等の啓発イベントを実施する		H30	731	○	◎	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	895	○	◎	現状維持
			何	映画祭等の啓発イベントに参加し、男女共同参画意識を高揚する	R2	198	△	○	現状維持
125-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
125-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
125-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
125-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
125-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

125-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
125-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
125-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
125-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
125-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
125-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
125-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	D

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	D							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	125-1
担当課名	男女共同参画室
事業名	男女共同参画フォーラム開催事業
事業の内容	男女共同参画社会の実現に向けたフォーラム開催に係る負担
当初の事業実施計画	年１回
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、男女共同参画フォーラム開催事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	125-2
担当課名	男女共同参画室
事業名	男女共同参画推進啓発事業
事業の内容	男女共同参画の推進を図るための映画祭等の啓発イベントの実施
当初の事業実施計画	年２回
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、男女共同参画推進啓発事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051340126
		施策	40	男女共同参画の推進	本冊ページ	92
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン前期基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			126	政策・方針決定過程への一層積極的な男女共同参画の推進や女性の社会参画への支援をさらに充実することで男女が共に活躍できる社会づくりに取り組むとともに、働き方の見直しなどを含めたワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現できる環境の整備を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
126-1	生涯学習課 / 婦人会連絡協議会補助事業	男女共同参画社会の実現を目指し、女性の地位向上を図るとともに社会奉仕、地域づくりの推進に資する団体活動に対する補助 ◆補助1件	津市婦人会連絡協議会が補助金を活用し、市内の支部婦人会との連絡調整をとり、婦人会活動を行う		H30	2,100	○	○	現状維持
			誰	婦人会会員が	R1	2,100	○	○	現状維持
			何	女性の地位向上や社会奉仕、地域づくりの推進に資する活動を活発に行う	R2	1,200	○	○	現状維持
126-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
126-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
126-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
126-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
126-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
126-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

126-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
126-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
126-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
126-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
126-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
126-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
126-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	13	誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現	管理コード	051340127
		施策	40	男女共同参画の推進	本冊ページ	92
	関連個別計画		津市男女共同参画基本計画（平成30年度～令和4年度）			
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			127	男女が社会の対等な構成員として、あらゆる分野で個性と能力を発揮することを阻害する要因の防止や根絶に向けた相談・支援体制を充実します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
127-1	男女共同参画室 / 相談事業	カウンセラー等による相談業務委託 ◆毎月定期的に実施	市民が身の回りのさまざまな悩みや問題を解決できる		H30	1,670	○	◎	現状維持
			誰	市民が	R1	1,670	○	◎	現状維持
			何	身の回りのさまざまな悩みや問題を解決できる	R2	1,700	○	◎	現状維持
127-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
127-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
127-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
127-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
127-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
127-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

127-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
127-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
127-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
127-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
127-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
127-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
127-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード　061441
		施策	41	勤労者福祉の充実	本冊ページ　95
	関連個別計画				
担当部局		市民部、商工観光部			
施策の内容（番号）		128	～	129	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
128	関係機関と連携し、事業者に対して、労働時間の短縮、雇用条件の改善、働きやすい職場環境づくりに向けた啓発を行うとともに、中小企業の福利厚生事業を支援することで勤労者の福利厚生及び生活向上・安定に向けた取組を進めます。	B	①	商業振興労政課
129	勤労者が安心して働き、余暇を充実して過ごすことができるよう、仕事や就職に関する相談対応に加え、働き方の見直しに向けた意識啓発などを通じ、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図ります。	B	①	商業振興労政課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	中小企業勤労者の福利厚生事業を実施する三重中勢勤労者サービスセンターに対する補助のほか、勤労者からのメンタルヘルス相談事業や企業訪問による労働諸問題についての啓発を実施していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により企業訪問を一部差し控えました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード	061441128
		施策	41	勤労者福祉の充実	本冊ページ	95
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			128	関係機関と連携し、事業者に対して、労働時間の短縮、雇用条件の改善、働きやすい職場環境づくりに向けた啓発を行うとともに、中小企業の福利厚生事業を支援することで勤労者の福利厚生及び生活向上・安定に向けた取組を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
128-1	商業振興労政課 / 三重中勢勤労者サービスセンター補助事業	中小企業勤労者の福利厚生事業を実施する団体の運営費に対する補助 ◆補助金　1,300千円	中小企業の福利厚生事業を実施する三重中勢勤労者サービスセンターを支援することにより、市内勤労者の福利厚生の充実を図る		H30	1,300	○	○	現状維持
			誰	市内勤労者が	R1	1,300	○	○	現状維持
			何	福利厚生の充実により勤労意欲が増進する	R2	1,300	○	○	現状維持
128-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
128-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
128-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
128-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
128-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
128-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

128-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
128-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
128-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
128-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
128-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
128-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
128-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード	061441129
		施策	41	勤労者福祉の充実	本冊ページ	95
	関連個別計画					
担当部局			市民部、商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			129	勤労者が安心して働き、余暇を充実して過ごすことができるよう、仕事や就職に関する相談対応に加え、働き方の見直しに向けた意識啓発などを通じ、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図ります。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
129-1	商業振興労政課 / 勤労者メンタルヘルス事業	勤労者が安心して働けるよう、職場での悩みを相談する場としてのメンタルヘルス相談を実施する ◆年間36回	勤労者の悩みを相談する場を提供することにより、勤労者の心の健康の維持と安心して働ける環境づくりを行う		H30	288	○	○	現状維持
			誰	勤労者が	R1	272	○	○	現状維持
			何	安心して働ける環境をつくる	R2	184	○	○	現状維持
129-2	商業振興労政課 / 勤労者福祉の増進に係る企業訪問	市民部や三重労働局との連携の元、企業を訪問し、ワーク・ライフ・バランスをはじめとする労働諸問題に係る啓発を図る ◆企業訪問の実施	労働諸問題について企業が啓発を受ける		H30	0	○	○	現状維持
			誰	勤労者が	R1	0	○	○	現状維持
			何	企業において安心して働ける環境づくりを促進する	R2	0	△	△	現状維持
129-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
129-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
129-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
129-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
129-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

129-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
129-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
129-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
129-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
129-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
129-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
129-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	129-2
担当課名	商業振興労政課
事業名	勤労者福祉の増進に係る企業訪問
事業の内容	市民部や三重労働局との連携の元、企業を訪問し、ワーク・ライフ・バランスをはじめとする労働問題に係る啓発を図る
当初の事業実施計画	企業訪問の実施
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、企業訪問を差し控えたため、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード　061442
		施策	42	雇用の創出・拡大	本冊ページ　95
	関連個別計画				
担当部局		商工観光部			
施策の内容（番号）		130	～	131	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
130	関係機関と連携し、女性や障がい者、高齢者、外国人など、さまざまな立場の人の就労を支援するとともに、企業等の雇用機会の提供を促進し、多様な人材の活躍の場の拡大を進めます。	C	①	商業振興労政課
131	求人と求職のミスマッチを解消するとともに、市外への人材の流出を食い止め、本市出身者のふるさと回帰を促すため、関係機関と連携し、求人情報のみならず、本市の暮らしやすさ、優れた企業等の魅力を発信することで、人材を求める企業と就労を望む人との出会いの機会を拡大します。	B	①	商業振興労政課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	三重労働局と連携して障がい者雇用促進のための合同企業相談会を開催するほか、市内企業へのUIJターン就職のための就職活動及び新生活に係る補助や、要件を満たした東京圏からの移住者に対する支援金の支給などを実施し、雇用の創出・拡大に努めていますが、東京圏からの移住者に対する支援金については要件を満たす案件が無く、支給には至りませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード	061442130
		施策	42	雇用の創出・拡大	本冊ページ	95
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			130	関係機関と連携し、女性や障がい者、高齢者、外国人など、さまざまな立場の人の就労を支援するとともに、企業等の雇用機会の提供を促進し、多様な人材の活躍の場の拡大を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
130-1	商業振興労政課 / 障がい者就労相談事業	三重労働局との雇用包括協定の元、障がい者雇用促進のため合同企業相談会を開催する ◆年１回開催	三重労働局との連携のもと、障がい者と企業の就職のマッチングの場を作ることにより障がい者雇用の促進を図る		H30	0	○	○	現状維持
			誰	障がい者が	R1	0	○	○	現状維持
			何	市内企業において働ける場づくりを行う	R2	0	△	△	現状維持
130-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
130-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
130-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
130-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
130-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
130-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

130-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
130-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
130-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
130-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
130-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
130-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
130-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	130-1
担当課名	商業振興労政課
事業名	障がい者就労相談事業
事業の内容	三重労働局との雇用包括協定の元、障がい者雇用促進のため合同企業相談会を開催する
当初の事業実施計画	年１回開催
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、不特定多数の方が集まる合同企業相談会を開催できなかったことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	14	働ける・働きたくなる環境の整備	管理コード	061442131
		施策	42	雇用の創出・拡大	本冊ページ	95
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			131	求人と求職のミスマッチを解消するとともに、市外への人材の流出を食い止め、本市出身者のふるさと回帰を促すため、関係機関と連携し、求人情報のみならず、本市の暮らしやすさ、優れた企業等の魅力を発信することで、人材を求める企業と就労を望む人との出会いの機会を拡大します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
131-1	商業振興労政課 / UIJターン促進事業	市内企業へのUIJターン就職のための就職活動や新生活に係る補助 ◆新生活応援　30件 就職活動応援　15件	市外、県外在住者の津市への移住及び市内企業への就労を促進するため、奨励金を支給する		H30	1,489	○	○	現状維持
			誰	市外、県外在住者が	R1	1,428	○	○	現状維持
			何	津市内の企業に就職し、津市への移住を支援する	R2	1,521	○	○	現状維持
131-2	商業振興労政課 / 移住支援事業	県との連携による東京圏からのUIJターン就職の促進 ◆年1件 600千円	三重県との連携により、東京圏から市内に移住し、津市の企業に就職した人に支援金を支給する		H30	0	△	△	現状維持
			誰	移住を希望する東京圏在住者が	R1	0	△	△	現状維持
			何	津市内に移住し市内企業への就労を支援する	R2	0	△	△	現状維持
131-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
131-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
131-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
131-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
131-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

131-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
131-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
131-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
131-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
131-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
131-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
131-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード　061543
		施策	43	工業の振興	本冊ページ　98
	関連個別計画				
担当部局		商工観光部			
施策の内容（番号）		132	～	134	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
132	工業の持続的な発展に向け、国・県、商工会議所などの関係機関と連携し、独自の高い技術力を有する市内中小企業の生産基盤の強化や人材の確保・育成を支援し、次世代に技術を継承する取組を進めるとともに、中小企業の事業承継対策については、人材育成などの支援に取り組みます。	B	①	経営支援課
133	「創業支援」や「既存の中小企業振興」、「企業誘致」といった従来型の枠組みを維持しつつ、ワンストップで継ぎ目のない総合的な支援を行います。	A	①	経営支援課
134	産業拠点である中勢北部サイエンスシティだけでなく活用可能な工場用地や未利用地等の情報を収集・提供するとともに、市内への企業立地に係る支援を行い、企業誘致を推進することに加えて、社会経済情勢や企業立地に係るニーズ等を踏まえ、新たな立地基盤のあり方について検討を進めます。	A	①	経営支援課/企業誘致課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	中小企業が経営の安定及び人材の育成を図るための事業に対する補助、県内の高校に対する市内企業を案内する冊子の配布、三重大学工学部生を対象とした地域企業魅力発見ツアーを実施するほか、既存企業の経営安定や創業を支援するための専門家による無料相談、企業の立地及び設備投資に対する補助などを実施し、工業の振興に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061543132
		施策	43	工業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			132	工業の持続的な発展に向け、国・県、商工会議所などの関係機関と連携し、独自の高い技術力を有する市内中小企業の生産基盤の強化や人材の確保・育成を支援し、次世代に技術を継承する取組を進めるとともに、中小企業の事業承継対策については、人材育成などの支援に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
132-1	経営支援課 / 経営支援事業	中小企業振興事業補助金 ◆年平均28件	中小企業が補助金を活用し、経営の安定、人材の育成を図ることができる		H30	18,865	◎	◎	現状維持
			誰	中小企業者が	R1	20,430	◎	◎	現状維持
			何	生産性の向上や人材の育成等を図りやすくする	R2	20,137	○	◎	現状維持
132-2	経営支援課 / 経営支援事業	高校生企業ライブ・ガイドの実施 ◆年１回実施	市内中小企業者が自社の魅力を伝え、知ってもらうことができる		H30	125	◎	○	現状維持
			誰	市内企業（大・中小企業問わず）が	R1	126	◎	○	現状維持
			何	「ものづくり」への興味・関心を高め、地元製造業の理解を深め、その担い手となってもらう	R2	0	○	○	現状維持
132-3	経営支援課 / 経営支援事業	津地域企業魅力発見ツアー ◆年１回実施	大学生自身の地元エンジニアとしての将来像を具体化		H30	150	◎	○	現状維持
			誰	三重大学工学部学生が	R1	150	◎	○	現状維持
			何	地域の企業へ定着する	R2	0	○	○	現状維持
132-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
132-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
132-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
132-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

132-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
132-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
132-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
132-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
132-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
132-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
132-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061543133
		施策	43	工業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			133	「創業支援」や「既存の中小企業振興」、「企業誘致」といった従来型の枠組みを維持しつつ、ワンストップで継ぎ目のない総合的な支援を行います。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
133-1	経営支援課	ワンストップ窓口の施設管理 ◆適切な支援の実施	事業者の負担を軽減させる		H30	14,352	◎	◎	現状維持
	ビジネスサポートセンター総務事業		誰	創業者、中小企業者等が	R1	14,483	◎	◎	現状維持
			何	ワンストップ窓口の1ヵ所でまとめて、支援策等の情報を得ることができる	R2	14,613	◎	◎	現状維持
133-2	経営支援課	既存企業の経営相談や起業・創業を目指す方へのサポートを実施 ◆専門家による無料相談件数300回程度実施	既存企業の経営の安定、また、創業者がストレスの無く事業が開始ができる		H30	8,167	◎	○	現状維持
	経営支援事業		誰	創業者、中小企業者等が	R1	8,763	◎	○	現状維持
			何	経営の安定化を図る	R2	6,579	◎	○	現状維持
133-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
133-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
133-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
133-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
133-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

133-8				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
133-9				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
133-10				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
133-11				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
133-12				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
133-13				H30					
			誰	R1					
			何	R2					
133-14				H30					
			誰	R1					
			何	R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061543134
		施策	43	工業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			134	産業拠点である中勢北部サイエンスシティだけでなく活用可能な工場用地や未利用地等の情報を収集・提供するとともに、市内への企業立地に係る支援を行い、企業誘致を推進することに加えて、社会経済情勢や企業立地に係るニーズ等を踏まえ、新たな立地基盤のあり方について検討を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
134-1	経営支援課 / 企業立地奨励金事業	企業の立地及び設備投資に対する支援 ◆補助件数20件	さらなる投資意欲を促進させる		H30	197,812	◎	○	現状維持
			誰	市内に事業所をもつ企業が	R1	291,544	◎	○	現状維持
			何	雇用の創出を行う	R2	343,424	◎	○	現状維持
134-2	企業誘致課 / 企業誘致事業	中勢北部サイエンスシティ及び民間未利用地への企業誘致の推進 ◆立地件数　1社 約21,800㎡	雇用の増加及び税収の増加が図れる		H30	6,799	○	○	現状維持
			誰	市民が	R1	5,314	○	○	現状維持
			何	職業の選択肢が増え、定住する市民が増える	R2	738	○	○	現状維持
134-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
134-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
134-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
134-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
134-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

134-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
134-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
134-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
134-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
134-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
134-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
134-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード　061544
		施策	44	商業の振興	本冊ページ　98
	関連個別計画				
担当部局		商工観光部			
施策の内容（番号）		135	～	137	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
135	名物・物産品等の認知度向上に向け、積極的な情報発信に努めるとともに、魅力ある商品の開発や地域ブランド創出のための取組を支援します。	B	①	商業振興労政課
136	商店街の後継者や新たに起業しようとする人材を育成・発掘し、個店の魅力アップや起業意欲の向上を促進するとともに、商店街等における空き店舗の解消を支援します。	C	②	商業振興労政課
137	中心市街地等の活性化に向け、商店街組織と連携した集客イベントなどを通じた賑わいの創出に取り組みながら、魅力ある店舗の情報発信などにより地元での消費行動を促進し、まちの活気の創出につながる取組を支援します。	C	②	商業振興労政課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C	各種物産振興活動等に対する補助、スイーツフェスタや高虎楽座の開催に対する補助、学生と連携した中心市街地の情報発信などを実施し、商業の振興に努めていますが、新型コロナウイルス感染症により各種イベントや学生と連携した情報発信などを実施することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061544135
		施策	44	商業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			135	名物・物産品等の認知度向上に向け、積極的な情報発信に努めるとともに、魅力ある商品の開発や地域ブランド創出のための取組を支援します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
135-1	商業振興労政課 / 地場産業振興事業	市物産振興会が行う物産振興イベントをはじめとする各種物産振興活動等に対する補助 ◆本市物産の認知拡大、販路拡大	事業の実施により直接的に表れる効果	津市物産振興会を中心とした事業者による津市物産まつりの開催やPR活動などにより、津市物産の振興を図る	H30	1,865	○	○	現状維持
			誰のための事業か	誰 本市物産に係る事業者が	R1	1,865	○	○	現状維持
			何のための事業か	何 本市物産の認知拡大、販売促進に資する	R2	1,865	△	△	現状維持
135-2	商業振興労政課 / スイーツフェスタ事業	スイーツに特化した味覚の掘り起こしと情報発信等による商業及び地域活性を目的としたスイーツフェスタ事業に対する補助 ◆市内物産（スイーツ）の認知拡大、販路拡大	事業の実施により直接的に表れる効果	津市物産振興会のうち、スイーツに特化した事業者によるスイーツフェスタの開催やPR活動により、津市物産の振興を図る	H30	1,200	○	○	現状維持
			誰のための事業か	誰 市内物産（スイーツ）に係る事業者	R1	553	△	△	現状維持
			何のための事業か	何 本市のスイーツに係る認知拡大、販売促進に資する	R2	1,084	○	○	現状維持
135-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
135-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
135-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
135-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
135-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

135-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
135-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
135-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
135-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
135-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
135-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
135-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	135-1
担当課名	商業振興労政課
事業名	地場産業振興事業
事業の内容	市物産振興会が行う物産振興イベントをはじめとする各種物産振興活動等に対する補助
当初の事業実施計画	本市物産の認知拡大、販路拡大
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、令和２年６月に予定していた津市物産まつりが開催できなかったことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	135-2
担当課名	商業振興労政課
事業名	スイーつフェスタ事業
事業の内容	スイーツに特化した味覚の掘り起こしと情報発信等による商業及び地域活性化を目的としたスイーつフェスタ事業に対する補助
当初の事業実施計画	市内物産（スイーツ）の認知拡大、販路拡大
対象年度	令和元年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、令和２年２月に予定していたスイーつフェスタが開催できなかったことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061544136
		施策	44	商業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			136	商店街の後継者や新たに起業しようとする人材を育成・発掘し、個店の魅力アップや起業意欲の向上を促進するとともに、商店街等における空き店舗の解消を支援します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
136-1	商業振興労政課 / 商店街魅力発信事業	様々な手法を用いて商店街へ誘客を図る取組、学生が商店街と連携しながら活動することで中心市街地の賑わい創出に繋げる取組及び学生目線での中心市街地の情報発信 ◆市内外から中心市街地への来街者の増加	TMOへの委託事業により、学生との連携やウォークイベントなどの手法により、中心市街地の賑わい創出を図る		H30	1,300	○	○	現状維持
			誰	商店街振興組合等の商業者が	R1	1,300	○	○	現状維持
			何	TMOや学生との連携により中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	R2	163	△	△	現状維持
136-2	商業振興労政課 / 高虎楽座事業	藤堂高虎公の名を冠した中心市街地におけるステージイベントやフリーマーケットの開催に対する補助 ◆イベントを通した中心市街地への来街者の増加	藤堂高虎公の功績を再認識し、津市の伝統文化の継承及び商業振興や中心市街地の活性化を目的にイベントを開催		H30	2,500	○	○	現状維持
			誰	商店街振興組合等の商業者が	R1	2,800	○	○	現状維持
			何	中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	R2	0	△	△	現状維持
136-3	商業振興労政課 / 商業振興事業	商店街等が行う集客イベントなど商業活性化事業や商店街の空き店舗を解消するための事業等に対する補助 ◆イベントを通した中心市街地への来街者の増加	商店街等が行う活動やイベント、空き店舗への新規出店を支援することにより、商店街の活性化を促進する		H30	18,040	○	○	現状維持
			誰	商店街振興組合等の商業者が	R1	13,095	○	○	現状維持
			何	誘客拡大や賑わい創出に向け行う事業に支援することで、中心市街地と商業活性化に資する	R2	4,198	△	△	見直し
136-4	商業振興労政課 / 商店街にぎわい創出事業	中心市街地の活性化を目的として、市民主導の新たな取組を支援するほか、実際にまちづくりを行う「プレーヤー」を育てる研修等を実施 ◆商店街やまちづくりの担い手の育成	中心市街地の賑わいの担い手育成とともに、市民・学生など様々な人が参画し賑わいの創出と商業の振興を図る		H30	6,560	○	○	現状維持
			誰	市民・学生・商店街など様々な人が	R1	3,781	○	○	現状維持
			何	商店街活性化に参画するきっかけを作ることにより、商店街の担い手育成と中心市街地活性化を図る	R2	0	△	△	現状維持
136-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
136-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
136-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

136-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
136-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
136-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
136-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
136-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
136-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
136-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C							
今後の方向性	①	①	②							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	136-1
担当課名	商業振興労政課
事業名	商店街魅力発信事業
事業の内容	様々な手法を用いて商店街へ誘客を図る取組、学生が商店街と連携しながら活動することで中心市街地の賑わい創出に繋げる取組及び学生目線での中心市街地の情報発信
当初の事業実施計画	市内外からの中心市街地への来街者の増加
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、不特定多数を商店街に誘客する取組ができなかった、また大学の休校や授業のリモート化により担い手となる学生の確保ができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	136-2
担当課名	商業振興労政課
事業名	高虎楽座事業
事業の内容	藤堂高虎公の名を冠した中心市街地におけるステージイベントやフリーマーケットの開催に対する補助
当初の事業実施計画	イベントを通した中心市街地への来街者の増加
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、４月及び１１月に開催予定であった高虎楽座が、不特定多数を中心市街地に誘客することにより感染拡大が懸念されることから開催できなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	136-3
担当課名	商業振興労政課
事業名	商業振興事業
事業の内容	商店街等が行う集客イベントなど商業活性化事業や商店街の空き店舗を解消するための事業等に対する補助
当初の事業実施計画	イベントを通した中心市街地への来街者の増加
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、各商店街等が誘客拡大や賑わい創出のための取組を差し控えたことにより、想定していた支援を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	136-4
担当課名	商業振興労政課
事業名	商店街にぎわい創出事業
事業の内容	中心市街地の活性化を目的として、市民主導の新たな取組を支援するほか、実際にまちづくりを行う「プレーヤー」を育てる研修等を実施
当初の事業実施計画	商店街やまちづくりの担い手の育成
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、中心市街地活性化の担い手育成のための取組や様々な人々が集まり、商店街活性化に向け議論を行う「サロン」を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061544137
		施策	44	商業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			137	中心市街地等の活性化に向け、商店街組織と連携した集客イベントなどを通じた賑わいの創出に取り組みながら、魅力ある店舗の情報発信などにより地元での消費行動を促進し、まちの活気の創出につながる取組を支援します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
137-1	商業振興労政課 / 商店街魅力発信事業	様々な手法を用いて商店街へ誘客を図る取組、学生が商店街と連携しながら活動することで中心市街地の賑わい創出に繋げる取組及び学生目線での中心市街地の情報発信 ◆市内外から中心市街地への来街者の増加	TMOへの委託事業により、学生との連携やウォークイベントなどの手法により、中心市街地の賑わい創出を図る		H30	1,300	○	○	現状維持
			誰	商店街振興組合等の商業者が	R1	1,300	○	○	現状維持
			何	TMOや学生との連携により中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	R2	163	△	△	現状維持
137-2	商業振興労政課 / 高虎楽座事業	藤堂高虎公の名を冠した中心市街地におけるステージイベントやフリーマーケットの開催に対する補助 ◆イベントを通した中心市街地への来街者の増加	藤堂高虎公の功績を再認識し、津市の伝統文化の継承及び商業振興や中心市街地の活性化を目的にイベントを開催		H30	2,500	○	○	現状維持
			誰	商店街振興組合等の商業者が	R1	2,800	○	○	現状維持
			何	中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	R2	0	△	△	現状維持
137-3	商業振興労政課 / 商業振興事業	商店街等が行う集客イベントなど商業活性化事業や商店街の空き店舗を解消するための事業等に対する補助 ◆イベントを通した中心市街地への来街者の増加	商店街等が行う活動やイベント、空き店舗への新規出店を支援することにより、商店街の活性化を促進する		H30	18,040	○	○	現状維持
			誰	商店街振興組合等の商業者が	R1	13,095	○	○	現状維持
			何	誘客拡大や賑わい創出に向け行う事業に支援することで、中心市街地と商業活性化に資する	R2	4,198	△	△	見直し
137-4	商業振興労政課 / 商店街にぎわい創出事業	中心市街地の活性化を目的として、市民主導の新たな取組を支援するほか、実際にまちづくりを行う「プレーヤー」を育てる研修等を実施 ◆商店街やまちづくりの担い手の育成	中心市街地の賑わいの担い手育成とともに、市民・学生など様々な人が参画し賑わいの創出と商業の振興を図る		H30	6,560	○	○	現状維持
			誰	市民・学生・商店街など様々な人が	R1	3,781	○	○	現状維持
			何	商店街活性化に参画するきっかけを作ることにより、商店街の担い手育成と中心市街地活性化を図る	R2	0	△	△	現状維持
137-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
137-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
137-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

137-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
137-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
137-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
137-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
137-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
137-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
137-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C							
今後の方向性	①	①	②							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	137-1
担当課名	商業振興労政課
事業名	商店街魅力発信事業
事業の内容	様々な手法を用いて商店街へ誘客を図る取組、学生が商店街と連携しながら活動することで中心市街地の賑わい創出に繋げる取組及び学生目線での中心市街地の情報発信
当初の事業実施計画	市内外から中心市街地への来街者の増加
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、不特定多数を商店街に誘客する取組ができなかった、また大学の休校や授業のリモート化により担い手となる学生の確保ができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	137-2
担当課名	商業振興労政課
事業名	高虎楽座事業
事業の内容	藤堂高虎公の名を冠した中心市街地におけるステージイベントやフリーマーケットの開催に対する補助
当初の事業実施計画	イベントを通した中心市街地への来街者の増加
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、４月及び１１月に開催予定であった高虎楽座が、不特定多数を中心市街地に誘客することにより感染拡大が懸念されることから開催できなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	137-3
担当課名	商業振興労政課
事業名	商業振興事業
事業の内容	商店街等が行う集客イベントなど商業活性化事業や商店街の空き店舗を解消するための事業等に対する補助
当初の事業実施計画	イベントを通した中心市街地への来街者の増加
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、各商店街等が誘客拡大や賑わい創出のための取組を差し控えたことにより、想定していた支援を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	137-4
担当課名	商業振興労政課
事業名	商店街にぎわい創出事業
事業の内容	中心市街地の活性化を目的として、市民主導の新たな取組を支援するほか、実際にまちづくりを行う「プレーヤー」を育てる研修等を実施
当初の事業実施計画	商店街やまちづくりの担い手の育成
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、中心市街地活性化の担い手育成のための取組や様々な人々が集まり、商店街活性化に向け議論を行う「サロン」を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（番号）			138	～	143	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
138	市内産農畜産物のPRイベントの開催や情報発信を進めることにより、消費拡大から生産振興につながるシステムを構築するとともに、新規就農者や多様な担い手の確保・育成による安定した農業経営基盤の強化に向けた取組への支援を行います。	A	①	農林水産政策課
139	農地集積・集約化等による農地利用の最適化を進めるとともに、農業・農村の多面的機能の発揮による国土保全・資源かん養への取組を推進します。	A	①	農林水産政策課
140	地域に寄り添いながら、地域と共に対策を講じることにより、すべての地域から被害が減ったと実感していただけるよう獣害対策の３本柱（個体数の調整、防護柵設置の推進、地域ぐるみでの取組）の取組を推進します。	A	①	農林水産政策課
141	農村地域に限らず、市民の安全・安心を確保するため、老朽化した農業用ため池や湛水防除の排水機場等の計画的な更新、耐震化、長寿命化対策を推進します。	A	①	農業基盤整備課
142	安定的な用水供給及び農家の水管理の省力化を図るため、用水路のパイプライン化による自動給水やほ場整備事業による大区画化を推進し、農業経営の規模拡大や農地の集積・集約化を促進します。	A	①	農業基盤整備課
143	農道や農業用排水路等については、良好な営農基盤を確保するため、定期的なパトロール等、維持・管理の実施と計画的な改修等による長寿命化を推進します。	A	①	農業基盤整備課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	農道や用排水路等の改修、土地改良区等が施工する農業用施設補修等工事に対する補助、農地・農業用水等の資源の保全及び施設の長寿命化のための支援、獣害対策に係る補助等、農業の担い手の確保のための研修等、経営の安定化等に係る支援等、農産物のPR等の各種事業を実施し、農業の振興に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645138
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			138	市内産農畜産物のPRイベントの開催や情報発信を進めることにより、消費拡大から生産振興につながるシステムを構築するとともに、新規就農者や多様な担い手の確保・育成による安定した農業経営基盤の強化に向けた取組への支援を行います。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
138-1	農林水産政策課 / 農林水産物利用促進事業	市内産農林水産物のPR及び生産者と消費者の交流等による市内外での消費拡大を図り生産振興につなぐ取組等に係る会費の負担 ◆1団体	津市産農林水産物の消費拡大及び情報発信		H30	2,552	◎	◎	拡充・充実
			誰	津市内の農林水産業者	R1	2,558	◎	◎	拡充・充実
			何	津市産農林水産物の知名度向上による生産振興	R2	691	○	○	拡充・充実
138-2	農林水産政策課 / 地域農業基盤創生事業	新規農業ビジネスチャレンジ支援や、要活用農地の復元に対する補助 ◆新規事業5団体 ◆農地復元3団体	新たな農林水産業ビジネスの創出、要活用農地の復元を図る		H30	1,408	○	○	拡充・充実
			誰	認定農業者等	R1	1,521	○	○	拡充・充実
			何	新たな収入の確保と耕作放棄地の発生抑制	R2	2,417	○	○	拡充・充実
138-3	農林水産政策課 / 認定農業者経営改善支援事業	認定農業者がスーパーL資金等を利用した際の金利負担軽減を目的とした利子助成 ◆金融機関10件	金融機関から融資を受けた認定農業者が、利子の補給を受けることで、農業経営基盤を確立・近代化させる		H30	4,377	◎	◎	現状維持
			誰	認定農業者等	R1	4,446	◎	◎	現状維持
			何	金融機関から融資を受ける際の利子を補給	R2	3,484	◎	◎	現状維持
138-4	農林水産政策課 / 農林業就業促進対策事業（一時産業担い手供給プロジェクト）	第一次産業の担い手・従事者を確保するための研修経費に対する補助 ◆研修費・準備金　3名分	将来の津市の農林業の担い手の確保及び円滑な就業		H30	730	◎	◎	拡充・充実
			誰	研修を受け入れる農林事業者	R1	0	○	○	拡充・充実
			何	研修生に対し円滑に研修を行う	R2	775	◎	◎	拡充・充実
138-5	農林水産政策課 / 農業後継者研修補助事業	本市の農業の担い手を目指して就農する者に対し、農業技術や知識を習得するための研修授業料に対する補助 ◆授業料3名分	認定農業者等の後継者の育成及び確保		H30	0	○	○	拡充・充実
			誰	津市の農業の担い手を目指す農業後継者	R1	59	○	◎	拡充・充実
			何	農業大学校等にて農業の技術・知識を学ぶために必要な経費を補助	R2	0	○	○	拡充・充実
138-6	農林水産政策課 / 人・農地問題解決加速化支援事業（人・農地プラン）	経営の不安定な就農初期段階の青年就労者に対する給付金の給付及び地域の中心となる経営体への農地集積に協力する農地の出し手に対する補助等 ◆継続　12件、新規　3件	経営開始初期の認定新規就農者への資金の交付する		H30	23,466	◎	◎	拡充・充実
			誰	津市の農業の担い手を目指す認定新規就農者及び農業者	R1	23,069	◎	◎	拡充・充実
			何	経営開始直後の生活の安定と農地集約化	R2	22,869	◎	◎	拡充・充実
138-7	農林水産政策課 / 経営所得安定対策推進事業	農業経営の安定化を図るための交付金等 ◆津北農業再生協議会・津南農業再生協議会に交付	担い手農家や販売農家が、交付金を活用し、農業経営の安定を図る		H30	15,350	○	◎	拡充・充実
			誰	担い手農家等	R1	15,228	○	◎	拡充・充実
			何	所得の安定と食料の需給安定	R2	13,661	○	◎	拡充・充実

施策の内容評価シート（令和２年度分）

138-8	農林水産政策課	地域の農畜産物を積極的に活用し地産地消の推進及び都市と農村の交流を促進し農業への理解を積極的に推進する取組に対する補助 ◆1団体	農畜産物の消費拡大及び都市と農村の交流の促進を図る		H30	210	○	◎	現状維持
	農村交流等支援事業		誰	取組を行う団体	R1	246	○	◎	現状維持
			何	生産者と消費者との交流による地産地消、農業振興	R2	51	△	○	現状維持
138-9	農林水産政策課	中南勢地区のと畜解体処理施設である松阪食肉公社に対する負担 ◆食肉公社に対する負担金	松阪食肉公社の施設の維持・管理		H30	6,266	○	◎	現状維持
	畜産振興事業		誰	養豚及び肥育農家	R1	6,231	○	◎	現状維持
			何	経営安定と枝肉の安定供給	R2	6,221	○	◎	現状維持
138-10	農林水産政策課	特産松阪牛肥育農家に対する補助 ◆R2　2戸×5頭分補助	肥育農家が、補助金を活用し、特産松阪牛の生産振興を図る		H30	840	○	◎	現状維持
	特産松阪牛生産支援事業		誰	肥育農家	R1	700	○	◎	現状維持
			何	特産松阪牛の生産振興	R2	700	○	◎	現状維持
138-11	農林水産政策課	新規就農者や意欲ある多様な経営体が経営規模の拡大や経営の多角化を図っていくために必要な農業用機械の整備等に対する補助 ◆国補助要望1経営体	認定農業者等が、国補助金の採択を受け、農業機械や農業施設を導入する		H30	11,728	○	◎	現状維持
	経営体育成支援事業		誰	認定農業者等	R1	5,575	○	○	現状維持
			何	効率的な営農と規模拡大	R2	2,361	○	◎	現状維持
138-12	農林水産政策課	新規に利用権を設定した農地の借り手に対する補助 ◆農地新規集積78ha	新規に利用権を設定した農地を借り受けた担い手農家が、奨励金を活用し、当該農地で営農する		H30	7,053	△	○	現状維持
	農用地流動化促進事業		誰	担い手農家	R1	5,365	△	○	現状維持
			何	農地集積による規模拡大と耕作放棄地の発生抑制	R2	8,814	○	○	現状維持
138-13	農林水産政策課	市内産麦を増産し、安定的な供給を図り産地化に繋げるための、麦の大型乾燥・調整共同施設の整備に対する補助 ◆1件	農業者や農業者団体等が施設整備等を行う		H30	0	○	○	現状維持
	強い農業・担い手づくり総合支援事業		誰	農業者や農業者団体等	R1	0	○	○	現状維持
			何	生産コストの低減と収益力の向上	R2	255,480	○	◎	現状維持
138-14	農林水産政策課	畜産業の収益力及び生産基盤を強化し、養豚農家と担い手農家による耕畜連携を推進するため、津地域養豚クラスター協議会による豚舎及び直売所の施設整備に対する補助 ◆1件	畜産クラスター協議会による畜舎の施設整備等を行う		H30	0	○	○	現状維持
	畜産・酪農収益力強化総合対策事業		誰	畜産農家と耕種農家等	R1	0	○	○	現状維持
			何	効率的な営農と生産基盤の強化	R2	R3へ繰り越し	○	◎	現状維持
138-15	農林水産政策課	集落営農組織の立ち上げ及び共同利用機械購入に対する補助 ◆1組織の設立、9組織の機械導入	地域の農業集落が、補助金を活用し、組織づくりや農業機械を導入する		H30	18,176	○	◎	拡充・充実
	集落営農促進対策事業		誰	地域の農業集落（集落営農組織）	R1	18,464	○	◎	拡充・充実
			何	集落営農の組織化と効率的な営農	R2	14,799	○	◎	拡充・充実
138-16					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
138-17					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
138-18					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

138-19					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
138-20					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
138-21					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
138-22					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
138-23					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
138-24					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
138-25					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645139
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			139	農地集積・集約化等による農地利用の最適化を進めるとともに、農業・農村の多面的機能の発揮による国土保全・資源かん養への取組を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
139-1	農林水産政策課 / 多面的機能支払交付金事業	農地・農業用水等の資源の保全管理や施設の長寿命化を図り、農地の多面的機能を確保することへの支援 ◆116組織	地域の景観がよくなる・農地集積が進む		H30	178,128	○	◎	拡充・充実
			誰	農業者等	R1	190,002	○	◎	拡充・充実
			何	農業・農村の有する多面的機能の適切な維持・発揮	R2	181,517	○	◎	拡充・充実
139-2	農林水産政策課 / 環境保全型農業直接支払対策事業	農業者等が科学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組とセットで行う地球温暖化防止等に効果の高い営農活動への支援 ◆4団体、30事業者	農業者が、交付金を活用し、環境保全に効果の高い営農活動を行う		H30	5,945	○	◎	拡充・充実
			誰	農業者	R1	6,052	○	◎	拡充・充実
			何	環境に配慮した持続可能な営農活動の継続	R2	3,175	○	◎	拡充・充実
139-3	農林水産政策課 / 中山間地域等直接支払事業	中山間地域等における耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から国の制度の基づく事業の交付金 ◆28集落	中山間地域等の農業者の、農業生産条件の不利を是正する		H30	36,298	○	◎	拡充・充実
			誰	中山間地域等の農業者	R1	36,298	○	◎	拡充・充実
			何	農業生産条件の不利の是正、営農活動の継続	R2	36,417	○	◎	拡充・充実
139-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
139-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
139-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
139-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

139-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
139-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
139-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
139-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
139-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
139-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
139-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645140
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			140	地域に寄り添いながら、地域と共に対策を講じることにより、すべての地域から被害が減ったと実感していただけるよう獣害対策の3本柱（個体数の調整、防護柵設置の推進、地域ぐるみでの取組）の取組を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的 事業の実施により直接的に表れる効果 誰のための事業か 何のための事業か		事業の評価 年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
140-1	農林水産政策課 / 獣害対策事業	有害鳥獣の個体数調整の報償費、防護柵の設置に対する補助等 ◆合計129件（小規模90件、従来型39件）	農作物被害防止のため猟友会での獣の捕獲及び農業従事者に防護柵設置の補助を行う		H30	4,700	◎	◎	拡充・充実
			誰	農業従事者	R1	4,659	◎	◎	拡充・充実
			何	獣害による農作物被害の減	R2	6,521	◎	◎	拡充・充実
140-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
140-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
140-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
140-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
140-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
140-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

140-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
140-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
140-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
140-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
140-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
140-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
140-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645141
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			141	農村地域に限らず、市民の安全・安心を確保するため、老朽化した農業用ため池や湛水防除の排水機場等の計画的な更新、耐震化、長寿命化対策を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
141-1	農業基盤整備課 / 農業用河川工作物応急対策等整備事業	老朽化した頭首工による下流域への災害被害を未然に防止するため必要となる改修事業に係る負担 ◆2地区	頭首工等を改修		H30	9,280	◎	◎	拡充・充実
			誰	市内の農業者	R1	20,910	◎	◎	現状維持
			何	営農活動をしやすくする	R2	4,672	◎	◎	現状維持
141-2	農業基盤整備課 / 地震対策ため池緊急整備事業	下流域への災害被害を未然に防止するため必要となる、ため池改修事業に係る負担 ◆ため池1件	地震対策として農業用ため池を緊急的に整備		H30	1,400	◎	◎	拡充・充実
			誰	市内の農業者	R1				
			何	営農活動をしやすくする	R2				
141-3	農業基盤整備課 / 耐震対策ため池改修事業	一定基準に基づき、堤体の安全性の確認が必要なため池の耐震性調査、事業計画策定、及び改修事業に係る負担金等 ◆調査26件、改修2件	耐震対策として農業用ため池を改修		H30	103,254	◎	◎	拡充・充実
			誰	市内の農業者	R1	112,882	◎	◎	拡充・充実
			何	営農活動をしやすくする	R2	137,269	◎	◎	拡充・充実
141-4	農業基盤整備課 / 老朽対策ため池改修事業	農業用水の安定確保のため、老朽化したため池の改修のための測量設計業務に係る負担金 ◆1地区	老朽化した農業用ため池の改修		H30	6,644	◎	◎	現状維持
			誰	市内の農業者	R1	14,199	◎	◎	現状維持
			何	営農活動をしやすくする	R2	3,684	◎	◎	現状維持
141-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
141-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
141-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

141-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
141-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
141-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
141-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
141-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
141-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
141-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645142
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			142	安定的な用水供給及び農家の水管理の省力化を図るため、用水路のパイプライン化による自動給水やほ場整備事業による大区画化を推進し、農業経営の規模拡大や農地の集積・集約化を促進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果						
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
142-1	農業基盤整備課 / 高度水利機能確保基盤整備事業	担い手育成に伴う基盤整備事業（パイプライン化等）に係る負担金 ◆2地区	パイプライン等を整備		H30	26,380	◎	◎	現状維持
			誰	市内の農業者	R1	34,563	◎	◎	現状維持
			何	営農活動をしやすくする	R2	5,600	◎	◎	現状維持
142-2	農業基盤整備課 / 中勢用水事業	中勢用水に対する償還負担及び日常の維持管理に係る負担 ◆中勢用水の管理維持に係る費用の一部を適切に負担	中勢用水に対する負担		H30	110,772	◎	◎	現状維持
			誰	市内の農業者	R1	94,212	◎	◎	現状維持
			何	営農活動をしやすくする	R2	84,649	◎	◎	現状維持
142-3	農業基盤整備課 / 農地整備事業	ほ場の大区画化等を実施することにより作業効率、生産性の向上を図るためのほ場整備事業に係る委託料等 ◆1地区	農業者の作業効率や生産性が向上		H30				
			誰	市内の農業者	R1				
			何	営農活動をしやすくする	R2	6,940	◎	◎	拡充・充実
142-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
142-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
142-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
142-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

142-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
142-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
142-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
142-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
142-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
142-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
142-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061645143
		施策	45	農業の振興	本冊ページ	101
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			143	農道や農業用排水路等については、良好な営農基盤を確保するため、定期的なパトロール等、維持・管理の実施と計画的な改修等による長寿命化を推進します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
143-1	農業基盤整備課 / 市単土地改良事業（工事費）	農道、用排水路等の改修工事 ◆11か所	農道、用排水路等を改修		H30	47,741	◎	◎	現状維持
			誰	市内の農業者	R1	48,626	◎	◎	現状維持
			何	営農活動をしやすくする	R2	42,867	◎	◎	現状維持
143-2	農業基盤整備課 / 市単土地改良事業（補助金）	土地改良区等が発注施工する農業用施設補修等工事に対する補助 ◆年間100件	地元発注の農業用施設補修等に対して補助を実施		H30	62,330	◎	◎	現状維持
			誰	市内の農業者	R1	61,368	◎	◎	現状維持
			何	営農活動をしやすくする	R2	57,946	◎	◎	現状維持
143-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
143-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
143-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
143-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
143-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

143-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
143-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
143-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
143-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
143-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
143-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
143-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061646
		施策	46	林業の振興	本冊ページ　102
	関連個別計画				
担当部局			農林水産部		
施策の内容（番号）			144	～	147

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
144	木材の利用拡大と間伐未利用材の新たな利活用方策を見いだすとともに、林業事業体の育成を支援し、林業の活性化を図ります。	A	③	林業振興室
145	効率的な森林施業を図るため、森林情報の整備を行い、施業地の集約化を推進するとともに、林業事業体における造林事業や高性能林業機械の導入を支援します。	A	①	林業振興室
146	森林の状況に応じた整備・保全を行い、森林の多面的機能の維持・向上を図ります。	B	①	林業振興室
147	間伐等の造林事業を行う上で必要となる林道等の生産基盤については、定期的なパトロール等、維持・管理の実施と計画的な改修・整備を行い、施設の長寿命化と生産性の向上に努めます。	B	①	林業振興室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	林道の開設工事や現況調査による効率的な修繕、土壌侵食等のおそれがある渓流沿いでの間伐、森林の多面的機能を発揮するため山林所有者等が実施する間伐等に対する補助等を実施するほか、間伐材及び間伐に伴う林地残材の搬出・運搬や獣害防止柵の設置に対する補助を行うなどし、林業の振興に努めています。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061646144
		施策	46	林業の振興	本冊ページ	102
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			144	木材の利用拡大と間伐未利用材の新たな利活用方策を見いだすとともに、林業事業体の育成を支援し、林業の活性化を図ります。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
144-1	林業振興室 / 木材利用促進事業	個人住宅を対象とした木造住宅に対する補助 ◆補助5件	地域産材の木材の需要拡大及び利用の促進		H30	1,500	△	○	現状維持
			誰	新築個人住宅の施主	R1	900	△	○	現状維持
			何	地域産材を活用した木造住宅を建築しやすくする	R2	1,500	○	○	見直し
144-2	林業振興室 / 強い森づくり促進事業	森林の多面的機能を発揮するため、山林所有者等が実施する間伐等に対する補助 ◆間伐285ha	間伐等により森林の有する多面的機能の発揮される		H30	39,994	○	◎	現状維持
			誰	林業事業体等	R1	45,493	○	◎	現状維持
			何	森林整備を進めることができる	R2	33,921	○	◎	現状維持
144-3	林業振興室 / 林地残材搬出促進事業	間伐に伴う林地残材の搬出・運搬に対する補助 ◆搬出量4,300㎥	林地残材を減らし、災害に強い森林づくりを促進する		H30	42,476	◎	◎	現状維持
			誰	林業事業体等	R1	35,849	○	○	現状維持
			何	林地残材の搬出を進めることができる	R2	30,429	◎	◎	現状維持
144-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
144-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
144-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
144-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

144-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
144-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
144-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
144-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
144-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
144-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
144-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	③

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	A							
今後の方向性	①	①	③							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061646145
		施策	46	林業の振興	本冊ページ	102
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			145	効率的な森林施業を図るため、森林情報の整備を行い、施業地の集約化を推進するとともに、林業事業体における造林事業や高性能林業機械の導入を支援します。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
145-1	林業振興室 / 強い森林づくり促進事業補助金	森林の多面的機能を発揮するため、山林所有者等が実施する間伐等に対する補助 ◆間伐285ha	間伐等により森林の有する多面的機能の発揮される		H30	39,994	○	◎	現状維持
			誰	林業事業体等	R1	45,493	○	◎	現状維持
			何	森林整備を進めることができる	R2	33,921	○	◎	現状維持
145-2	林業振興室 / 森林整備地域活動支援交付金	間伐等の施業集約化を図るため、森林経営計画作成及び森林境界の明確化に対する支援 ◆面積300ha	所有者調査や境界明確化により施業の集約化を推進する		H30	25,253	◎	◎	現状維持
			誰	林業事業体等	R1	16,642	◎	◎	現状維持
			何	施業の集約化を進め、森林経営計画を作成することができる	R2	11,618	◎	◎	現状維持
145-3	林業振興室 / 森林再生力強化対策事業補助金	森林所有者等が行う新植地への獣害防止柵の設置に対する補助 ◆延長11,200m	野生獣による食害の抑制をする		H30				
			誰	森林所有者等	R1	6,438	◎	◎	現状維持
			何	獣害を防ぎ、植栽を確実に行うことができる	R2	3,650	△	○	現状維持
145-4	林業振興室 / 森林経営管理事業（意向調査）	森林経営管理権設定を行うために、森林所有者に対して、経営管理意向調査を行う ◆森林所有者5,329人	経営管理権設定を行うために、森林の管理を自ら行うか市へ委託するか調査する		H30				
			誰	森林所有者等	R1	25,765	○	◎	拡充・充実
			何	森林管理の意向を示すことができる	R2	42,075	○	◎	拡充・充実
145-5	林業振興室 / 森林経営管理事業（現況調査・境界明確化）	市への経営委託を希望する森林のうち、希望者が集中している地域について森林現況調査及び境界明確化を行う ◆面積100ha	経営管理権を設定していく上で必要な情報の整備をする		H30				
			誰	森林所有者等及び市	R1	9,129	○	◎	拡充・充実
			何	森林の現況及び境界を把握することができる	R2	15,400	○	◎	拡充・充実
145-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
145-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

145-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
145-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
145-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
145-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
145-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
145-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
145-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061646146
		施策	46	林業の振興	本冊ページ	102
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			146	森林の状況に応じた整備・保全を行い、森林の多面的機能の維持・向上を図ります。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
146-1	林業振興室 / 広葉樹植栽事業	森林保全・水源かん養等自然環境の保護を目的とし、山林への広葉樹植栽に対する補助 ◆植栽面積20a	広葉樹を植栽し、森林の公益的機能の発揮を促す		H30	69	○	◎	現状維持
			誰	森林所有者等が	R1	75	○	◎	現状維持
			何	広葉樹の植栽をしやすくなる	R2	0	△	△	現状維持
146-2	林業振興室 / 森林環境創造事業	県の森林環境創造事業実施要領に基づく、森林保全対策の実施 ◆面積14.32ha	森林所有者の代わりに市が間伐等を行い、森林の公益的機能の発揮を促す		H30	3,125	○	○	現状維持
			誰	市民全体が	R1	3,132	○	○	現状維持
			何	森林の恩恵を受けることができる	R2	3,236	○	○	現状維持
146-3	林業振興室 / 強い森づくり促進事業	森林の多面的機能を発揮するため、山林所有者等が実施する間伐等に対する補助 ◆間伐285ha	間伐等により森林の有する多面的機能が発揮される		H30	39,994	○	◎	現状維持
			誰	林業事業体等が	R1	45,493	○	◎	現状維持
			何	森林整備を進めることができる	R2	33,921	○	◎	現状維持
146-4	林業振興室 / 林地残材搬出促進事業	間伐に伴う林地残材の搬出・運搬に対する補助 ◆搬出量4,300㎥	林地残材を減らし、災害に強い森林づくりを促進する		H30	42,476	◎	◎	現状維持
			誰	林業事業体等が	R1	35,849	○	○	現状維持
			何	林地残材の搬出を進めることができる	R2	30,429	◎	◎	現状維持
146-5	林業振興室 / 流域防災機能強化対策事業	土壌侵食等のおそれがある渓流沿いの森林における間伐の実施 ◆面積77.14ha	流域における防災機能を強化し、災害に強い森林づくりを行う		H30				
			誰	下流の住民が	R1	37,202	○	○	現状維持
			何	機能を強化した森林のはたらきを受けることができる	R2	33,524	○	○	現状維持
146-6	林業振興室 / 森林再生力強化対策事業補助金	森林所有者等が行う新植地への獣害防止柵の設置に対する補助 ◆延長11,200m	野生獣による食害の抑制をする		H30				
			誰	森林所有者等が	R1	6,438	◎	◎	現状維持
			何	獣害を防ぎ、植栽を確実に行うことができる	R2	3,650	△	○	現状維持
146-7	林業振興室 / 森林経営管理事業（意向調査）	森林経営管理権設定を行うために、森林所有者に対して、経営管理意向調査を行う ◆森林所有者5,329人	経営管理権設定を行うために、森林の管理を自ら行うか市へ委託するか調査する		H30				
			誰	森林所有者等が	R1	25,765	○	◎	拡充・充実
			何	森林管理の意向を示すことができる	R2	42,075	○	◎	拡充・充実

施策の内容評価シート（令和２年度分）

146-8	林業振興室	市への経営委託を希望する森林のうち、希望者が集中している地域について森林現況調査及び境界明確化を行う ◆面積100ha	経営管理権を設定していく上で必要な情報の整備をする		H30				
	森林経営管理事業（現況調査・境界明確化）		誰	森林所有者等及び市が	R1	9,129	○	◎	拡充・充実
			何	森林の現況及び境界を把握することができる	R2	15,400	○	◎	拡充・充実
146-9	林業振興室	経営管理権を取得した森林及び整備が遅れている市有林について間伐を行う ◆面積66ha	整備が遅れている森林の整備を実施する		H30				
	森林経営管理事業（森林整備）		誰	市民が	R1	11,514	○	◎	拡充・充実
			何	森林の公益的機能のはたらきを受けることができる	R2	38,484	○	◎	拡充・充実
146-10					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
146-11					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
146-12					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
146-13					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
146-14					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

※実施評価…◎=計画以上の実績　○=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　○=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061646147
		施策	46	林業の振興	本冊ページ	102
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			147	間伐等の造林事業を行う上で必要となる林道等の生産基盤については、定期的なパトロール等、維持・管理の実施と計画的な改修・整備を行い、施設の長寿命化と生産性の向上に努めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
147-1	林業振興室 / 林道中畑線開設工事	林道中畑線の開設工事 ◆延長174m	林道中畑線を開設し、森林整備等に活用する		H30	16,210	○	○	現状維持
			誰	森林所有者等が	R1	25,711	○	○	現状維持
			何	林道を利用して森林管理することができる	R2	28,020	○	○	現状維持
147-2	林業振興室 / 県営林道経ヶ峰線開設事業	県が施工する開設事業に要する経費の一部を負担する ◆400m	林道経ヶ峰線を開設し、森林整備等に活用する		H30	1,225	○	○	現状維持
			誰	森林所有者等が	R1	1,855	○	○	現状維持
			何	林道を利用して森林管理することができる	R2	2,563	○	○	現状維持
147-3	林業振興室 / 林道現況調査業務	市が管理する林道の現況調査を行う ◆延長246km	林道の現状把握を行い効率的な修繕を行う		H30	4,061	○	○	現状維持
			誰	森林所有者等が	R1	4,048	○	○	現状維持
			何	安全に林道を利用できる	R2	4,136	○	○	現状維持
147-4	林業振興室 / 林道等維持管理事業	路面・排水施設の補修、土砂・倒木の撤去等を適宜行う ◆修繕22箇所	林道管理者として必要な管理を行う		H30	26,224	○	○	現状維持
			誰	森林所有者等が	R1	24,152	○	○	現状維持
			何	安全に林道を利用できる	R2	22,005	○	○	現状維持
147-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
147-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
147-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

147-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
147-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
147-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
147-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
147-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
147-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
147-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061647
		施策	47	水産業の振興	本冊ページ　102
	関連個別計画		機能保全計画		
担当部局			農林水産部		
施策の内容（番号）			148 ～ 150		

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
148	漁業者や水産業に携わる人々が連携し、イベント等を通じて市内産水産物の消費拡大をPRすることにより、市民の魚食に対する関心を高め、水産業の所得向上をめざせる環境整備に取り組みます。	E	①	水産振興室
149	防波堤整備など漁港施設の機能強化を図るとともに、既存漁港施設の長寿命化対策を推進します。	B	①	水産振興室
150	漁業経営体の体制強化や担い手不足を補うため漁協の合併促進を図ります。	C	①	水産振興室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C	海岸保全施設の整備や水産物の消費拡大・地産地消を推進し、水産業の活性化及び振興を図るためのイベントに係る補助等を実施するほか、漁業経営体の体制強化等に向けた漁協の合併を促進するなどして水産業の振興に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントは開催されませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061647148
		施策	47	水産業の振興	本冊ページ	102
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			148	漁業者や水産業に携わる人々が連携し、イベント等を通じて市内産水産物の消費拡大をPRすることにより、市民の魚食に対する関心を高め、水産業の所得向上をめざせる環境整備に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
148-1	水産振興室 / 白塚おさかなまつり事業	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する補助 ◆来客者1，000人	白塚おさかなまつり実行委員会が、補助金を活用しおさかなまつりを開催する		H30	500	○	◎	拡充・充実
			誰	市内外の人々	R1	500	○	◎	拡充・充実
			何	おさかなまつりを通じて地域活性化や水産物の振興等に繋げられる	R2	0	×	×	現状維持
148-2	水産振興室 / 津まつり出展事業	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する出展負担金 ◆来客者2，000人	津市農林水産物利用促進協議会が、負担金を活用し津まつりに伴い青さのりのみそ汁等を出展する		H30	150	○	◎	拡充・充実
			誰	市内外の人々	R1	150	○	◎	拡充・充実
			何	津まつりを通じて地域活性化や水産物の振興等に繋げられる	R2	0	×	×	現状維持
148-3	水産振興室 / 津市農林水産まつり事業	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する出展負担金 ◆来客者1，600人	津市農林水産物利用促進協議会が、負担金を活用し津市農林水産まつりに伴い青さのりのみそ汁等を出展する		H30	150	○	◎	拡充・充実
			誰	市内外の人々	R1	150	○	◎	拡充・充実
			何	津市農林水産まつりを通じて地域活性化や水産物の振興等に繋げられる	R2	0	×	×	現状維持
148-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
148-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
148-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
148-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

148-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
148-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
148-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
148-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
148-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
148-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
148-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	E

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	E							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	148-1
担当課名	水産振興室
事業名	白塚おさかなまつり事業
事業の内容	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する補助
当初の事業実施計画	◆来客者１，０００人
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、白塚おさかなまつり事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	148-2
担当課名	水産振興室
事業名	津まつり出展事業
事業の内容	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する出展負担金
当初の事業実施計画	◆来客者２，０００人
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、津まつり出展事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	148-3
担当課名	水産振興室
事業名	津市農林水産まつり事業
事業の内容	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する出展負担金
当初の事業実施計画	◆来客者１，６００人
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、津市農林水産まつり事業については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード　061647149
		施策	47	水産業の振興	本冊ページ　102
	関連個別計画		機能保全計画		
担当部局			農林水産部		
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			149	防波堤整備など漁港施設の機能強化を図るとともに、既存漁港施設の長寿命化対策を推進します。	

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
149-1	水産振興室 / 水産物供給基盤機能保全事業	香良洲漁港機能保全計画に基づく漁港機能の長寿命化を図るための機能保全工事等 ◆泊地浚渫工事等 H30　18，900㎡ R1　17，900㎡	老朽化している漁港施設の機能保全を行う		H30	153,263	○	◎	拡充・充実
			誰	漁業関係者	R1	166,183	○	◎	拡充・充実
			何	安全に漁港施設を利用でき、安心な漁業活動に繋がる。	R2				
149-2	水産振興室 / 海岸保全施設整備整備事業	香良洲漁港海岸保全施設長寿命化計画に基づく海岸保全施設整備工事等 ◆堤防延長L＝115m R1　鋼矢板工等 R2　表法被覆工等	脆弱している海岸保全施設の整備工事を行う		H30				
			誰	背後地の住民並びに漁業関係者	R1	23,279	○	○	現状維持
			何	安全・安心な生活並びに漁業活動に繋がる	R2	133,456	○	○	現状維持
149-3	水産振興室 / 漁港施設機能強化事業	災害に強い安全な漁港づくりを推進し水産物の安定的な供給を図るため、香良洲漁港物揚場耐震耐津波工事の実施 ◆物揚場耐震・津波対策工事 H30　L＝22m	耐震・耐津波性能を確保した物揚場工事を行う		H30	132,414	○	◎	拡充・充実
			誰	背後地の住民並びに漁業関係者	R1				
			何	安全・安心な防災拠点漁港として活用できる漁港に繋がる	R2				
149-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
149-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
149-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
149-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

149-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
149-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
149-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
149-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
149-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
149-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
149-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061647150
		施策	47	水産業の振興	本冊ページ	102
	関連個別計画					
担当部局			農林水産部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			150	漁業経営体の体制強化や担い手不足を補うため漁協の合併促進を図ります。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
150-1	水産振興室 / 漁業協同組合の合併促進事業	合併推進協議会等への参加 ◆協議会　3回	漁業協同組合の合併を推進する		H30	－	△	△	現状維持
			誰	漁業関係者	R1	－	△	△	現状維持
			何	安定した漁業活動に繋がる	R2	－	△	△	現状維持
150-2					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
150-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
150-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
150-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
150-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
150-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

150-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
150-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
150-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
150-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
150-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
150-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
150-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	C	C	C							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード　061748
		施策	48	観光の振興	本冊ページ　104
	関連個別計画		過疎地域自立促進計画		
担当部局			商工観光部		
施策の内容（番号）			151	～	153

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
151	歴史・文化、自然、温泉などの資源を有機的につないだ観光コースや体験型観光など、多彩な資源の活用と新たな魅力の創出を図るとともに、関連団体や民間事業者が持つ強みを活かして、「ひと・もの」両面からおもてなし環境の充実に努めます。	C	①	観光振興課/地域振興課（美杉）
152	マスメディアやSNSなど、時代に即した情報発信を通じて、本市を代表するイベントへの集客、インバウンド観光やMICE誘致など、国内外からの誘客を促進し、交流人口拡大に向けた取組を進めます。	B	①	広報課/観光振興課/経営管理課
153	三重県や周辺市町との広域的な取組をはじめ、関係団体や民間事業者との観光分野における連携の強化に取り組みます。	E	①	観光振興課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C	津駅前観光案内所を委託により運営するほか、各観光ボランティアガイド団体が連携するネットワーク活動に対する補助を実施しています。また、津花火大会や津まつりといったイベントを実施する実行委員会に対する補助を行うとともに、観光に係る情報発信をすることにより観光の振興に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントは開催されませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061748151
		施策	48	観光の振興	本冊ページ	104
	関連個別計画		過疎地域自立促進計画（平成28年度～令和2年度）			
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			151	歴史・文化、自然、温泉などの資源を有機的につないだ観光コースや体験型観光など、多彩な資源の活用と新たな魅力の創出を図るとともに、関連団体や民間事業者が持つ強みを活かして、「ひと・もの」両面からおもてなし環境の充実に努めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
151-1	観光振興課	観光ボランティアガイド団体が相互に連携するネットワーク活動に対する補助 ◆補助1件	各ガイド団体間の連携強化、ガイド技術の向上を図る		H30	3,100	○	◎	現状維持
	観光ボランティアガイドネットワーク活動支援事業		誰	各ガイド団体が	R1	3,100	○	◎	現状維持
			何	ガイド技術及びおもてなし力の向上を図ることにつながる	R2	3,100	○	◎	現状維持
151-2	観光振興課	津駅前観光案内所運営業務の委託 ◆季節ごとに観光資源を重点的に紹介するイベントの実施ほか	市内外の人々が市内の観光地等の情報を容易に得ることができる		H30	9,804	○	◎	現状維持
	津駅前観光案内所運営事業		誰	市内外の人々が	R1	10,267	○	◎	現状維持
			何	市内の観光地等へ足を運びやすくするためのきっかけづくり	R2	10,140	○	◎	現状維持
151-3	地域振興課（美杉）	名松線沿線地域の魅力づくり事業及び魅力発信事業の実施 ◆補助5件	名松線を観光資源として地域づくり団体が活動する		H30	4,684	○	○	現状維持
	名松線利活用関係事業		誰	観光客が	R1	4,115	○	○	現状維持
			何	沿線地域に興味を持ち、往来が増える	R2	1,638	×	×	現状維持
151-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
151-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
151-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
151-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

151-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
151-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
151-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
151-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
151-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
151-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
151-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	C

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	151-3
担当課名	美杉総合支所地域振興課
事業名	名松線利活用関係事業
事業の内容	平成28年3月26日に伊勢奥津駅まで全線復旧をしたＪＲ名松線の利活用を進めるため、名松線の魅力を発信し乗車促進に向けた取組として沿線ウォークイベントや親子イベント、名松線から観光地へのバスツアーなど、地域の関係団体と連携しながら実施する。
当初の事業実施計画	補助5件
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベント等大幅に事業計画を縮小し、民間団体による補助事業の申請についても感染症拡大による自粛等により２団体からのみの申請となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061748152
		施策	48	観光の振興	本冊ページ	104
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			152	マスメディアやSNSなど、時代に即した情報発信を通じて、本市を代表するイベントへの集客、インバウンド観光やMICE誘致など、国内外からの誘客を促進し、交流人口拡大に向けた取組を進めます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			誰のための事業か						
			何のための事業か						
152-1	広報課	観光関連事業の振興や交流人口の拡大を図るため、市内施設を主会場に一定基準を満たした会議の主催者に対する補助 ◆対象団体への案内実施	本市の交流人口の増加、地域経済の活性化、観光及び文化の振興等を図る		H30	810	○	○	現状維持
	コンベンション開催支援等事業		誰	市内施設を主会場に開催される一定基準を満たした会議の主催者	R1	690	○	○	現状維持
			何	会議費用の補助により会議の誘致を図り、本市の交流人口の増加、地域経済の活性化、観光及び文化の振興等を図る	R2	0	○	×	現状維持
152-2	観光振興課	観光誘客PRキャンペーン事業及び新聞雑誌広告等情報発信業務の委託 ◆観光PRの実施回数42回以上ほか	市内外の人々がイベントブースや津市観光協会のHP、新聞雑誌等を介して観光情報を得ることができる		H30	14,127	○	◎	現状維持
	広報宣伝事業		誰	市内外の人が	R1	14,104	○	◎	現状維持
			何	市内の観光イベントや観光地等へ足を運ぶきっかけづくり	R2	13,279	○	◎	現状維持
152-3	観光振興課	観光誘客・情報発信事業に対する補助 ◆補助1件	津市観光協会が、補助金を活用し、花見客への対応や情報発信を行うためのHPの維持管理等を行う		H30	14,699	○	◎	現状維持
	観光誘客・情報発信事業		誰	津市観光協会が	R1	14,699	○	◎	現状維持
			何	誘客活動、おもてなし活動等がしやすくなる	R2	14,699	○	◎	現状維持
152-4	観光振興課	津ぎょうざなど食に関する情報の全国発信等に対する補助 ◆補助1件	特定非営利活動法人津ぅ郷育委員会が、補助金を活用し、津ぎょうざを介して津市の魅力発信等、PRを行う		H30	1,300	○	◎	現状維持
	津うまみ情報発信事業		誰	特定非営利活動法人津ぅ郷育委員会が	R1	1,300	○	◎	現状維持
			何	津市の魅力を情報発信しやすくなることで、誘客促進につなげる	R2	470	×	△	現状維持
152-5	経営管理課	周年記念競走、G Ⅲ競走などの本場及び場間場外発売等 ◆令和2年度本場開催売上目標302億円	モーターボート競走事業の実施において集客、交流人口を増加させる		H30	38,021,138	◎	◎	現状維持
	モーターボート競走事業		誰	全国のボートレースファン及び津市民	R1	39,775,332	◎	◎	現状維持
			何	集客、交流人口の増加及び、売上による地方財政への貢献	R2	54,233,561	◎	◎	現状維持
152-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
152-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

152-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
152-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
152-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
152-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
152-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
152-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
152-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	152-4
担当課名	観光振興課
事業名	津うまみ情報発信事業
事業の内容	津ぎょうざなど食に関する情報の全国発信等に対する補助
当初の事業実施計画	補助１件
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、出展予定をしていたイベント等が全て中止となったことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061748153
		施策	48	観光の振興	本冊ページ	104
	関連個別計画					
担当部局			商工観光部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			153	三重県や周辺市町との広域的な取組をはじめ、関係団体や民間事業者との観光分野における連携の強化に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
153-1	観光振興課	津花火大会実行委員会の事業に対する補助 ◆補助１件	実行委員会が、補助金を活用し、花火大会を開催する		H30	9,500	○	◎	現状維持
	津花火大会補助事業		誰	市内外の人々が	R1	9,500	○	◎	現状維持
			何	花火大会を通じて津市の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	R2	0	×	×	現状維持
153-2	観光振興課	津まつり実行委員会の事業に対する補助 ◆補助１件	実行委員会が、補助金を活用し、津まつりを開催する		H30	24,500	○	◎	現状維持
	津まつり補助事業		誰	市内外の参加団体や来場いただく人々が	R1	23,425	○	◎	現状維持
			何	津まつりを通じて交流を深め、津市の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	R2	0	×	×	現状維持
153-3	観光振興課	ビーチバレーin御殿場実行委員会の事業に対する補助 ◆補助１件	実行委員会が、補助金を活用し、ビーチバレー大会を開催する		H30	4,800	○	◎	現状維持
	ビーチバレーin御殿場補助事業		誰	ビーチバレー大会参加者が	R1	4,800	○	◎	現状維持
			何	大会を通じて親交を深め、津市の魅力を感じていただき津市のことを好きになってもらう	R2	0	×	×	現状維持
153-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
153-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
153-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
153-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

153-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
153-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
153-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
153-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
153-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
153-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
153-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	E

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	E							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	153-1
担当課名	観光振興課
事業名	津花火大会補助事業
事業の内容	津花火大会実行委員会の事業に対する補助
当初の事業実施計画	補助１件
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、津花火大会については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	153-2
担当課名	観光振興課
事業名	津まつり補助事業
事業の内容	津まつり実行委員会の事業に対する補助
当初の事業実施計画	補助１件
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、津まつりについては開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	153-3
担当課名	観光振興課
事業名	ビーチバレーin御殿場補助事業
事業の内容	ビーチバレーin御殿場実行委員会の事業に対する補助
当初の事業実施計画	補助１件
対象年度	令和２年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、ビーチバレーin御殿場については開催を中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード　061749
		施策	49	シティプロモーションの推進	本冊ページ　104
	関連個別計画				
担当部局		政策財務部			
施策の内容（番号）		154	～	155	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
154	さまざまな機会を捉え、本市の魅力や暮らしやすさを効果的に市内外へ情報発信し、さらなる本市の認知度の向上をめざします。	B	①	広報課/東京事務所
155	情報発信ツールを有機的に結び付け、多くの魅力を互いに連動させながら、効果的な地域資源の情報発信に取り組みます。	B	①	広報課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B	映画「浅田家！」の公開や高田本山専修寺の国宝指定などの機会を捉えてプロモーション活動を実施するほか、つデイ等の魅力発信イベントを開催することで首都圏におけるPRを実施しています。また、広報紙の発行やホームページへの掲載により情報発信を行うなど、シティプロモーションの推進に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの魅力発信イベントを開催することができませんでした。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061749154
		施策	49	シティプロモーションの推進	本冊ページ	104
	関連個別計画					
担当部局			政策財務部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			154	さまざまな機会を捉え、本市の魅力や暮らしやすさを効果的に市内外へ情報発信し、さらなる本市の認知度の向上をめざします。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		事業の評価				
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
154-1	広報課 / 映画「浅田家！」とタイアップしたシティプロモーション事業	津市出身の写真家浅田政志氏が主人公の映画「浅田家！」の公開に合わせ、映画に関連したシティプロモーションを展開 ◆プロモーション活動の実施	津市に対する一層の認知度及び愛着度の向上を図る		H30	0			
			誰	市内外の人々が	R1	0			
			何	映画「浅田家！」とタイアップしたシティプロモーションを通じて、津市に対する一層の認知度及び愛着度を高める	R2	2,360	◎	◎	廃止
154-2	広報課 / 国宝のあるまち一身田寺内町　シティプロモーション事業	高田本山専修寺の国宝指定を契機に、一身田寺内町の魅力を発信 ◆映画「浅田家！」に連動したプロモーション活動の実施	津市に対する一層の認知度及び愛着度の向上を図る		H30	889	○	○	現状維持
			誰	市内外の人々が	R1	0	○	○	現状維持
			何	高田本山専修寺等のシティプロモーションを通じて、津市に対する一層の認知度及び愛着度を高める	R2	0	◎	◎	現状維持
154-3	東京事務所 / 魅力発信イベント開催事業	つデイ等の本市の魅力発信イベントの開催 ◆ １１回	首都圏における本市のPR及び認知度の向上		H30	2,092	◎	◎	現状維持
			誰	首都圏に在住する人及び企業の	R1	1,894	◎	◎	現状維持
			何	本市の観光、物産及び市内企業PR等による知名度の向上	R2	322	×	×	現状維持
154-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
154-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
154-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
154-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

154-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
154-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
154-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
154-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
154-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
154-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
154-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

◆不可抗力による当初の事業実施計画未達理由書

番号	154-3
担当課名	東京事務所
事業名	魅力発信イベント開催事業
事業の内容	首都圏における本市のＰＲ及び認知度の向上
当初の事業実施計画	１１回
対象年度	令和2年度
不可抗力	新型コロナウイルス感染症
理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、つデイ等の本市の魅力発信イベントをほぼ中止したことにより、当初の事業実施計画が未達となった。

施策の内容評価シート（令和２年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	17	交流人口の拡大	管理コード	061749155
		施策	49	シティプロモーションの推進	本冊ページ	104
	関連個別計画					
担当部局			政策財務部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			155	情報発信ツールを有機的に結び付け、多くの魅力を互いに連動させながら、効果的な地域資源の情報発信に取り組みます。		

2　「施策の内容」に係る主な事業の評価

番号	担当課 / 事業名	事業の内容 ◆当初の事業実施計画	事業の目的		年度	決算額（千円）	実施評価（計画通り実施したか）	事業評価（効果があったか）	今後の方向性
			事業の実施により直接的に表れる効果 / 誰のための事業か / 何のための事業か						
155-1	広報課 / 広報津発行事業	市民に親しまれる広報紙の発行 ◆月１回以上の発行	市民目線に立った正確な情報を発信する		H30	52,100	○	○	現状維持
			誰	市民が	R1	54,453	○	○	現状維持
			何	市政や各種事業・イベント情報などを知る	R2	49,247	○	○	現状維持
155-2	広報課 / ホームページ情報発信事業	ホームページ及びアプリケーションの運用・管理 ◆適切な運用・管理	市民目線に立った正確な情報を発信する		H30	6,264	○	○	現状維持
			誰	市民が	R1	5,982	○	○	現状維持
			何	市政や各種事業・イベント情報などを知る	R2	6,048	○	○	現状維持
155-3					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
155-4					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
155-5					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
155-6					H30				
			誰		R1				
			何		R2				
155-7					H30				
			誰		R1				
			何		R2				

施策の内容評価シート（令和２年度分）

155-8					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
155-9					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
155-10					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
155-11					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
155-12					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
155-13					H30					
			誰		R1					
			何		R2					
155-14					H30					
			誰		R1					
			何		R2					

※実施評価…◎=計画以上の実績　〇=計画どおり　△=計画をやや達成　×=計画を大きく下回る
※事業評価…◎=大いに成果が認められる　〇=ある程度の成果が認められる　△=あまり成果がなかった　×=成果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止

3　「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	B

4　今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	①　効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ②　概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③　あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④　事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B							
今後の方向性	①	①	①							

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。